

内の記載事項は公開制限情報に属するものであり、
公開できません。

【公開版】

・青字は、前回からの変更箇所を示す。
・参考は、添付1に一部補正した評価書の内容
を記載したことから、削除した。

資料4
2021年9月13日
日本原燃株式会社

経年劣化に関する技術的評価について

1. はじめに

本資料は、経年劣化に関する技術的評価（以下「PLM」という。）に係る評価方法の考え方、評価結果を補足説明するとともに、前回評価時との差異を整理したものである。

2. 評価実績

本加工施設は、1991年9月27日より事業を開始し本年9月27日で30年を迎える。第1回 PLM は事業開始から20年を経過しない日である2011年9月26日までに実施した。第2回 PLM は前回 PLM から10年を超えない日である本年9月26日までに実施する必要があるため、本年7月21日に評価を完了した。

その後、原子力規制庁との審査会合およびヒアリングを踏まえ、技術評価書の記載の充実化・適正化が必要となったことから、本年9月10日に技術評価書の記載を見直した。

3. 評価方法の考え方及び評価結果

(1) 評価方法の考え方

評価方法については、「加工施設における保安規定の審査基準」（令和2年2月5日原子力規制委員会決定）に基づき、「加工施設及び再処理施設の高経年化対策に関する基本的考え方について」（平成20年5月19日 原子力安全・保安院制定）（以下「PLMガイド」という。）を参考にしている。

本 PLM ガイドを参考とした評価対象となる機器・構築物、グループ化等の考え方及び前回評価時との差異について、別表1に示す。

(2) 評価結果

上記（1）の評価方法に基づき、評価した結果、いずれの機器・構築物に対しても「高経年化対策の観点から充実すべき施設管理の項目はなく、現状の保全を継続する」となった。

前回評価結果においても、今回評価時同様「高経年化対策の観点から充実すべき施設管理の項目はなく、現状の保全を継続する」であった。

しかしながら、現状保全とは施設管理のPDCAサイクルを廻し、保全経験や不適合事例を踏まえた設備改善、最新知見等を反映した結果として、点検項目の追加や点検頻度の見直しを行った各評価時における最新の保全を指している。

そのため、今回評価時における現状の保全と前回評価時における現状の保全とでは、その内容については異なるものである。

別表 2 に保全内容の前回評価時との比較を示す。

以 上

別表1. 評価方法の考え方（前回評価との比較含む）

No.	項目	考え方		前回評価時との差異説明
		今回評価時	前回評価時	
1	全般	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 保安規定審査基準に基づき、PLM ガイドを参考にした。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 同左。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 差異なし。
2	評価対象	<ul style="list-style-type: none"> ✓ PLM ガイドにおいては、評価対象を安全上重要な施設として定める設備・機器となっている。 ✓ 本施設においては安全上重要な施設がないことから、安全機能を有する設備である許認可対象設備（保全重要度 A,B）とした。 ✓ 保全重要度 A,B 以外としている許認可対象設備も評価対象とした。 ✓ 上記で抽出した許認可対象機器のうち、更新・廃止する機器・構築物を識別した。 ✓ 保全重要度の定義を以下に示す。 <ul style="list-style-type: none"> ・保全重要度 A：重大事故に至るおそれがある事故等の発生防止、拡大防止、影響緩和に係る機能要求があり、機能喪失時の影響が大きく、最大限の予防保全を実施する機器 ・保全重要度 B：保全重要度 A に該当する機器以外で事業変更許可申請書、設工認申請書の本文、仕様表、系統図等に記載されている一般産業機器以上の機器 ・保全重要度 C：一般産業機器と同等の機器、他法令等に要求されている機器 ・保全重要度 D：保全重要度 A～C に該当しない機器 <p>【関連資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・添付 1：（技術評価書の補足） No.1,2 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ PLM ガイドにおいては、評価対象を安全上重要な施設として定める設備・機器となっている。 ✓ 本施設においては安全上重要な施設がないことから、安全機能を有する設備である許認可対象設備とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 前回評価時は、保全重要度は設定していないものの、評価対象は許認可対象設備であり、差異なし。
3	グループ化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 抽出した評価対象を踏まえ、以下に示す 9 つに分類した。 <ul style="list-style-type: none"> ①建屋・構築物、②ポンプ、③配管・弁、④槽・塔、⑤インターロック（計測制御設備）、⑥空調設備、⑦電気設備、⑧機械設備、⑨その他設備 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 同左。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 差異なし。
4	代表機器	<ul style="list-style-type: none"> ✓ グループ化した評価対象について、機器仕様（構造、材料）、過去の不適合事例、使用状況（温度、圧力、流量等）、運転状況（運転時間、作動回数、UF₆ 充填量等）の条件が分類したグループ内で最も厳しい機器・構築物を代表機器に選定した。（約 90 機器・構築物） <p>【選定例】</p> <p>空調設備については、機器仕様から送・排風機、ダクト、フィルタユニットに大別し、さらに各機器を過去の不適合事例等を踏まえ、以下のとおり代表機を選定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 号中間室系排風機 選定理由：過去に電動機コイルの絶縁劣化を確認しているため ・ 1 号均質室系排気フィルタユニット 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ グループ化した評価対象について、安全機能喪失時の影響度（I 重度、II 中程度、III 軽度）及び機器故障時の補修・取替性（A 工場全体停止、B 設備単位停止、C 機器単位停止）を考慮し、以下を代表機として選定した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 建屋 ・ コールドトラップ ・ 中間製品容器及び高圧配管 ・ 廃品シリンダ 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 今回評価時においては、PLM ガイドに従い、機器仕様、過去の不適合事例、使用状況、運転状況を勘案し、前回評価時よりも多くの代表機器を選定している。 ✓ なお、前回評価時の代表機器は、評価結果の連続性の観点から今回評価時においても代表機器としている。

No.	項目	考え方		前回評価時との差異説明
		今回評価時	前回評価時	
		選定理由：薬品を含む流体を扱う機器であり使用環境が厳しいため ・2号排気ダクト及び支持構造物 選定理由：過去に劣化による破損（ダクト割れ）を確認しているため 【関連資料】 ・添付1：(技術評価書の補足) No.3,4,5		
5	着目すべき経年劣化事象	✓ 本施設における保全経験、過去の不適合事例を踏まえ、着目すべき劣化事象として「減肉（摩耗、腐食）」、「割れ（疲労、応力腐食）」、「導通（不良）」、「信号（特性変化）」、「材質変化（劣化）」、「その他（中性化及び塩分浸透によるコンクリート強度低下、UF ₆ 腐食等）」を抽出した。 ○「減肉（摩耗、腐食）」 ○「割れ（疲労、応力腐食）」 ○「導通（不良）」 ○「信号（特性変化）」 ○「材質変化（劣化）」 ○「その他」 ・中性化及び塩分浸透によるコンクリート強度の低下 ・屋上防水層（アスファルト防水層、シート防水層）の劣化 ・2号カスケード排気系ロータリーポンプ（CB）本体等のUF ₆ 腐食 ・IF ₇ 循環コンプレッサ本体等のIF ₇ 腐食 ・付着ウラン回収設備各部位等のIF ₅ 腐食 ・主要放射性廃水配管・弁のフランジ等のシール等部品摩耗 ・2号均質槽のカバー内配管・弁の腐食 ・1号均質室系排気フィルタユニットフィルタの腐食（HF）及び目詰まり ・中間製品容器等の熱応力疲労 ✓ 他施設におけるPLM評価実績等を踏まえ、上記に加え「基礎ボルトの腐食」及び「電気・計装品等の絶縁低下」を着目すべき事象として抽出した。 【関連資料】 ・添付1：(技術評価書の補足) No.6,7,8,9,10,11,12,13,14,16 ・添付2：(経年劣化事象の整理) ・添付3：(前回評価結果と今回評価結果との比較)	✓ 本施設における保全経験、過去の不適合事例を踏まえ、着目すべき劣化事象として以下を抽出した。 ・建屋：コンクリート中性化、コンクリートひび割れ、海塩粒子等による鉄筋腐食 ・コールドトラップ：本体内面及びフィンチューブ外面UF ₆ 腐食、保温材被覆部腐食、本体及びフィンチューブ熱応力疲労 ・中間製品容器及び高圧配管：容器内面UF ₆ 腐食、容器熱応力疲労 ・廃品シリンダ：シリンダ内外表面腐食	✓ 代表機器（部位）に対する着目すべき経年劣化事象抽出の考え方に差異はないものの、今回評価時においてはより多くの代表機器を選定していること、及び他施設におけるPLM評価実績等を踏まえ、抽出した経年劣化事象は多岐に亘っている。 ✓ なお、前回評価時の着目すべき経年劣化事象は、評価結果の連続性の観点から今回評価時においても着目すべき経年劣化事象としている。
6	耐震安全性評価対象及び着目すべき経年劣化事象	✓ 耐震安全性評価が必要な静的機器として、No.2～5より以下の対象機器及び着目すべき経年劣化事象を抽出した。 ・建屋・構築物：中性化及び塩分浸透によるコンクリート強度低下、海塩粒子による鉄骨腐食	✓ 耐震安全性評価が必要な静的機器として、No.2～5より以下の対象機器及び着目すべき劣化事象を抽出した。 ・建屋・構築物：中性化及び塩分浸透によるコンクリート強度低下、海塩粒子による鉄骨腐食	✓ 今回評価時においては、建屋・構築物に加え他施設におけるPLM評価実績等を踏まえ、基礎ボルトに対する評価を実施している。

No.	項目	考え方		前回評価時との差異説明
		今回評価時	前回評価時	
		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎ボルト：腐食による減肉 <p>✓ 以下の理由により動的機器に係る耐震安全性評価を不要とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本施設において事故が発生（発生のおそれを含む）した場合には、生産運転を停止しケミカルトラップにUF₆を回収するとともに、塔・槽（シリンダ、コールドトラップ）の加熱を停止し、シリンダやコールドトラップにUF₆を回収することとしている。 ・万一、機器からUF₆が漏えいした場合は、ダンパを閉止し建屋内に閉じ込めることとしている。 <p>【関連資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・添付1：(技術評価書の補足) No.15,16 	<p>✓ 以下の理由により動的機器に係る耐震安全性評価を不要とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本施設において事故が発生（発生のおそれを含む）した場合には、生産運転を停止しケミカルトラップにUF₆を回収するとともに、塔・槽（シリンダ、コールドトラップ）の加熱を停止し、シリンダやコールドトラップにUF₆を回収することとしている。 ・万一、機器からUF₆が漏えいした場合は、局所排気装置（高性能フィルタ）にてUF₆を吸着させた後、大気放出することとしている。 	
7	最新知見等の情報源	<p>✓ CAP システムに用いる CR(Condition Report)に登録された情報を基に、本施設への反映要否を判断した上で、必要な未然防止処置をしている。</p> <p>✓ CRに登録される情報の主な情報源は、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニューシア ・WANO Event Report ・原子力規制委員会 HP ・電力各社 HP ・米国原子力規制委員会 HP ・URENCO 等の国外ウラン濃縮施設 HP <p>【関連資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・添付1：(技術評価書の補足) No.17 ・添付4：(最新知見等の未然防止処置実施の流れ) 	<p>✓ 予防処置の活動として、全社において自社施設および国内外の原子力施設での運転経験、事故故障情報を収集し、本施設への反映要否を判断した上で、必要な予防処置をしている。</p> <p>✓ CRに登録される情報の主な情報源は、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニューシア ・WANO Event Report ・原子力安全・保安院 HP ・電力各社 HP 	<p>✓ 今回評価時においては、前回評価時よりもより多くの情報源から情報収集し、未然防止処置を実施している。</p>

別表2. 保全内容の前回評価時との比較

【関連資料】

・添付1：(技術評価書の補足) No.17

機器・構築物	今回評価時	前回評価時	前回評価時との差異説明
ダクト	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 巡視点検 (目視可能な範囲) ✓ <u>ダクトの外観点検：1回/10年</u> ✓ <u>支持構造物の外観点検：1回/20年</u> ✓ <u>ファイバースコープ等による内部点検：1回/10年</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 巡視点検 (目視可能な範囲) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2017年8月に発生した分析ダクト腐食事象は、ダクト内部の未点検が原因であることを踏まえ、ダクトの外観点検及びダクト内部の腐食状況(腐食程度)を確認するため、内部点検を追加するとともに、支持構造物の外観点検を追加した。
DG制御盤	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外部点検、清掃：1回/年 ✓ 絶縁抵抗測定：1回/年 ✓ 内部点検 (コイル損傷有無、絶縁物等の状態確認)：1回/6年 ✓ 絶縁劣化診断：1回/6年 ✓ 軸受部浸透探傷検査：1回/6年 ✓ <u>電気計装品交換：1回/15年</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外部点検、清掃：1回/年 ✓ 絶縁抵抗測定：1回/年 ✓ 内部点検 (コイル損傷有無、絶縁物等の状態確認)：1回/6年 ✓ 絶縁劣化診断：1回/6年 ✓ 軸受部浸透探傷検査：1回/6年 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2017年7月に発生したDG制御盤火災事象は、電磁接触器のメーカー推奨期間を越えた長期使用による劣化であることを踏まえ、電装品交換を追加した。
排風機	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外観点検、振動測定：1回/月 ✓ 絶縁抵抗測定：1回/年 ✓ 分解点検 (消耗品交換含む)：1回/3年 ✓ <u>コイル巻き直し：1回/12年</u> ✓ <u>排風機本体の外観点検 (保温材取外し)：1回/20年</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外観点検、振動測定：1回/月 ✓ 絶縁抵抗測定：1回/年 ✓ 分解点検 (消耗品交換含む)：1回/3年 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2020年6月に発生した1号中間室系排風機電動機の絶縁劣化事象は、コイルのメーカー推奨期間を越えた長期使用による短絡であることを踏まえ、コイル巻き直し及び排風機本体点検を追加した。

注：下線は、今回評価期間中において追加した点検項目を示す。

補足説明資料
(技術評価書の補足)

以下に示す資料については、本年9月13日に保安規定変更認可申請の一部補正した技術評価書を補足説明するものである。また、補足説明を踏まえ、8月10日の保安規定変更認可申請に対して技術評価書の修正要否を示す。なお、修正要となった事項については、9月13日の保安規定変更認可申請の一部補正にて反映済みである。

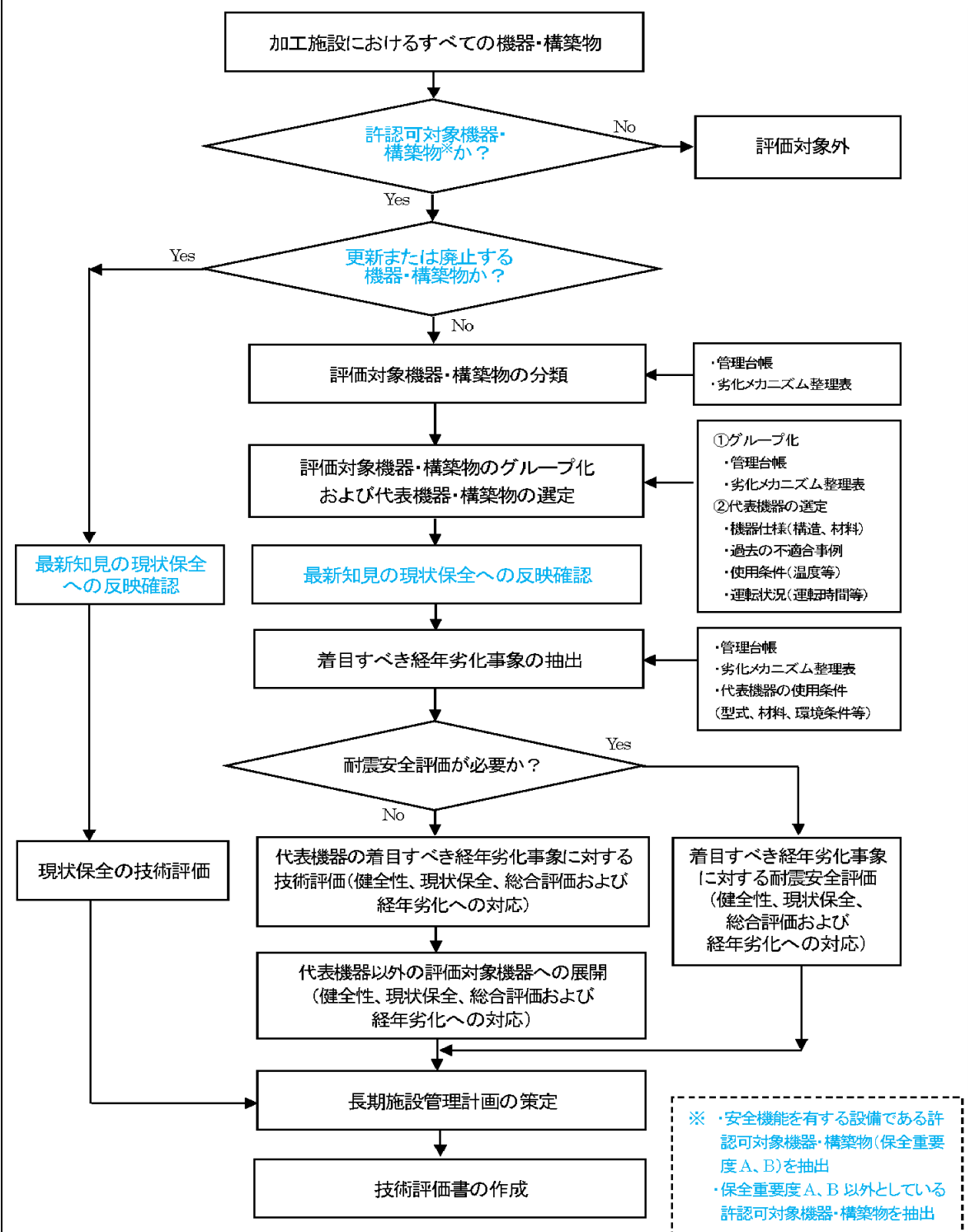
No.	タイトル	補足説明のポイント	評価書 修正要否
1	評価対象機器の抽出	・評価対象機器の抽出方法の明確化に関する説明	要
2	評価フロー	・評価対象機器の抽出方法の明確化および最新知見などの反映の位置づけの再整理を踏まえた、フローへの反映に関する説明	要
3	代表機器の選定	・代表機器の選定理由の記載不足に関する説明	要
4	代表機器以外の PLM 評価	・代表機器以外の PLM 評価プロセスの明確化に関する説明	要
5	更新・廃止する機器の PLM 評価	・更新・廃止する機器の PLM 評価プロセスの明確化に関する説明	要
6	着目すべき経年劣化事象に対する健全性評価	・評価対象機器をグループ化した分類ごとの健全性評価結果に関する説明	要
7	遠心分離機の現状保全	・遠心分離機に異常が発生した場合の措置に関する説明	要
8	廃品シリンダの現状保全	・廃品シリンダのバルブ・プラグ部への現状保全内容に関する説明	要
9	1号均質室系排気フィルタユニットおよびダクト・支持構造物の現状保全	・1号均質室系フィルタユニットおよびダクト・支持構造物における想定される劣化事象に対応する現状保全内容に関する説明	要

No.	タイトル	補足説明のポイント	評価書 修正要否
10	基礎ボルト の現状保全	・シリンダ置台の脆性疲労に関する説明	否
11	IF7 ボンベ の現状保全	・IF7 ボンベの腐食メカニズムに関する説明	否
12	カリフォル ニア型フー ドの現状保 全	・自主検査項目の明確化に関する説明	要
13	サンプル小 分け装置の 現状保全	・サンプル小分け装置の熱応力疲労に関する説明	否
14	別紙の記 載・構成	・別紙の記載・構成の適正化・充実化に関する説明	要
15	耐震安全性 評価におけ る経年劣化 事象	・建屋・構築物、基礎ボルトごとに想定される経年劣化事象の整理、着目すべき経年劣化事象としなかった理由に関する説明	要
16	長期施設管 理計画と長 期施設管理 方針の関係 性	・長期施設管理計画を踏まえて、長期施設管理方針を策定するプロセスに関する説明	要
17	最新知見お よび運転状 況の反映	・PLM 評価における最新知見および運転状況の反映の位置づけに関する説明	要

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考
<p>3.2.2 経年劣化に関する技術的な評価手順 (略)</p> <p>(1) 評価対象機器・構築物の抽出</p> <p>① 加工施設における全ての機器・構築物の中から以下の条件により評価対象機器・構築物を抽出する。</p> <p>a. 安全機能を有する設備である許認可対象機器・構築物 「加工施設及び再処理施設の高経年化対策に関する基本的な考え方」においては、評価対象を安全上重要な施設(以下「安重施設」という。)として定める設備・機器となっている。しかしながら、加工施設においては、安重施設がないため、「安全機能を有する機器・構築物」を評価対象とし、「加工施設 施設管理要領」で定める保全重要度 A、B※に該当する機器・構築物(許認可対象機器・構築物)を評価対象として抽出する。</p> <p>b. 保全重要度 A、B 以外としている許認可対象機器・構築物 許認可対象機器・構築物は、基本的には保全重要度 A、B であるが、以下の i～iii の条件を満たす機器・構築物は、保守・点検の内容が過度に保守的にならないように機器の保全重要度を A、B 以外に設定できることとしている。経年劣化に関する技術的な評価に当たっては、保全重要度 A、B 以外の許認可対象機器・構築物も評価対象として抽出する。</p> <p>i. 冗長系または代替機能を有するため、一つの故障で安全機能の喪失や事故に至ることがなく、影響範囲が当該機器に限定され、他の系統、機器へ波及的影響をおよぼすことがない</p> <p>ii. 異常(経年劣化)の進行が遅いまたは減肉、制限値等の安全担保要件に対して、設計マージンが十分取られている</p> <p>iii. 故障、事故に至る前に容易に異常の検知が可能であり、短時間で修復回復または許容可能な範囲の時間内に修復することで安全上支障ないもの</p> <p>※ 機器の保全重要度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保全重要度 A 重大事故に至るおそれがある事故等の発生防止、拡大防止、影響緩和に係る機能要求があり、機能喪失時の影響が大きく、最大限の予防保全を実施する機器 ・保全重要度 B 保全重要度 A に該当する機器以外で事業変更許可申請書、設工認申請書の本文、仕様表、系統図等に記載されている一般産業機器以上の機器 ・保全重要度 C 一般産業機器と同等の機器、他法令等に要求されている機器 ・保全重要度 D 保全重要度 A～C に該当しない機器 <p>② 評価対象外の機器・構築物 評価対象外の機器・構築物は、許認可対象外機器・構築物であり、機能を喪失しても安全上支障はないが、評価対象外の機器・構築物が破損しても許認可対象機器・構築物へ波及的影響を生じない設計としている。 なお、許認可対象外機器・構築物については、評価の対象外としているが、これらの機器・構築物についても、「加工施設 施設管理要領」に基づき、最新知見の反映として現状保全への点検項目の追加、点検周期の見直し等を実施しているものである。</p> <p>(2) 更新または廃止する機器・構築物の抽出 (1)で評価対象として抽出された評価対象機器・構築物のうち、至近に更新または廃止する機器・構築物については、長期的な経年劣化に対する考慮は不要であるため、更新・廃止までの間の現状保全の妥当性を評価する。</p>	<p>経年劣化に関する技術評価対象機器・構築物の抽出手順について補足する。</p> <p>1. 評価対象機器・構築物の抽出 加工施設(ウラン濃縮工場)における全ての機器・構築物の中から以下の条件により評価対象機器・構築物を抽出する。</p> <p>① 安全機能を有する設備である許認可対象機器・構築物 原子炉では安重施設を評価対象機器・構築物に選定しているが、加工施設には安重施設に該当する設備がないことから、安全機能を有する設備である許認可対象機器・構築物を評価対象機器・構築物として抽出する。具体的には、「加工施設 施設管理要領」で定める保全重要度 A、B に該当する機器・構築物が、評価対象機器・構築物となる。</p> <p>【加工施設 施設管理要領で定める保全重要度の定義】 保全重要度 A: 重大事故に至るおそれがある事故等の発生防止、拡大防止、影響緩和に係る機能要求があり、機能喪失時の影響が大きく、最大限の予防保全を実施する機器 保全重要度 B: 保全重要度 A に該当する機器以外で事業変更許可申請書、設工認申請書の本文、仕様表、系統図等に記載されている一般産業機器以上の機器 保全重要度 C: 一般産業機器と同等の機器、他法令等に要求されている機器 保全重要度 D: 保全重要度 A～C に該当しない機器</p> <p>② 保全重要度 A、B 以外としている許認可対象機器・構築物 許認可対象機器・構築物のうち「加工施設 施設管理要領」で定める以下の i～iii の条件を満たす機器・構築物については、保全重要度を A、B 以外としている。これら保全重要度 A、B 以外としている許認可対象機器・構築物についても、対象機器・構築物として抽出する。</p> <p>i. 冗長系または代替機能を有するため、一つの故障で安全機能の喪失や事故に至ることがなく、影響範囲が当該機器に限定され、他の系統、機器へ波及的影響を及ぼすことがない</p> <p>ii. 異常(経年劣化)の進行が遅いまたは減肉、制限値等の安全担保要件に対して、設計マージンが十分取られている</p> <p>iii. 故障、事故に至る前に容易に異常の検知が可能であり、短時間で修復回復または許容可能な範囲の時間内に修復することで安全上支障ないもの</p> <p>2. 評価対象外の機器 上記 1 より、評価対象外機器・構築物は、許認可対象外機器・構築物であり、機能を喪失しても安全上支障はないが、評価対象外機器・構築物が破損しても許認可対象機器・構築物へ波及的影響を生じない設計としている。 また、許認可対象外機器・構築物については、評価の対象外としているが、これらの機器・構築物についても、「加工施設 施設管理要領」に基づき、最新知見の反映として現状保全への点検項目の追加、点検周期の見直し等を実施している。</p> <p>3. 更新または廃止する機器・構築物の抽出 1. ①および②により抽出された評価対象機器・構築物の中には、以下の考え方により整理した至近のうちに更新・廃止する機器が含まれているため、更新・廃止する機器を識別し、更新・廃止するまでの間の現状保全の適切性を評価する。 【更新・廃止の考え方】 更新・廃止する機器については、以下の考え方に基づき抽出している。また、そのうち許認可を要する機器については、事業変更許可(2017年5月許可)において、明確にしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新機器 長期間使用の機器については、現状保全にて機能維持を継続しているが、交換部品の調達状況(製造中止状況)や機器の故障頻度の上昇によりこれ以上補修を繰り返しても機能維持が見込めないと判断した場合、当該機器の更新(取替え)を決定する。 ・廃止機器 事業計画により当該設備は使用しないと判断した場合、廃止対象機器を決定する。 	

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考
	<p>4. 技術評価書の修正要否</p> <p>評価対象機器・構築物の抽出手順は、上記のとおりであることから、上記主旨で評価書を左記のとおり修正する。</p> <p>また、評価フローについても評価対象機器・構築物の抽出が上記1. に示す考え方であることが分かるよう No.2 (評価フロー) のとおり修正する。</p>	

添付-4 加工施設の経年劣化に関する技術的な評価の流れ



1. 技術評価書の修正要否
 本資料 No. 1 (評価対象機器の抽出) および No. 17 (最新知見および運転状況の反映) の補足説明を踏まえ、評価フローを左記のとおり修正する。

【No. 3 代表機器の選定】

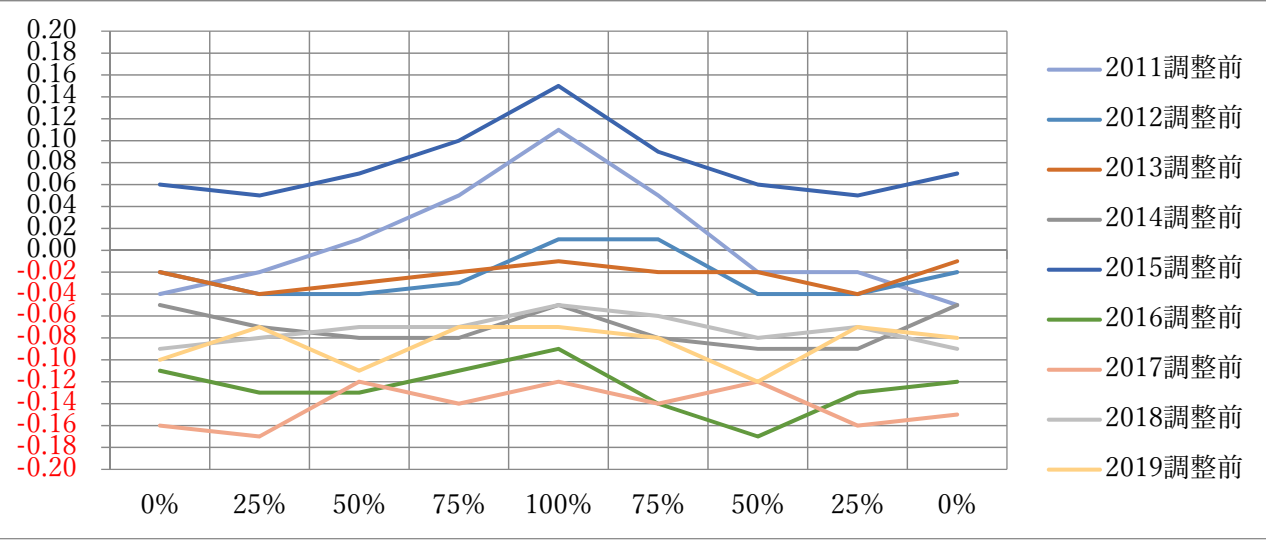
技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考
<p>3.2.2 経年劣化に関する技術的な評価手順 (略)</p> <p>(3) 評価対象機器・構築物の分類</p> <p>① グループ化 (略)</p> <p>② 代表機器の選定</p> <p>①の評価グループ毎に機器仕様(構造、材料)、過去の不適合事例、使用状況(温度、圧力、流量等)、運転状況(運転時間、作動回数、UF₆充填量等)の条件が分類したグループ内で最も厳しい機器・構築物を代表機器に選定し、以降の評価はこの代表機器を対象として実施する。</p> <p>ただし、代表機器はグループの機器・構築物の経年劣化に関する技術的な評価を包含している必要があるため、包含されない機器・構築物がある場合、同グループで複数の代表機器を選定し評価する。</p>	<p>1. 代表機器の選定</p> <p>評価対象機器・構築物をグループ化した上で代表機器を選定することとなるが、この選定にあたっては、以下の条件により選定している。</p> <p>①機器仕様(構造、材料) ②過去の不適合事例 ③使用状況(温度、圧力、流量等) ④運転状況(運転時間、作動回数、UF₆充填量等)</p> <p>2. 技術評価書の修正要否</p> <p>代表機器の選定条件に「機器仕様」、「過去の不適合事例」が記載されていないため、左記のとおり記載を修正する。</p>	

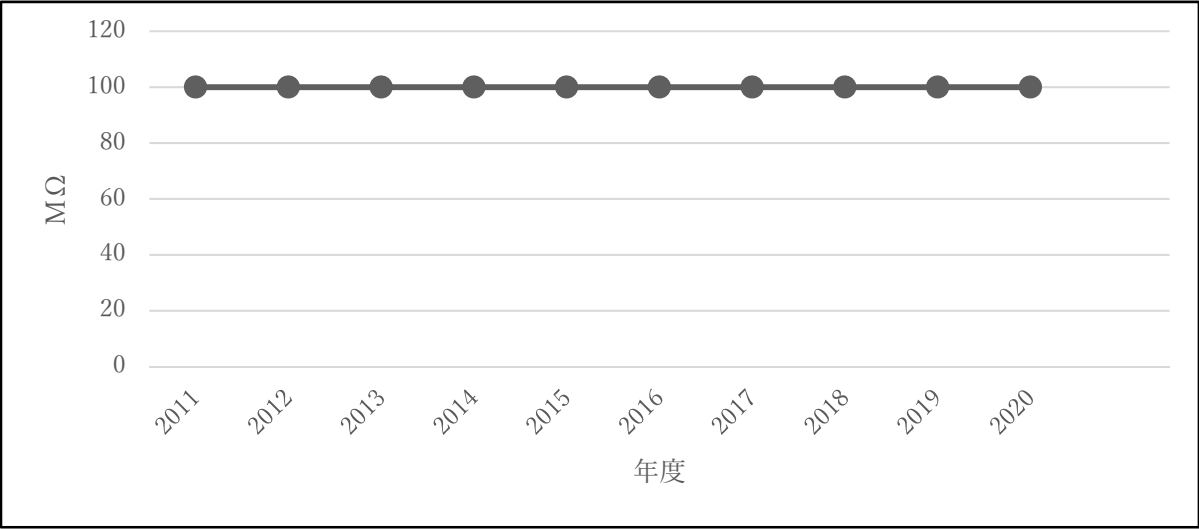
技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考
<p>3.2.2 経年劣化に関する技術的な評価手順 (略)</p> <p>(6) 経年劣化事象に対する技術的な評価 (略)</p> <p>【代表機器以外の評価対象機器に対する技術的な評価】 代表機器で抽出した経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象を代表機器以外の評価対象機器に展開する。</p> <p>① 健全性評価 代表機器以外の評価対象機器に展開した経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象に対して、現時点の健全性または劣化傾向に異常がないことを評価する。</p> <p>② 現状保全 現状保全を実施し、経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象に対して、異常が発生していないことを確認する。</p> <p>③ 総合評価 代表機器以外の評価対象機器について、健全性評価結果および現状保全の確認結果から、次回評価までの10年間の継続使用を踏まえた総合的な評価を実施する。</p> <p>④ 追加保全策の策定 総合評価を踏まえ、現状の点検計画の内容に充実すべき項目、課題等を抽出し、追加保全策を策定し、新たな長期施設管理計画に反映する。</p>	<p>1. 代表機器の評価結果の代表機器以外の評価対象機器への展開</p> <p>(1) 着目すべき経年劣化事象の展開 代表機器で抽出した着目すべき経年劣化事象を代表機器以外の評価対象機器へ展開した。</p> <p>(2) 健全性評価 代表機器以外の評価対象機器へ展開した着目すべき劣化事象に対して、劣化傾向に異常がないことを確認した。</p> <p>(3) 現状保全の適切性確認 代表機器以外の評価対象機器についても、現状保全を実施し、着目すべき経年劣化事象に対して異常が発生していないことを確認した。</p> <p>(4) 総合評価 代表機器以外の評価対象機器についても、現状、顕著な劣化傾向は見られず、現状の保全内容は適切であると評価した。</p> <p>(5) 経年劣化への対応 上記より代表機器以外の評価対象機器についても現状保全の適切性を確認したことから、高経年化対策の観点から追加項目はないと評価した。</p> <p>2. 技術評価書の修正要否 「上記までの評価結果より」については、何を指しているのかが不明確であること、また代表機器以外の評価対象機器についても、上記に示すとおり代表機器と同様に評価していることから、これらが明確となるよう左記のとおり修正する。</p>	

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考
<p>3.2.2 経年劣化に関する技術的な評価手順 (略)</p> <p>(6) 経年劣化事象に対する技術的な評価 (略)</p> <p>【更新または廃止する機器・構築物に対する技術的な評価】</p> <p>① 現状保全 現状保全を実施し、異常が発生していないことを確認する。</p> <p>② 総合評価 更新または廃止する機器について、現状保全の確認結果から、更新または廃止するまでの間の総合的な評価を実施する。</p> <p>③ 追加保全策の策定 総合評価を踏まえ、現状の点検計画の内容に充実すべき項目、課題等を抽出し、追加保全策を策定し、新たな長期施設管理計画に反映する。</p>	<p>1. 更新・廃止機器の現状保全の適切性 更新・廃止する機器については、既に更新・廃止計画を策定していることから、以下のとおり更新・廃止するまでの間の現状保全の適切性を評価した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 更新・廃止までの間に当該機器の使用を継続するもの。 【評価の視点】 更新・廃止に係る工事着手までの現状保全を評価する。 【現状保全】 機器の機能維持のために以下の必要な点検を実施し、異常のないことを確認した。 点検：定期点検、分解点検、消耗品交換、機能検査 【総合評価】 更新・廃止までの間の現状保全にて必要な点検を継続することから機器の機能維持が可能である。 【高経年化への対応】 上記より代表機器以外の評価対象機器についても現状保全の適切性を確認したことから、高経年化対策の観点から追加項目はないと評価した。 更新・廃止までの間に使用しないもの。(停止状態) 【評価の視点】 運転状態にならない限り安全機能を必要としない機器については、保管状態の適切性の観点での現状保全を評価する。 【現状保全】 機器の状態確認の観点での以下の日常巡視点検を実施し、異常のないことを確認した。 巡視点検：日常巡視点検（傷、割れ、変形、異音・異臭等の有無） 【総合評価】 停止中機器に劣化の進行はないことから、現状保全により状態監視を行うことで更新・廃止までの保管管理が可能である。 【高経年化への対応】 上記より代表機器以外の評価対象機器についても現状保全の適切性を確認したことから、高経年化対策の観点から追加項目はないと評価した。 <p>2. 技術評価書の修正要否 現状の技術評価書の記載では、どのような評価を行った結果、健全性が確保されると判断したのかが不十分な記載となっている。 このため、上記に示す更新・廃止機器の使用状態に応じた現状保全を踏まえ、技術的な評価を実施したことがわかるよう左記のとおり記載を修正する。</p>	

【No. 6 着目すべき経年劣化事象に対する健全性評価】

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)						補足説明	備考
表3 経年劣化に関する技術的な評価に着目すべき経年劣化事象に対する評価結果						<p>着目すべき経年劣化事象に対する健全性評価について、以下のとおり補足説明する。</p> <p>1. 各分類の健全性評価結果</p>	
分類	機器・構築物 (代表機器)	対象部位	経年劣化事象	現状保全	評価結果		
建屋・構築物	各建屋	壁、屋上、天井、床、柱	中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下	外観点検 壁・床のクラック補修 柱の補修塗装 非破壊試験または破壊試験	現状保全を継続する。		
ポンプ	ローポンプ ブースポンプ コンプレッサ 送泥ポンプ 送水ポンプ 処理水ポンプ 消火ポンプ	電動機	絶縁低下	絶縁抵抗測定	現状保全を継続する。		
インターロック (計測制御設備)	圧力伝送器 温度検出器 重量検出器 液位検出器	ケーブル	絶縁低下	特性試験 絶縁抵抗測定	現状保全を継続する。		
空調設備	排風機	電動機	絶縁低下	絶縁抵抗測定	現状保全を継続する。		
電気設備	高周波インバータ盤	コンバータ回路、チョップ回路、インバータ回路	絶縁低下	絶縁抵抗測定	現状保全を継続する。		
	非常用ディーゼル発電機(発電機側)	三相同期発電機 励磁機、本体 制御盤	絶縁低下	絶縁抵抗測定	現状保全を継続する。		
	無停電電源装置	計器用変圧器	絶縁低下	絶縁抵抗測定	現状保全を継続する。		
	ハットセクション	筐体	絶縁低下	絶縁抵抗測定	現状保全を継続する。		
機械設備	冷凍機ユニット	圧縮機	絶縁低下	絶縁抵抗測定	現状保全を継続する。		
	管理排水処理排水機	電動機	絶縁低下	絶縁抵抗測定	現状保全を継続する。		
	基礎ボルト	廃品シダグ置台 2号一般バネ系 コルトナット	腐食による減肉	外観点検 (寸法測定含む)	現状保全を継続する。		
その他設備	ダストサンプラ	ケーブル	絶縁低下	絶縁抵抗測定	現状保全を継続する。		
	電気温水器	電気温水器	絶縁低下	絶縁抵抗測定	現状保全を継続する。		
	火災報知機	ケーブル	絶縁低下	絶縁抵抗測定	現状保全を継続する。		
	秤量計	検出器	絶縁低下	絶縁抵抗測定	現状保全を継続する。		
	洗缶架台	電動機	絶縁低下	絶縁抵抗測定	現状保全を継続する。		
<p>1. 建屋・構築物</p> <p>代表機器・構築物の評価結果について以下 (1) および (2) に示す。</p> <p>【代表機器に対する技術的な評価】</p> <p>(1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋・・・代表機器選定理由：a、b</p> <p>(略)</p> <p>④ 健全性評価</p> <p>現状保全として破壊試験(コア抜き調査)および非破壊試験を実施し、コンクリート強度低下がないことを以下のa.およびb.により確認した。</p> <p>a. コンクリートコア抜き調査結果(初回調査結果)</p> <p>(a) 中性化深さは屋内外ともに「鉄筋コンクリート造建築物の耐久設計施工指針・同解説(2016)」(日本建築学会)の推定式※1を用いて算出した10年経過後における中性化深さにおいても、鉄筋が腐食し始める中性化深さに対し十分に下回っていることを確認した。</p> <p>調査結果(抜粋)について以下に示す。</p> <p>(略)</p> <p>(b) 塩化物イオン濃度測定の結果を「鉄筋の腐食速度に基づいた鉄筋コンクリート建築物の寿命予測に関する研究-東京大学学位論文(1986)」の予測式(森永式)に適用し算出された鉄筋の腐食減量は、調査時点(2019年)において$6.1 \times 10^{-4} \text{g/cm}^2$であり、今後10年経過を想定しても$8.0 \times 10^{-4} \text{g/cm}^2$と、</p>						<p>技術評価書(別紙)</p> <p>1. 建屋・構築物</p> <p>現状保全として破壊試験(コンクリートコア抜き試験結果「コンクリート中性化深さや塩化物イオン濃度測定」、非破壊試験(リバウンドハンマー)による調査を行っており、その結果から、竣工後20~30年経過しても腐食の進行がほとんど見られないことを確認した。なお、破壊試験および非破壊試験による調査については、事業開始以来今回初めて実施したものであり、今後、定期的に劣化の進行度合いを確認していく。</p>	

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考
<p>かぶりコンクリートにひび割れが発生する時点の $51.0 \times 10^4 \text{g/cm}^2$ に対し、大幅に下回っていることを確認した。</p> <p>b. 非破壊試験(リバウンドハンマー)による調査結果(初回調査結果) 圧縮強度は設計基準強度 23.5 N/mm^2 に対し、52.7 N/mm^2 と大幅に上回っていることを確認した。</p> <p>2. ポンプ 代表機器・構築物の評価結果について以下に示す。</p> <p>(1) 2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB) …代表機器選定理由:b (略)</p> <p>④ 健全性評価 現状保全として定期的に絶縁抵抗測定を実施し、判定基準を満足していることおよび劣化傾向に異常がないことを確認しており、必要により補修を実施することで経年劣化の進行による性能低下を防止できることを確認した。</p> <p>5. インターロック (計測制御設備) 代表機器・構築物の評価結果について以下に示す。</p> <p>(1) 圧力伝送器 (差圧伝送器) …代表機器選定理由:a (略)</p> <p>④ 健全性評価 現状保全として特性試験を実施し、判定基準を満足していることおよび劣化傾向に異常がないことを確認しており、必要により補修を実施することで経年劣化の進行による性能低下を防止できることを確認した。</p>	<p>技術評価書 (別紙)</p> <p>2. ポンプ 定期的な機器点検において、電動機の絶縁抵抗測定を実施し、絶縁抵抗が判定基準を満足しており、劣化傾向に異常がないことを確認した。</p> <p>技術評価書 (別紙)</p> <p>5. インターロック (計測制御設備) インターロック (計器) については、年1回特性試験を行い、その都度、判定基準値(精度)内であるか確認し、必要により調整をすることによって機能を維持していることを確認した。以下のグラフに示す代表例のとおり9年間の結果から調整前データが精度を逸脱することはなかった。(現在生産運転停止中であることを踏まえ、特別な保全計画を策定・適用しているため、2020年度は計器点検を一旦取りやめており、特性試験に係るデータはない。なお、今後生産運転再開前に通常の保全計画へ移行し、点検を再開する予定である。)</p> <p>絶縁抵抗測定は、温度検出器および重量検出器について、絶縁低下が性能に影響を及ぼすことが過去の知見から得られていることから、年1回の点検時に絶抵抗測定を実施し劣化傾向に異常がないことを確認している。</p> <p>また、圧力伝送器および重量検出器・指示計については、過去の知見から使用開始10年前後が機器故障の過渡期であることから、交換時期を1回/10年と設定し故障の未然防止を図ることとしている。</p> <p>(1) 圧力伝送器 (差圧伝送器) の特性試験による健全性評価 2号均質槽C 圧力伝送器A入出力試験 (判定基準: $\pm 0.2\%F.S$) グラフ中の縦軸を判定基準(%)、横軸は校正点(0~100%の25%毎の往復9点)を示す。</p>  <p>(2) インターロック作動弁については、現状保全として定期的に行うインターロック検査において実作動させ、その動作状況を確認している。</p>	

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考																						
<p>6. 空調設備 代表機器・構築物の評価結果について以下に示す。</p> <p>(1) 1号中間室系排風機 ……代表機器選定理由：b (略)</p> <p>④ 健全性評価 現状保全として定期的に絶縁抵抗測定を実施し、判定基準を満足していることおよび劣化傾向に異常がないことを確認しており、必要により補修を実施することで経年劣化の進行による性能低下を防止できることを確認した。</p> <p>7. 電気設備 代表機器・構築物の評価結果について以下に示す。</p> <p>(1) 2A高周波インバータ盤……代表機器選定理由：c (略)</p> <p>④ 健全性評価 現状保全として定期的に絶縁抵抗測定を実施し、判定基準を満足していることおよび劣化傾向に異常がないことを確認しており、必要により補修を実施することで経年劣化の進行による性能低下を防止できることを確認した。</p> <p>8. 機械設備 代表機器・構築物の評価結果について以下に示す。</p> <p>8.4 冷凍機ユニット (1) 2号製品冷凍機ユニット……代表機器選定理由：b (略)</p> <p>④ 健全性評価 現状保全として定期的に絶縁抵抗測定を実施し、判定基準を満足していることおよび劣化傾向に異常がないことを確認しており、必要により補修を実施することで経年劣化の進行による性能低下を防止できることを確認した。</p>	<p>技術評価書 (別紙)</p> <p>6. 空調設備 (1) 排風機 排風機の電動機について、1回/年の絶縁抵抗測定を実施し、絶縁抵抗が判定基準を満足しており、劣化傾向に異常がないことを確認した。 なお、以下のとおり傾向管理を実施しているが、過去の不適合実績から突発的な絶縁低下が発生する可能性があるため、以下の追加対応を行っている。 ・電動機コイルの絶縁劣化を防止するために、表面にワニスを塗布しているが、機器の構造上、巻線間の細部へワニス浸透しにくいことから、巻線内部へ塵埃等が溜まりショートした事象が発生したため、1回/12年にコイルの巻き直しをする対策を追加している。</p> <p>1号中間室系排風機C 絶縁抵抗測定による健全性評価 (判定基準：10MΩ以上)</p>  <table border="1"> <caption>1号中間室系排風機C 絶縁抵抗測定による健全性評価 (判定基準：10MΩ以上)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>絶縁抵抗 (MΩ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2011</td><td>100</td></tr> <tr><td>2012</td><td>100</td></tr> <tr><td>2013</td><td>100</td></tr> <tr><td>2014</td><td>100</td></tr> <tr><td>2015</td><td>100</td></tr> <tr><td>2016</td><td>100</td></tr> <tr><td>2017</td><td>100</td></tr> <tr><td>2018</td><td>100</td></tr> <tr><td>2019</td><td>100</td></tr> <tr><td>2020</td><td>100</td></tr> </tbody> </table> <p>技術評価書 (別紙)</p> <p>7. 電気設備 定期的な機器点検において、構成部品の絶縁抵抗測定を実施し、絶縁抵抗が判定基準を満足しており、劣化傾向に異常がないことを確認した。</p> <p>技術評価書 (別紙)</p> <p>8. 機械設備 定期的な機器点検において、構成部品の絶縁抵抗測定を実施し、絶縁抵抗が判定基準を満足しており、劣化傾向に異常がないことを確認した。</p>	年度	絶縁抵抗 (MΩ)	2011	100	2012	100	2013	100	2014	100	2015	100	2016	100	2017	100	2018	100	2019	100	2020	100	
年度	絶縁抵抗 (MΩ)																							
2011	100																							
2012	100																							
2013	100																							
2014	100																							
2015	100																							
2016	100																							
2017	100																							
2018	100																							
2019	100																							
2020	100																							

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考
<p>8.8 基礎ボルト 基礎ボルトについては、各機器共通に使用されるものであるため、評価の一元化の観点から本項目により一括評価する。 なお、代表機器については全評価対象機器・グループの基礎ボルトのうち腐食状況から2号一般ページ系コールドトラップおよび環境条件の厳しい廃品シリンダ置台の基礎ボルトを選定し、調査および評価を実施した。</p> <p>(1) 廃品シリンダ置台、2号一般ページ系コールドトラップ…代表機器選定理由：c, b (略)</p> <p>④ 健全性評価 現状保全として、基礎ボルトの寸法測定を行い基準寸法内であることを確認した。 (略)</p> <p>9. その他設備 代表機器・構築物の評価結果について以下に示す。</p> <p>9.1 放射線監視・測定設備 (1) ダストサンプラ…代表機器選定理由：a (略)</p> <p>④ 健全性評価 現状保全として定期的に絶縁抵抗測定を実施し、判定基準を満足していることおよび劣化傾向に異常がないことを確認しており、必要により補修を実施することで経年劣化の進行による性能低下を防止できることを確認した。</p>	<p>技術評価書 (別紙)</p> <p>8.8 基礎ボルト 基礎ボルトの減肉は、竣工後20～30年経過しても基準寸法以内であり腐食の進行がほとんど見られないため、今回を初期値にし、以後、10年または20年毎に計測し、劣化の進行度合いを確認することを現状保全として定めていることを確認した。 なお、現状保全として外観点検を記載しているが、これには寸法測定を含んでいることから、点検計画の現状保全の内容を外観点検と寸法測定に明確化し管理することとする。</p> <p>技術評価書 (別紙)</p> <p>9. その他設備 定期的な機器点検において、構成部品の絶縁抵抗測定を実施し、絶縁抵抗が判定基準を満足しており、劣化傾向に異常がないことを確認した。</p> <p>2. 技術評価書の修正要否 現状の技術評価書の記載では、どのように健全性評価を行ったのかが不明確なため、上記主旨で技術評価書の記載を左記のとおり修正する。 また、健全性評価から高経年化の対応要否までの各評価プロセスを明確にするとともに、評価プロセスごとの評価結果も明確にするよう、技術評価書をNo.14 (別紙の記載・構成) のとおり修正する。</p>	

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考
<p>8.5 カスケード設備</p> <p>(1) 遠心分離機…代表機器選定理由：d (略)</p> <p>② 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象 遠心分離機については、ウランの付着により回転体にアンバランスが発生した場合や応力腐食割れによる破損が発生した場合は、回転体がケーシング等の他の部品に接触して軽ガスを発生させるため、カスケード設備の運転パラメータである圧力・流量が変動することから、これによって異常の検知が可能であり、異常が発生した遠心分離機は、他の健全な遠心分離機から隔離・停止したままの状態でのメンテナンスによる復旧はしない設計としており、着目すべき経年劣化事象はない。</p>	<p>1. 遠心分離機の異常検知および対応 操業当初に設置していた金属胴遠心分離機は、遠心分離機部品の金属とUF₆の反応によるウランの付着が発生し、生産運転の継続が不可能となり順次停止した。新型遠心分離機については、ウランの付着を抑制する対策を施しているが、金属胴遠心分離機と同様に、金属部品へのウランの付着（UF₆腐食）や回転体の応力腐食割れが劣化事象として想定される。</p> <p>ウランの付着により回転体にアンバランスが発生した場合や応力腐食割れによる破損が発生した場合は、回転体がケーシング等の他の部品に接触して軽ガスを発生させるため、カスケード設備の運転パラメータである圧力・流量が変動することから、これによって異常の検知が可能である。</p> <p>異常が発生した遠心分離機は、他の健全な遠心分離機から隔離・停止し、残りの健全な遠心分離機により生産を継続する。異常停止した遠心分離機は、隔離したままの状態でのメンテナンスによる復旧はしない設計としている。</p> <p>2. 技術評価書の修正要否 遠心分離機はノーメンテナンス設計であり、異常の発生は運転状態の監視により検知し、異常が発生した遠心分離機は隔離・停止して、残りの健全な遠心分離機で生産を継続することがわかるように技術評価書の記載を左記のとおり修正する。</p>	

9.3 容器

(2) 廃品シリンダ(ANSI 又は ISO 規格 48Y)・・・代表機器選定理由 : a

- ① 想定される経年劣化事象の抽出
 - ・胴体、バルブ、プラグ・UF₆腐食(その他)、腐食
- ② 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象
 経年劣化傾向と実際の劣化傾向の乖離が考え難い経年劣化事象であって、想定した劣化傾向等に基づき適切な保全活動を行っているため、着目すべき経年劣化事象はない。
- ③ 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象ではない事象への現状保全
 下表のとおり、着目すべき経年劣化事象ではない事象に対しても現状保全の内容が適切であることを確認した。

部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期
胴体	UF ₆ 腐食(その他)	外観点検	1回/1年
	腐食	肉厚測定	
バルブ	UF ₆ 腐食(その他)	外観点検	
	腐食	外観点検	
プラグ	UF ₆ 腐食(その他)	外観点検	
	腐食	外観点検	

・廃品シリンダの肉厚測定結果(抜粋)について以下に示す

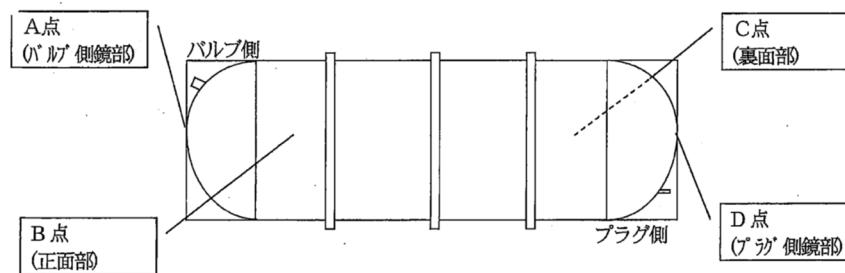
a. 肉厚測定結果(抜粋)

判定基準値に対し十分余裕があり、前回測定結果(2011年度)から顕著な減肉の進行は見られなかった。

判定基準 : 13.0mm 以上

測定年度	測定箇所(シリンダ番号 Y01109)			
	A	B	C	D
2011年度	16.5mm	15.9 mm	15.9 mm	16.7 mm
2021年度	16.4mm	15.8 mm	15.8 mm	16.7 mm

測定箇所



1. 廃品シリンダ弁の健全性

廃品シリンダの経年劣化事象については、廃品シリンダ(内外表面)のUF₆腐食が想定されるが、日常巡視点検および定期に行う外観点検、肉厚測定により、劣化の急激な進行のないことを確認している。弁(バルブ・プラグ部)については、米国で約40年にわたり屋外で貯蔵されていた約57000本の廃品シリンダの弁(バルブ・プラグ部)からの漏えいは確認されていないため、有意な劣化はないと考えられることから、日常巡視点検により周辺部の目視確認をしており、これまでバルブ部周辺に漏えいの痕跡(結晶化したUF₆の付着*)は確認されていない。

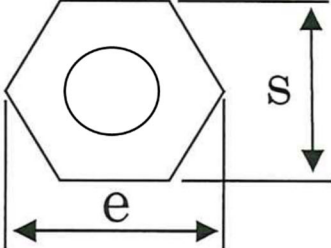
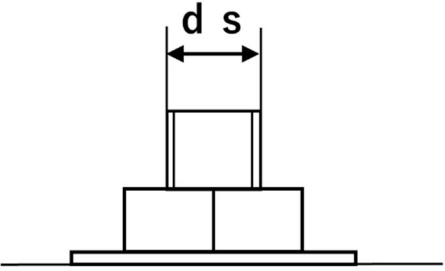
*シリンダ内は負圧状態であり、欠陥部からの系内へのエアリークインにより、系内外が同圧となった場合に拡散による微小漏えいが発生する可能性があるが、UF₆はUF₆の結晶となり、バルブ・プラグ部周辺に付着してとどまるため、従事者及び一般公衆へ影響する漏えいは発生しないが、汚染拡大防止のためには、日常巡視点検および定期点検で対応可能である。

2. 技術評価書の修正要否

現状対象部位を「本体(内外)」と記載しており、バルブ・プラグも対象としていることが不明確であることから、これが明確となるよう左記のとおり修正する。

また、付着ウラン回収容器、中間製品容器、IF₇ポンベについても同様に記載を左記のとおり修正する。

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考																																			
<p>6. 空調設備 代表機器・構築物の評価結果について以下に示す。</p> <p>(略)</p> <p>(2) 1号均質室系排気フィルタユニット …代表機器選定理由:c</p> <p>① 想定される経年劣化事象の抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筐体…腐食 ・ フィルタ…腐食(HF)および目詰まり(その他) <p>② 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象 不適合については対処済であり、得られた知見を保全計画に反映し、30年毎にフィルタユニットの内部確認を実施していることから、未点検部位は無く、当該箇所の劣化事象も著しく進行することは考え難いため、経年劣化対策上着目すべき経年劣化事象はない。</p> <p>③ 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象ではない事象への現状保全 下表のとおり、着目すべき経年劣化事象ではない事象に対しても現状保全の内容が適切であることを確認した。</p> <table border="1" data-bbox="195 709 1181 940"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>経年劣化事象</th> <th>現状保全</th> <th>点検周期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">筐体</td> <td rowspan="2">腐食</td> <td>内部確認</td> <td>1回/30年</td> </tr> <tr> <td>外観点検</td> <td>1回/1ヶ月</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">フィルタ</td> <td rowspan="2">腐食(HF)および目詰まり(その他)</td> <td>差圧確認</td> <td>1回/1ヶ月</td> </tr> <tr> <td>プレフィルタおよび高性能フィルタ交換</td> <td>基準値を超えた都度</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 2号排気ダクト、1号および2号排気ダクトの支持構造物…代表機器選定理由:b</p> <p>① 想定される経年劣化事象の抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ダクト本体(ダンパ含む)…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労) ・ 支持構造物…腐食 <p>② 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象 不適合については対処済であり、得られた知見を保全計画に反映していることから、未点検部位は無く、当該箇所の劣化事象も著しく進行することは考え難いため、経年劣化対策上着目すべき経年劣化事象はない。</p> <p>③ 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象ではない事象への現状保全 下表のとおり、着目すべき経年劣化事象ではない事象に対しても現状保全の内容が適切であることを確認した。</p> <table border="1" data-bbox="195 1375 1181 1816"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>経年劣化事象</th> <th>現状保全</th> <th>点検周期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">ダクト本体 (ダンパ含む)</td> <td rowspan="2">腐食</td> <td>ファイバースコープ等による内部点検</td> <td rowspan="6">1回/10年</td> </tr> <tr> <td>ダクトの外観点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亀裂(疲労)</td> <td>ファイバースコープ等による内部点検</td> </tr> <tr> <td>ダクトの外観点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">変形(疲労)</td> <td>ファイバースコープ等による内部点検</td> </tr> <tr> <td>ダクトの外観点検</td> </tr> <tr> <td>支持構造物</td> <td>腐食</td> <td>外観点検</td> <td>1回/20年</td> </tr> </tbody> </table>	部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期	筐体	腐食	内部確認	1回/30年	外観点検	1回/1ヶ月	フィルタ	腐食(HF)および目詰まり(その他)	差圧確認	1回/1ヶ月	プレフィルタおよび高性能フィルタ交換	基準値を超えた都度	部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期	ダクト本体 (ダンパ含む)	腐食	ファイバースコープ等による内部点検	1回/10年	ダクトの外観点検	亀裂(疲労)	ファイバースコープ等による内部点検	ダクトの外観点検	変形(疲労)	ファイバースコープ等による内部点検	ダクトの外観点検	支持構造物	腐食	外観点検	1回/20年	<p>フィルタユニットおよびダクトの現状保全について、以下のとおり補足説明する。</p> <p>1. 1号均質室系排気フィルタユニット</p> <p>①1号均質室系排気フィルタユニットの安全機能に影響をおよぼす経年劣化事象は、以下が抽出されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筐体の腐食 ・ フィルタの腐食(HF)および目詰まり(その他) <p>②現状保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筐体の腐食に対しては、外観点検 ・ フィルタの腐食(HF)(その他)および目詰まりに対しては、差圧測定および基準値を超えた場合のフィルタ交換 ・ 内部確認は、筐体内部の確認(分析ダクト損傷を受けて追加した、ユニット筐体の健全性確認)を実施している。 <p>2. 2号排気ダクト、1号および2号排気ダクトの支持構造物 「ファイバースコープ等による内部点検」について、内容を補足する。</p> <p>②現状保全</p> <p>2号排気ダクトの安全機能に影響をおよぼす経年劣化事象に対し、以下の点検を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイバースコープ等による内部点検…1回/10年 <p>これは、ダクト内部における水分と薬品による腐食を確認するために実施するもので、点検口からの目視、ファイバースコープによる内部状態確認を実施することとしている。</p> <p>3. 技術評価書の修正要否 各劣化事象に対して実施している現状保全が不明確であることから、明確となるよう技術評価書を左記のとおり修正する。また、本文 表1において、2号排気ダクトで想定される経年劣化事象として応力腐食を抽出しているが、誤記のため左記のとおり修正する。</p>	
部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期																																		
筐体	腐食	内部確認	1回/30年																																		
		外観点検	1回/1ヶ月																																		
フィルタ	腐食(HF)および目詰まり(その他)	差圧確認	1回/1ヶ月																																		
		プレフィルタおよび高性能フィルタ交換	基準値を超えた都度																																		
部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期																																		
ダクト本体 (ダンパ含む)	腐食	ファイバースコープ等による内部点検	1回/10年																																		
		ダクトの外観点検																																			
	亀裂(疲労)	ファイバースコープ等による内部点検																																			
		ダクトの外観点検																																			
	変形(疲労)	ファイバースコープ等による内部点検																																			
		ダクトの外観点検																																			
支持構造物	腐食	外観点検	1回/20年																																		

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考															
<p>8.8 基礎ボルト</p> <p>基礎ボルトについては、各機器共通に使用されるものであるため、評価の一元化の観点から本項目により一括評価する。</p> <p>なお、代表機器については全評価対象機器・グループの基礎ボルトのうち腐食状況から2号一般パージ系コールドトラップおよび環境条件の厳しい廃品シリンダ置台の基礎ボルトを選定し、調査および評価を実施した。</p> <p>(1) 廃品シリンダ置台、2号一般パージ系コールドトラップ…代表機器選定理由：c, b</p> <p>① 想定される経年劣化事象の抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎ボルト本体…腐食 <p>② 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎ボルト本体…腐食 <p>③ 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象の選定理由</p> <p>経年劣化の進行により急激な性能低下を引き起こす可能性があるため、経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象として選定した。</p> <p>④ 健全性評価</p> <p>現状保全として、基礎ボルトの寸法測定を行い基準寸法内であることを確認した。</p> <table border="1" data-bbox="172 772 1210 1096"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基礎ボルト設置場所</th> <th colspan="3">測定箇所 (基準寸法：JIS B1180 (M20))</th> </tr> <tr> <th>寸法 s (29.16~30.00mm)</th> <th>寸法 e (最小32.95mm)</th> <th>寸法 d s (19.48~20.00mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Bウラン貯蔵室 (廃品シリンダ置台)</td> <td>29.6mm</td> <td>33.7mm</td> <td>19.7mm</td> </tr> <tr> <td>2号発回均質室 (2号一般パージ系コールドトラップ)</td> <td>29.7mm</td> <td>33.8mm</td> <td>19.8mm</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>⑤ 現状保全</p> <p>以下の現状保全を実施し、着目すべき経年劣化事象に対して異常が発生していないことを確認した。</p> <p>外観点検 (寸法測定含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃品シリンダ置台…1回/20年 ・2号一般パージ系コールドトラップ…1回/10年 <p>⑥ 総合評価</p> <p>現状、腐食による基礎ボルトの減肉は見られず、今後減肉が急激に進行する可能性は低く、次回の経年劣化に関する技術的な評価までの10年間の継続使用が可能と評価した。</p> <p>⑦ 追加保全策の策定</p> <p>総合評価結果より現状保全内容に充実すべき項目や課題はなかったことから、追加の保全策はなく、また長期施設管理計画の策定は不要である。</p>	基礎ボルト設置場所	測定箇所 (基準寸法：JIS B1180 (M20))			寸法 s (29.16~30.00mm)	寸法 e (最小32.95mm)	寸法 d s (19.48~20.00mm)	Bウラン貯蔵室 (廃品シリンダ置台)	29.6mm	33.7mm	19.7mm	2号発回均質室 (2号一般パージ系コールドトラップ)	29.7mm	33.8mm	19.8mm	<p>シリンダ置台について、以下のとおり補足説明する。</p> <p>1. 脆性疲労</p> <p>シリンダ置台は、定置するシリンダの荷重がかかった状態で、1Gの静的地震力が加えられた状態でも弾性域に留まる設計とされていることから、シリンダの設置・移動の繰り返しによる脆性疲労は発生しない。</p> <p>2. 技術評価書の修正要否</p> <p>上記のとおり設計において、シリンダ置台に脆性疲労が発生しないようにしていることから、想定される経年劣化事象とはならない。そのため、技術評価書の修正は不要である。</p>	
基礎ボルト設置場所		測定箇所 (基準寸法：JIS B1180 (M20))															
	寸法 s (29.16~30.00mm)	寸法 e (最小32.95mm)	寸法 d s (19.48~20.00mm)														
Bウラン貯蔵室 (廃品シリンダ置台)	29.6mm	33.7mm	19.7mm														
2号発回均質室 (2号一般パージ系コールドトラップ)	29.7mm	33.8mm	19.8mm														

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考											
<p>9.3 容器</p> <p>(4) IF₇ポンベ…代表機器選定理由：a</p> <p>① 想定される経年劣化事象の抽出 ・胴体、バルブ…腐食</p> <p>② 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象 経年劣化傾向と実際の劣化傾向の乖離が考え難い経年劣化事象であって、想定した劣化傾向等に基づき適切な保全活動を行っているため、着目すべき経年劣化事象はない。</p> <p>③ 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象ではない事象への現状保全 下表のとおり、着目すべき経年劣化事象ではない事象に対しても現状保全の内容が適切であることを確認した。</p> <table border="1" data-bbox="186 569 1196 695"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>経年劣化事象</th> <th>現状保全</th> <th>点検周期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胴体</td> <td>腐食</td> <td>外観点検</td> <td rowspan="2">使用前点検</td> </tr> <tr> <td>バルブ</td> <td>腐食</td> <td>外観点検</td> </tr> </tbody> </table>	部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期	胴体	腐食	外観点検	使用前点検	バルブ	腐食	外観点検	<p>IF₇ポンベの現状保全について、以下のとおり補足説明する。</p> <p>1. IF₇ポンベは、全てのカスケード設備の付着ウラン回収終了後、カスケード内に残留したIF₇を回収・充填して廃棄物として保管管理する。現状、付着ウラン回収作業は継続中であり、IF₇の廃棄物としての保管は発生していないが、供給前のIF₇が充填されたポンベの現状保全として、外観点検によりポンベの状態確認を実施している。 なお、IF₇の腐食性については、付着ウラン回収設備の設置に先立って試験を実施し（下記参照）、UF₆と同様の管理により、閉じ込め機能の維持が可能であることを確認している。</p> <p>2. 内部腐食について、IF₇ポンベの材質はステンレス鋼で耐腐食性に優れており、付着ウラン回収設備の設計にあたり、設計及び保守（メンテナンス頻度など）の検討に反映する事を目的に、腐食試験を実施した結果、IF₇の曝露による減肉量は少なく、設計及び保守の検討で問題となるような腐食の進行は見られなかった。 なお、ステンレス鋼のIF₇ガスにおける腐食試験を行った結果は、腐食進行が緩やかであり、厳しい曝露条件（110℃、960hPa）における減肉量は約0.01mm/10年との結果を得られている。 実機における温度・圧力が共に高い使用条件は、■℃（混合ガススクルト・トラップの運転温度）、600hPa程度である。他の曝露条件（室温、6.7hPa）における重量変化が、厳しい曝露条件（110℃、960hPa）と比べて1桁程度小さいことを考慮すると、実機における減肉量は約0.001～0.01mm/10年である。</p> <p>*腐食メカニズム 冒頭のとおり、文献によると、IF₇は金属表面にフッ化金属膜を生成して、常温ではこれ以上の腐食を起こさないとされている。腐食試験では、フッ化金属膜の生成状態を確認するため、腐食進行が速かった厳しい曝露条件（110℃、960hPa）で曝露した供試体表面について、XPS（X線光電子分光分析装置）により分析を行った結果、全ての材質に共通して、フッ化金属膜が生成されている。また、腐食の進行も曝露時間の経過と共に、徐々に緩やかになっていることから、文献の内容を裏付けている。</p> <p>3. 技術評価書の修正要否 IF₇ポンベの想定される経年劣化事象として抽出した腐食について、補足説明しているものであることから、技術評価書の修正は不要である。</p>	
部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期										
胴体	腐食	外観点検	使用前点検										
バルブ	腐食	外観点検											

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考																												
<p>9.8 検査設備(分析設備)</p> <p>(1) 質量分析装置…代表機器選定理由：a</p> <p>① 想定される経年劣化事象の抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本体…腐食 ・構成部品…部品摩耗 <p>② 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象</p> <p>経年劣化傾向と実際の劣化傾向の乖離が考え難い経年劣化事象であって、想定した劣化傾向等に基づき適切な保全活動を行っているため、着目すべき経年劣化事象はない。</p> <p>③ 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象ではない事象への現状保全</p> <p>下表のとおり、着目すべき経年劣化事象ではない事象に対しても現状保全の内容が適切であることを確認した。</p> <table border="1" data-bbox="181 569 1202 716"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>経年劣化事象</th> <th>現状保全</th> <th>点検周期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">本体</td> <td rowspan="2">腐食</td> <td>外観点検</td> <td>1回/1年</td> </tr> <tr> <td>部品交換</td> <td>1回/2年</td> </tr> <tr> <td>構成部品</td> <td>部品摩耗</td> <td>部品交換</td> <td>1回/2年</td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p> <p>(6) カリフォルニア型フード…代表機器選定理由：a</p> <p>① 想定される経年劣化事象の抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本体…腐食 ・構成部品…部品摩耗 <p>② 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象</p> <p>経年劣化傾向と実際の劣化傾向の乖離が考え難い経年劣化事象であって、想定した劣化傾向等に基づき適切な保全活動を行っているため、着目すべき経年劣化事象はない。</p> <p>③ 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象ではない事象への現状保全</p> <p>下表のとおり、着目すべき経年劣化事象ではない事象に対しても現状保全の内容が適切であることを確認した。</p> <table border="1" data-bbox="166 1157 1219 1318"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>経年劣化事象</th> <th>現状保全</th> <th>点検周期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本体</td> <td>腐食</td> <td>外観点検</td> <td>1回/1年</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">構成部品</td> <td rowspan="2">部品摩耗</td> <td>部品交換</td> <td>1回/2年</td> </tr> <tr> <td>フード面速確認</td> <td>1回/1年</td> </tr> </tbody> </table>	部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期	本体	腐食	外観点検	1回/1年	部品交換	1回/2年	構成部品	部品摩耗	部品交換	1回/2年	部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期	本体	腐食	外観点検	1回/1年	構成部品	部品摩耗	部品交換	1回/2年	フード面速確認	1回/1年	<p>1. 質量分析装置およびカリフォルニア型フードの現状保全および技術評価書の修正要否について、以下のとおり補足説明する。</p> <p>(1) 質量分析装置</p> <p>自主検査は実施しておらず誤記のため、技術評価書を左記のとおり修正する。</p> <p>(6) カリフォルニア型フード</p> <p>自主検査として、フード面速確認を実施している。この検査内容が明確となるように技術評価書を左記のとおり修正する。</p>	
部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期																											
本体	腐食	外観点検	1回/1年																											
		部品交換	1回/2年																											
構成部品	部品摩耗	部品交換	1回/2年																											
部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期																											
本体	腐食	外観点検	1回/1年																											
構成部品	部品摩耗	部品交換	1回/2年																											
		フード面速確認	1回/1年																											

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考														
<p>9.9 2号均質・ブレンディング設備</p> <p>(1) 2号サンプル小分け装置・・・代表機器選定理由：a</p> <p>① 想定される経年劣化事象の抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接液部（分岐管等）・・・UF₆腐食(その他)、熱応力疲労(その他) ・本体・・・腐食 <p>② 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象</p> <p>経年劣化傾向と実際の劣化傾向の乖離が考え難い経年劣化事象であって、想定した劣化傾向等に基づき適切な保全活動を行っているため、着目すべき経年劣化事象はない。</p> <p>③ 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象ではない事象への現状保全</p> <p>下表のとおり、着目すべき経年劣化事象ではない事象に対しても現状保全の内容が適切であることを確認した。</p> <table border="1" data-bbox="160 604 1219 804"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>経年劣化事象</th> <th>現状保全</th> <th>点検周期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">接液部 (分岐管等)</td> <td>UF₆腐食(その他)</td> <td>外観点検</td> <td rowspan="2">1回/5年</td> </tr> <tr> <td>熱応力疲労(その他)</td> <td>外観点検</td> </tr> <tr> <td>本体</td> <td>腐食</td> <td>外観点検</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期	接液部 (分岐管等)	UF ₆ 腐食(その他)	外観点検	1回/5年	熱応力疲労(その他)	外観点検	本体	腐食	外観点検		<p>サンプル小分け装置の現状保全について、以下のとおり補足説明する。</p> <p>1. サンプル小分け装置は、均質槽においてサンプルシリンダに採取した液体UF₆サンプルを品質分析用に小分けする配管、弁、フードからなる装置である。</p> <p>配管、弁は加熱されて内部が液体UF₆雰囲気におかれるため、腐食、熱応力疲労の可能性はあるが、通常の運転操作において、圧力の監視、リークテストを行うほか、定期的な耐圧気密試験を実施しており、これによって劣化の兆候を検知し、必要な部品交換を実施していくことで機能維持可能である。</p> <p>熱応力疲労による影響は、中間製品容器にて評価しているとおり（*）、疲労限界に対して十分余裕がある。</p> <p>なお、現在は生産運転停止中であることを踏まえ、通常の運転操作は行われていないことから、リークテストおよび定期的な耐圧気密試験は実施していないが、今後生産運転再開時に通常の運転操作において、圧力の監視、リークテストを行うほか、定期的な耐圧気密試験を再開する予定である。</p> <p>*熱応力疲労解析結果</p> <p>中間製品容器が1年間連続して使用（加熱・冷却）された場合の年間使用回数（サイクル数）は10回であり、29年間使用した場合の使用回数は290回となる。</p> <p>前回評価時の疲労解析より算出した熱応力に対応する鋼材の疲労限界回数は10000回以上（JIS B8266-2003）であることから、今後10年間の使用を想定しても十分余裕があることを確認している。</p> <p>2. 技術評価書の修正要否</p> <p>サンプル小分け装置の想定される経年劣化事象として抽出した熱応力疲労について、補足説明しているものであることから、技術評価書の修正は不要である。</p>	
部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期													
接液部 (分岐管等)	UF ₆ 腐食(その他)	外観点検	1回/5年													
	熱応力疲労(その他)	外観点検														
本体	腐食	外観点検														

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考
<p>注：<>については、本資料上の説明ために記載したものであり、一部補正した技術評価書には記載なし。</p> <p style="text-align: right;">別紙</p> <p style="text-align: center;">経年劣化に関する技術的な評価の結果</p> <p>評価対象機器・構築物をグループ化した機器・構築物について、以下の条件で代表機器を選定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 機器仕様 (構造、材料) b. 過去の不適合事例 c. 使用状況 (温度、圧力、流量等) d. 運転状況 (運転時間、作動回数、UF₆充填量等) <p><代表機器に対する着目すべき経年劣化事象 (コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下) の記載例></p> <p><耐震安全性としての着目すべき経年劣化事象 (コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下、海塩粒子による鉄骨腐食) の記載例></p> <p>1. 建屋・構築物</p> <p>代表機器・構築物の評価結果について以下 (1) および (2) に示す。</p> <p>【代表機器に対する技術的な評価】</p> <p>(1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋…代表機器選定理由：a、b</p> <p>① 想定される経年劣化事象の抽出</p> <p>想定される経年劣化事象について、劣化メカニズム整理表より以下のとおり抽出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート造の壁、天井、柱…コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下、ひび割れ(疲労) ・鉄筋コンクリート造の床…コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下、ひび割れ(疲労)、塗装の剥離(劣化) ・鉄骨造の壁、天井…ひび割れ(疲労)、海塩粒子による鉄骨腐食 ・鉄骨造の床…ひび割れ(疲労)、塗装の剥離(劣化) ・鉄骨造の柱…海塩粒子による鉄骨腐食 ・屋上防水層 (アスファルト防水層、シート防水層) …劣化 ・扉部品 (建具等)…塗装の剥離(劣化)、摩耗、海塩粒子による腐食 ・シャッター部品 (建具等)…塗装の剥離(劣化)、摩耗、海塩粒子による腐食 ・EXPJ (エキスパンションジョイント) 部品…摩耗、海塩粒子による腐食 <p>② 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート造の壁、天井、柱…コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下 ・鉄筋コンクリート造の床…コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下 <p>③ 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象の選定理由</p> <p>経年劣化の進行により急激な機能低下を引き起こす可能性があるため、経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象として選定した。</p> <p>④ 健全性評価</p> <p>現状保全として破壊試験 (コア抜き調査) および非破壊試験を実施し、コンクリート強度低下がないことを以下の a. および b. により確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. コンクリートコア抜き調査結果 (初回調査結果) <ol style="list-style-type: none"> (a) 中性化深さは屋内外ともに「鉄筋コンクリート造建築物の耐久設計施工指針・同解説 (2016)」(日 	<p>1. 技術評価書の修正要否</p> <p>技術評価書別紙の記載について、代表機器選定～評価結果までの各プロセスを明確にし、各プロセスに対する結果を記載するよう、全体的に修正する。</p> <p>また、現状、着目すべき経年劣化事象に対する評価なのか、着目すべき経年劣化ではない事象に対する評価なのか不明確であることから、各事象に対する評価であることが明確となるよう、全体的に修正する。修正例を左記に示す。</p> <p><修正フォーマット></p> <p>上記の考え方を踏まえ、以下のフォーマットに沿って、各代表機器に対する評価の記載適正化・充実化を図る。</p> <p>1.1. 【代表機器選定】</p> <p>抽出した評価対象機器・構築物をグループ化した中から、以下の条件で代表機器を選定。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 機器仕様 (構造、材料) b. 過去の不適合事例 c. 使用状況 (温度、圧力、流量等) d. 運転状況 (運転時間、作動回数、UF₆充填量等) <p>1.2 【代表機器の安全機能に影響を及ぼす経年劣化事象】</p> <p>代表機器の安全機能に影響を及ぼす経年劣化事象を抽出する。</p> <p>1.3 【経年劣化に関する技術評価上着目すべき経年劣化事象および部位】</p> <p>1.2で抽出した、経年劣化事象から経年劣化に関する技術評価上着目すべき経年劣化事象および部位を抽出する。</p> <p>*着目すべき経年劣化事象がない場合は、1.3から1.8の対応は不要、2.へ飛ぶ。</p> <p>1.4 【経年劣化に関する技術評価上着目すべき経年劣化事象の選定理由】を明確にする。</p> <p>1.3で抽出した、着目すべき経年劣化事象の選定理由を整理する。</p> <p>1.5 【健全性評価】</p> <p>経年劣化に関する技術評価上着目すべき経年劣化事象について、健全性評価を実施する。</p> <p>(例)</p> <p>評価上着目すべき経年劣化事象に対して、現状保全として定期的に〇〇〇〇を実施し、判定基準を満足することを確認している。</p> <p>なお、判定基準を満足しない場合は、電動機のコイル巻き直し等により経年劣化の進行による性能低下を防止できることを確認した。</p> <p>1.6 【現状保全】</p> <p>保全項目・頻度を整理する。</p> <p>(例) 絶縁抵抗測定：1回/年</p> <p>1.7 【総合評価】</p> <p>代表機器の現状保全および健全性評価結果より、現状保全に追加すべき項目の有無を評価する。</p> <p>1.8 【追加保全策の策定】</p> <p>総合評価から、高経年化対策の観点から長期施設管理計画として、保全内容に追加すべき項目の有無・内容を整理する。</p> <p>2. 【着目すべき経年劣化事象でない事象への現状保全】</p> <p>1.2で抽出した、経年劣化事象から【評価上着目すべき経年劣化事象でない事象】に対し、現状保全内容が適切であることを確認する。</p>	

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考																																									
<p>本建築学会)の推定式^{※1}を用いて算出した10年経過後における中性化深さにおいても、鉄筋が腐食し始める中性化深さに対し十分に下回っていることを確認した。</p> <p>調査結果(抜粋)について以下に示す。</p> <table border="1" data-bbox="373 235 1279 516"> <thead> <tr> <th>評価対象 (1号発回均質棟)</th> <th>調査時点の中 性化深さ (実測値)</th> <th>調査時点より 10年経過後に おける中性化深 さ</th> <th>鉄筋が腐食し 始める中性化 深さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋内</td> <td>1.0 cm</td> <td>4.32 cm</td> <td>6.0 cm</td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>0.2 cm</td> <td>2.54 cm</td> <td>4.0 cm</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 推定式(岸谷式で係数(C)を算出し、\sqrt{t}則にて計算を実施) 屋内 $C=0.683\sqrt{t} = 0.683\sqrt{40}=4.32\text{ cm}$ 屋外 $C=0.402\sqrt{t} = 0.402\sqrt{40}=2.54\text{ cm}$</p> <p>(b) 塩化物イオン濃度測定の結果を「鉄筋の腐食速度に基づいた鉄筋コンクリート建築物の寿命予測に関する研究-東京大学学位論文(1986)」の予測式(森永式)に適用し算出された鉄筋の腐食減量は、調査時点(2019年)において$6.1 \times 10^{-4}\text{ g/cm}^2$であり、今後10年経過を想定しても$8.0 \times 10^{-4}\text{ g/cm}^2$と、かぶりコンクリートにひび割れが発生する時点の$51.0 \times 10^{-4}\text{ g/cm}^2$に対し、大幅に下回っていることを確認した。</p> <p>b. 非破壊試験(リバウンドハンマー)による調査結果(初回調査結果) 圧縮強度は設計基準強度23.5 N/mm^2に対し、52.7 N/mm^2と大幅に上回っていることを確認した。</p> <p>⑤ 現状保全 以下の現状保全を実施し、着目すべき経年劣化事象に対して異常が発生していないことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁、天井、床、柱の外観点検…1回/3年 ・壁、床のクラック補修および柱の補修塗装…1回/12年 ・コア抜き試験(塩分浸透、中性化深さ、圧縮強度)…1回/30年 ・非破壊試験(リバウンドハンマー)…1回/30年 <p>⑥ 総合評価 中性化および塩分浸透によるコンクリート強度低下は見られず、今後強度低下が急激に発生する可能性は低く、次回の経年劣化に関する技術的な評価までの10年間の継続使用が可能と評価した。</p> <p>⑦ 追加保全策の策定 総合評価結果より現状保全内容に充実すべき項目や課題はなかったことから、追加の保全策はなく、また長期施設管理計画の策定は不要である。</p> <p>⑧ 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象ではない事象への現状保全 下表のとおり、着目すべき経年劣化事象ではない事象に対しても現状保全の内容が適切であることを確認した。</p> <table border="1" data-bbox="210 1461 1163 1919"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>経年劣化事象</th> <th>現状保全</th> <th>点検周期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鉄筋コンクリート造の壁</td> <td rowspan="2">ひび割れ(疲労)</td> <td>外観点検</td> <td>1回/3年</td> </tr> <tr> <td>クラック補修</td> <td>1回/12年</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート造の天井</td> <td>ひび割れ(疲労)</td> <td>外観点検</td> <td>1回/3年</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄筋コンクリート造の柱</td> <td rowspan="2">ひび割れ(疲労)</td> <td>外観点検</td> <td>1回/3年</td> </tr> <tr> <td>クラック補修</td> <td>1回/12年</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鉄筋コンクリート造の床</td> <td rowspan="2">ひび割れ(疲労)</td> <td>外観点検</td> <td>1回/3年</td> </tr> <tr> <td>クラック補修</td> <td>1回/12年</td> </tr> <tr> <td>塗装の剥離(劣化)</td> <td>外観点検</td> <td>1回/3年</td> </tr> </tbody> </table>	評価対象 (1号発回均質棟)	調査時点の中 性化深さ (実測値)	調査時点より 10年経過後に おける中性化深 さ	鉄筋が腐食し 始める中性化 深さ	屋内	1.0 cm	4.32 cm	6.0 cm	屋外	0.2 cm	2.54 cm	4.0 cm	部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期	鉄筋コンクリート造の壁	ひび割れ(疲労)	外観点検	1回/3年	クラック補修	1回/12年	鉄筋コンクリート造の天井	ひび割れ(疲労)	外観点検	1回/3年	鉄筋コンクリート造の柱	ひび割れ(疲労)	外観点検	1回/3年	クラック補修	1回/12年	鉄筋コンクリート造の床	ひび割れ(疲労)	外観点検	1回/3年	クラック補修	1回/12年	塗装の剥離(劣化)	外観点検	1回/3年	<p>・屋外について、$0.683\sqrt{40}$から、$0.402\sqrt{40}=2.54\text{ cm}$へ誤記訂正 (岸谷式は、Cの係数を算出するために引用しているため、明確になるよう修正する。)</p>	
評価対象 (1号発回均質棟)	調査時点の中 性化深さ (実測値)	調査時点より 10年経過後に おける中性化深 さ	鉄筋が腐食し 始める中性化 深さ																																								
屋内	1.0 cm	4.32 cm	6.0 cm																																								
屋外	0.2 cm	2.54 cm	4.0 cm																																								
部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期																																								
鉄筋コンクリート造の壁	ひび割れ(疲労)	外観点検	1回/3年																																								
		クラック補修	1回/12年																																								
鉄筋コンクリート造の天井	ひび割れ(疲労)	外観点検	1回/3年																																								
鉄筋コンクリート造の柱	ひび割れ(疲労)	外観点検	1回/3年																																								
		クラック補修	1回/12年																																								
鉄筋コンクリート造の床	ひび割れ(疲労)	外観点検	1回/3年																																								
		クラック補修	1回/12年																																								
	塗装の剥離(劣化)	外観点検	1回/3年																																								

部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期
鉄骨造の壁	ひび割れ(疲労)	外観点検	1回/3年
		クラック補修	1回/12年
	海塩粒子による鉄骨腐食	外観点検	1回/3年
		補修塗装	1回/12年
鉄骨造の天井	ひび割れ(疲労)	外観点検	1回/3年
	海塩粒子による鉄骨腐食	外観点検	1回/3年
鉄骨造の床	ひび割れ(疲労)	外観点検	1回/3年
		クラック補修	1回/12年
	塗装の剥離(劣化)	外観点検	1回/3年
		補修塗装	1回/12年
鉄骨造の柱	海塩粒子による鉄骨腐食	外観点検	1回/3年
		補修塗装	1回/12年
屋上防水層 (アスファルト防水層)	劣化	外観点検	1回/3年
		全面補修	1回/20年
屋上防水層 (シート防水層)	劣化	外観点検	1回/3年
		補修	1回/13年
扉部品(建具等)	塗装の剥離(劣化)	補修塗装	1回/6年
	摩耗	部品交換	1回/20年
	海塩粒子による腐食	開閉操作確認	1回/1年
		外観点検	1回/3年
シャッター部品(建具等)	塗装の剥離(劣化)	補修塗装	1回/6年
	摩耗	部品交換	1回/20年
	海塩粒子による腐食	内部清掃、消耗品交換	1回/1年
		外観点検	1回/3年
EXPJ (エキスパンションジョイント) 部品	摩耗	部品交換	1回/30年
	海塩粒子による腐食	外観点検	1回/3年
		漏水有無確認	1回/12年

【耐震安全性評価結果】

(2) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、
 使用済遠心機保管建屋・・・代表機器選定理由 : a、b

① 耐震安全性の観点から想定される経年劣化事象の抽出

- ・鉄筋コンクリート造の壁、天井、柱…コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下、ひび割れ(疲労)
- ・鉄筋コンクリート造の床…コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下、ひび割れ(疲労)、塗装の剥離(劣化)

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考		
<ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨造の壁、天井・海塩粒子による鉄骨腐食 ・鉄骨造の床…ひび割れ(疲労)、塗装の剥離(劣化) ・鉄骨造の柱…海塩粒子による鉄骨腐食、塗装の剥離(劣化) ・EXPJ (エキスパンションジョイント) 部品…摩耗、海塩粒子による腐食 <p>② 耐震安全性評価上着目すべき経年劣化事象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート造の壁、天井、柱…コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下 ・鉄筋コンクリート造の床…コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下 ・鉄骨造の壁、天井…海塩粒子による鉄骨腐食 ・鉄骨造の柱…海塩粒子による鉄骨腐食 <p>③ 耐震安全性評価上着目すべき経年劣化事象の選定理由 経年劣化の進行により急激な機能低下を引き起こす可能性があるため、耐震安全性評価上着目すべき経年劣化事象として選定した。</p> <p>④ 健全性評価 現状保全として破壊試験 (コア抜き試験) および非破壊試験を実施し、コンクリート強度低下がないことを確認した。(1)の経年劣化に関する技術的な評価の結果による) また、鉄骨の耐用年数についても以下のとおり問題ないことを確認した。</p> <p>a. 鉄骨の耐用年数算出 (初回調査結果) 「建築物の耐久計画に関する考え方 (1988)」(日本建築学会)の評価式^{※2}を用いて鉄骨の推定耐用年数を算出した結果、評価対象である使用済遠心機保管建屋の耐用期限は2012年の竣工から36年である2048年であり、次回評価の2031年時点においても耐用期限まで十分余裕があることを確認した。 なお、評価式の数値については、上記文献の他、建屋竣工図に記載の鉄骨部材や塗装仕様の数値を使用している。</p> <p>※2 推定耐用年数 $Y = (Y_{sp} \times D_p \times B_p \times C_p \times M_p) + (Y_{ss} \times B_s \times C_s \times M_s)$</p> <p style="text-align: center;"> 塗装材の寿命 鋼材の寿命 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用済遠心機保管建屋の鉄骨における耐用年数 (a) 塗膜耐用年数: $Y_{sp} \times D_p \times B_p \times C_p \times M_p = 4.0 \times 0.9 \times 6.0 \times 1.2 \times 0.6 = 15.5 \text{年} \rightarrow 15 \text{年}$ (b) 鋼材耐用年数: $Y_{ss} \times B_s \times C_s \times M_s = 3.0 \times 6.0 \times 1.2 \times 1.0 = 21.6 \text{年} \rightarrow 21 \text{年}$ (c) 鉄骨耐用年数: (a) + (b) = 15年 + 21年 = 36年 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>○塗装材の耐用年数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Y_{sp}: 塗膜の標準耐用年数 ・ D_p: 塗膜の地域・環境による係数 ・ B_p: 塗膜の部位による係数 ・ C_p: 塗膜の施工水準 ・ M_p: 塗膜の維持保全水準による係数 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>○鋼材の耐用年数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Y_{ss}: 鋼材の標準耐用年数 ・ B_s: 鋼材の部位による係数 ・ C_s: 鋼材の施工水準による係数 ・ M_s: 鋼材の維持保全水準による係数 </td> </tr> </table> </div> <p>⑤ 現状保全 以下の現状保全を実施し、着目すべき経年劣化事象に対して異常が発生していないことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 壁、天井、床、柱の外観点検…1回/3年 ・ 壁、床のクラック補修および柱の補修塗装…1回/12年 ・ コア抜き試験 (塩分浸透、中性化深さ、圧縮強度) …1回/30年 ・ 非破壊試験 (リバウンドハンマー) …1回/30年 	<p>○塗装材の耐用年数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Y_{sp}: 塗膜の標準耐用年数 ・ D_p: 塗膜の地域・環境による係数 ・ B_p: 塗膜の部位による係数 ・ C_p: 塗膜の施工水準 ・ M_p: 塗膜の維持保全水準による係数 	<p>○鋼材の耐用年数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Y_{ss}: 鋼材の標準耐用年数 ・ B_s: 鋼材の部位による係数 ・ C_s: 鋼材の施工水準による係数 ・ M_s: 鋼材の維持保全水準による係数 		
<p>○塗装材の耐用年数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Y_{sp}: 塗膜の標準耐用年数 ・ D_p: 塗膜の地域・環境による係数 ・ B_p: 塗膜の部位による係数 ・ C_p: 塗膜の施工水準 ・ M_p: 塗膜の維持保全水準による係数 	<p>○鋼材の耐用年数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Y_{ss}: 鋼材の標準耐用年数 ・ B_s: 鋼材の部位による係数 ・ C_s: 鋼材の施工水準による係数 ・ M_s: 鋼材の維持保全水準による係数 			

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考																			
<p>⑥ 総合評価 中性化および塩分浸透によるコンクリート強度低下は見られず、今後強度低下が急激に発生する可能性は低く、次回の経年劣化に関する技術的な評価までの10年間の継続使用が可能と評価した。</p> <p>⑦ 追加保全策の策定 総合評価結果より現状保全内容に充実すべき項目や課題はなかったことから、追加の保全策はなく、また長期施設管理計画の策定は不要である。</p> <p>⑧ 耐震安全性評価上着目すべき経年劣化事象ではない事象への現状保全 別3の表に示すとおり、着目すべき経年劣化事象ではない事象に対しても現状保全の内容が適切であることを確認した。</p> <p><着目すべき経年劣化事象（絶縁低下）の記載例></p> <p>2. ポンプ 代表機器・構築物の評価結果について以下に示す。</p> <p>(1) 2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB) …代表機器選定理由：b</p> <p>① 想定される経年劣化事象の抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本体・UF₆腐食(その他)、摩耗、腐食 ・電動機・腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下 ・主軸・UF₆腐食(その他)、摩耗、腐食 <p>② 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電動機・絶縁低下 <p>③ 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象の選定理由 経年劣化の進行により急激な性能低下を引き起こす可能性があるため、経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象として選定した。</p> <p>④ 健全性評価 現状保全として定期的に絶縁抵抗測定を実施し、判定基準を満足していることおよび劣化傾向に異常がないことを確認しており、必要により補修を実施することで経年劣化の進行による性能低下を防止できることを確認した。</p> <p>⑤ 現状保全 以下の現状保全を実施し、着目すべき経年劣化事象に対して異常が発生していないことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶縁抵抗測定…1回/1年 <p>⑥ 総合評価 現状保全を継続することで絶縁低下を把握可能であり、次回の経年劣化に関する技術的な評価までの10年間の継続使用が可能と評価した。</p> <p>⑦ 追加保全策の策定 総合評価結果より現状保全内容に充実すべき項目や課題はなかったことから、追加の保全策はなく、また長期施設管理計画の策定は不要である。</p> <p>⑧ 経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき経年劣化事象ではない事象への現状保全 下表のとおり、着目すべき経年劣化事象ではない事象に対しても現状保全の内容が適切であることを確認した。</p> <table border="1" data-bbox="210 1583 1151 1904"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>経年劣化事象</th> <th>現状保全</th> <th>点検周期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">本体</td> <td>UF₆腐食(その他)</td> <td>分解点検</td> <td rowspan="6">1回/5年</td> </tr> <tr> <td>摩耗</td> <td>分解点検、消耗品交換</td> </tr> <tr> <td>腐食</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電動機</td> <td>腐食</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>亀裂(疲労)</td> <td>分解点検</td> </tr> <tr> <td>変形(疲労)</td> <td>分解点検</td> </tr> </tbody> </table>	部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期	本体	UF ₆ 腐食(その他)	分解点検	1回/5年	摩耗	分解点検、消耗品交換	腐食	分解点検	電動機	腐食	分解点検	亀裂(疲労)	分解点検	変形(疲労)	分解点検		
部位	経年劣化事象	現状保全	点検周期																		
本体	UF ₆ 腐食(その他)	分解点検	1回/5年																		
	摩耗	分解点検、消耗品交換																			
	腐食	分解点検																			
電動機	腐食	分解点検																			
	亀裂(疲労)	分解点検																			
	変形(疲労)	分解点検																			

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)				補足説明	備考
主軸	摩耗	分解点検、消耗品交換			
	UF ₆ 腐食(その他)	分解点検			
	摩耗	分解点検、消耗品交換			
	腐食	分解点検			
<p><着目すべき経年劣化事象 (腐食による減肉) の記載例については、No. 10 (基礎ボルトの現状保全) 参照></p>					

表4 耐震安全性評価上着目すべき経年劣化事象抽出結果

経年劣化事象 (強度低下)	建屋・構築物		基礎 ボルト	ウラン加工施設の環境条件・根拠等 (主な対象部位)
	鉄筋コンクリート造	鉄骨造		
熱	—	/	/	強度低下を招く熱影響を受ける部位はない
放射線照射 (遮へい性能低下含む)	—	/	/	強度低下を招く放射線照射を受ける部位はない
中性化	○	/	/	二酸化炭素、温度、湿度および仕上げ条件によっては中性化が進行する
塩分浸透	○	/	/	海塩粒子を受ける部位を有する
機械振動	—	/	/	機械振動による繰返し荷重を受ける部位はない
アルカリ骨材反応	△	/	/	コンクリート構築物全体でアルカリ骨材反応の可能性がある。(全般) なお、アルカリ骨材反応抑制対策を実施し、コンクリート中のアルカリ総量が規定値以下であることを確認している
凍結溶解	△	/	/	六ヶ所村の凍害危険度は「ごく軽微」
乾燥収縮	△	/	/	コンクリート打込後早期に、壁などの薄い部材に発生する事象であり、ウラン濃縮工場竣工後、そのような劣化が確認されていないことから、乾燥収縮による影響はない
化学的浸食	—	/	/	周辺地盤の土壌中に影響を考慮する必要のある浸食性物質はない
風化	—	/	/	流水等の風化の環境に晒される部位はない
酸性雨	△	/	/	外壁塗装および防水が施されている
日射	△	/	/	日射影響が顕著な熱帯地域ではなく、外壁塗装および防水が施されている
電食作用	△	/	/	劣化進行による鉄筋コンクリート内部に電流が流れる環境になりにくい
構造劣化	△	/	/	積載荷重等の変更の際は構造計算を行い、確認しているため過荷重とはなりにくい
表面劣化	△	/	/	車両の走行等による表面劣化として、可能性のある部位があるが、日常点検で発見可能
アルカリ骨材反応以外の骨材による劣化	—	/	/	一般的にフレッシュコンクリートの異常凝結/足値の影響が問題であり、経年化したコンクリートに対する事象ではない
初期不良 (施工不良)	—	/	/	施工記録より初期不良が無いことを確認済み
瞬間的 (災害)	—	/	/	これまで被災履歴はない (災害発生時は別途評価)
その他 (強度低下、鉄筋腐食、ひび割れ、漏水)	—	/	/	経年劣化の結果として起こる構造欠陥である
腐食 (塗膜劣化含む)	/	○	○	劣化の可能性のある環境下にある
金属疲労	/	△	/	屋外で風荷重等の繰返し応力が漸増的にかかる鉄骨構築物はない
化学的浸食	/	△	/	鉄骨は塗装されているが、薬品等の浸入により、鉄骨強度が低下する可能性があるが日常点検で発見可能
酸性雨	/	△	/	鉄骨は塗装され、直接酸性雨がかからない
摩耗・緩み	/	△	/	道路橋などの交通往来のあるローラー支承や回転支承部のような該当部位はない
遅れ破壊	/	—	/	静的荷重が継続的に加えられている状態で突発的破壊を起す現象で、表面の切り欠きや腐食孔等の応力集中源を起点として事象であり、定期点検により表面欠陥の発生有無を確認可能
瞬間的 (災害)	/	—	/	これまで被災履歴はない (災害発生時は別途評価)

1. 技術評価書の修正要否
 耐震安全性評価上、想定される経年劣化事象の網羅性を示すとともに、着目すべき経年劣化事象等の抽出理由が明確となるよう、技術評価書を左記のとおり修正する。

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考
<p>5. 長期施設管理方針</p> <p>(1) 長期施設管理計画 評価対象機器における技術的な評価結果より、着目すべき経年劣化事象に対し、現状保全を継続することで機器・構築物の長期健全性が確保できることを確認したことから、長期施設管理計画の策定は不要である。</p> <p>(2) 長期施設管理方針 長期施設管理計画の策定は不要であることから、「高経年化対策の観点から充実すべき施設管理の項目はなし」とする現状の長期施設管理方針に変更はない。</p>	<p>1. 長期施設管理計画から長期施設管理方針への展開 加工施設の経年劣化に関する技術評価結果より、現状の施設管理を継続することで加工施設の全ての機器・構築物の長期健全性が確保されることを確認したことから、各機器・構築物に対する具体的な追加保全策等を記載する長期施設管理計画の策定は不要とした。 以上のことから、「高経年化対策の観点から充実すべき施設管理の項目はなし」とする現状の長期施設管理方針に変更はない。</p> <p>2. 技術評価書の修正要否 長期施設管理計画から長期施設管理方針への展開が不明確であるため、これが明確となるよう左記のとおり修正する。</p>	

技術評価書 (2021年9月13日一部補正)	補足説明	備考															
<p>3.2.2 経年劣化に関する技術的な評価手順 (略)</p> <p>(4) 最新知見および運転状況の反映確認 最新知見および運転状況を踏まえた対応については、設備・機器の重要度に係わらず水平展開され、必要により処置を行うとともに、その処置内容をもとに点検内容、点検周期の評価・見直しがされ、現状保全に反映することが施設管理に係る仕組みの中で実施されている。 経年劣化に関する技術的な評価においては、評価対象機器の経年劣化に関する技術的な評価上着目すべき劣化事象に対する現状保全の適切性を評価する必要があるため、改めて最新知見が現状保全に反映されていることを確認する。 表1に最新知見および運転状況の主な反映・対処事例を示す。</p> <p>表1 最新知見および運転状況の主な反映・対処事例</p> <table border="1" data-bbox="100 604 1169 1331"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価対象期間における処置件数</th> <th>反映・対処した主な事例 (カッコ内の年月は現状保全への反映・対処時期を示す)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加工施設における不適合事象および処置結果</td> <td>390</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・DG 制御盤火災事象を踏まえ、15年毎の電気計装品の用品交換を現状保全に追加した。(2019年2月) ・分析ダクト腐食事象を踏まえ、10年毎のダクトの外観点検、ファイバースコープ等による内部確認および20年毎のダクト支持構造物の外観点検を現状保全に追加した。(2019年3月) ・1号中間室系排風機電動機の絶縁低下事象を踏まえ、12年毎のオイル巻き直しおよび20年毎の排風機本体の保温材取外し(外観点検)を現状保全に追加した。(2020年9月) </td> </tr> <tr> <td>他施設からの反映結果</td> <td>4</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・製造メーカーにおけるディーゼル発電機シリンダライナーの引張り強さ不足(製品不良)事象を踏まえ調査したところ、本加工施設においても同製造メーカー製シリンダライナーを使用しており、引張り強さ不足が確認されたため、シリンダライナーを交換した。(2011年6月) ・国内原子力施設におけるディーゼル発電機過給機軸固着事象を踏まえ、レーシングワイヤ孔の高さ、孔の状態確認および取外したタービンブレードの再利用禁止を点検要領書に追加した。(2019年5月) </td> </tr> </tbody> </table>	項目	評価対象期間における処置件数	反映・対処した主な事例 (カッコ内の年月は現状保全への反映・対処時期を示す)	加工施設における不適合事象および処置結果	390	<ul style="list-style-type: none"> ・DG 制御盤火災事象を踏まえ、15年毎の電気計装品の用品交換を現状保全に追加した。(2019年2月) ・分析ダクト腐食事象を踏まえ、10年毎のダクトの外観点検、ファイバースコープ等による内部確認および20年毎のダクト支持構造物の外観点検を現状保全に追加した。(2019年3月) ・1号中間室系排風機電動機の絶縁低下事象を踏まえ、12年毎のオイル巻き直しおよび20年毎の排風機本体の保温材取外し(外観点検)を現状保全に追加した。(2020年9月) 	他施設からの反映結果	4	<ul style="list-style-type: none"> ・製造メーカーにおけるディーゼル発電機シリンダライナーの引張り強さ不足(製品不良)事象を踏まえ調査したところ、本加工施設においても同製造メーカー製シリンダライナーを使用しており、引張り強さ不足が確認されたため、シリンダライナーを交換した。(2011年6月) ・国内原子力施設におけるディーゼル発電機過給機軸固着事象を踏まえ、レーシングワイヤ孔の高さ、孔の状態確認および取外したタービンブレードの再利用禁止を点検要領書に追加した。(2019年5月) 	<p>1. 技術評価書上の「最新知見および運転状況の反映」の扱い(評価書の修正要否) 最新知見については、設備・機器の重要度に係わらず水平展開され、必要により処置を行うとともに、その処置内容をもとに点検内容、点検周期の評価・見直しがされ、現状保全に反映することが施設管理に係る仕組みの中で実施されている。 PLM評価としては、評価対象機器に対する現状保全の適切性を評価する必要があるため、改めて最新知見が現状保全に反映されていることを確認したものである。 なお、更新または廃止する機器・構築物について、更新・廃止する機器の状態に応じた現状保全の妥当性を評価するにあたり、最新知見が反映された現状保全であるかを確認する必要があるため改めて反映状況を確認するものである。 したがって、最新知見の現状保全への反映確認は、評価対象機器はグループ化・代表機器の選定後に実施すること、また、更新または廃止する機器・構築物についても最新知見の現状保全への反映確認を実施していることがわかるよう、技術評価書の記載箇所および記載内容を左記のとおり修正する。また、評価実施フローにも評価の流れとしてNo.2(評価フロー)のとおり修正する。</p> <p>2. 事象発生から現状保全への反映までの内容 最新知見等を踏まえた現状保全への反映は、基本的には以下の流れで実施している。 ①事象発生時には復旧に向けた処置を行うとともに、同仕様または類似の機器に対し水平展開にて部品交換等の対策を講じる。 ②運転経験、設備改善等を踏まえ、現状保全内容の見直しを行い保全を実施している。 事象発生前後におけるダクトの保全内容を以下に示す。</p> <p>(例：分析ダクト腐食事象)</p> <table border="1" data-bbox="1323 894 2650 1117"> <thead> <tr> <th>事象発生前の保全内容</th> <th>事象への対応</th> <th>事象完了後の保全内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現状保全 ・外観確認</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者対応方針に基づくダクト内部点検および補修(2018年11月完了) ・腐食ダクトについては更新中 </td> <td> 現状保全の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・10年毎の外観点検 ・10年毎の内部確認(ファイバースコープ) ・20年毎の支持構造物外観点検(2019年3月保全計画反映) </td> </tr> </tbody> </table>	事象発生前の保全内容	事象への対応	事象完了後の保全内容	現状保全 ・外観確認	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者対応方針に基づくダクト内部点検および補修(2018年11月完了) ・腐食ダクトについては更新中 	現状保全の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・10年毎の外観点検 ・10年毎の内部確認(ファイバースコープ) ・20年毎の支持構造物外観点検(2019年3月保全計画反映) 	
項目	評価対象期間における処置件数	反映・対処した主な事例 (カッコ内の年月は現状保全への反映・対処時期を示す)															
加工施設における不適合事象および処置結果	390	<ul style="list-style-type: none"> ・DG 制御盤火災事象を踏まえ、15年毎の電気計装品の用品交換を現状保全に追加した。(2019年2月) ・分析ダクト腐食事象を踏まえ、10年毎のダクトの外観点検、ファイバースコープ等による内部確認および20年毎のダクト支持構造物の外観点検を現状保全に追加した。(2019年3月) ・1号中間室系排風機電動機の絶縁低下事象を踏まえ、12年毎のオイル巻き直しおよび20年毎の排風機本体の保温材取外し(外観点検)を現状保全に追加した。(2020年9月) 															
他施設からの反映結果	4	<ul style="list-style-type: none"> ・製造メーカーにおけるディーゼル発電機シリンダライナーの引張り強さ不足(製品不良)事象を踏まえ調査したところ、本加工施設においても同製造メーカー製シリンダライナーを使用しており、引張り強さ不足が確認されたため、シリンダライナーを交換した。(2011年6月) ・国内原子力施設におけるディーゼル発電機過給機軸固着事象を踏まえ、レーシングワイヤ孔の高さ、孔の状態確認および取外したタービンブレードの再利用禁止を点検要領書に追加した。(2019年5月) 															
事象発生前の保全内容	事象への対応	事象完了後の保全内容															
現状保全 ・外観確認	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者対応方針に基づくダクト内部点検および補修(2018年11月完了) ・腐食ダクトについては更新中 	現状保全の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・10年毎の外観点検 ・10年毎の内部確認(ファイバースコープ) ・20年毎の支持構造物外観点検(2019年3月保全計画反映) 															
	<p>3. 分析ダクト：20年毎のダクト支持構造物の外観点検 ダクト支持構造物の外観点検に係る周期については、外観点検によりダクト支持構造物の状態(錆)を確認し、これまでの設置年数(30年)に対する状況を踏まえ厳しめに20年を設定した。 なお、今後とも最新知見や運転経験を踏まえ、継続的に保全内容を見直していく。</p>																
	<p>4. 技術評価書の修正要否 上記2, 3は、最新知見の現状保全への反映の流れおよびダクト支持構造物の外観点検周期の考え方について、補足説明するものであることから、技術評価書の修正は不要である。</p>																

補足説明資料
(経年劣化事象の整理)

本資料は、本年9月13日に保安規定変更認可申請の一部補正した技術評価書における表2と別紙の経年劣化事象との整合性を説明するものである。

表2 評価対象機器・構築物における経年劣化事象の抽出結果と別紙の整合性

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
建屋・構築物	・ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋	壁	減肉-腐食 (△ ^A)	1. (1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋 ・鉄骨造の壁、天井…ひび割れ (疲労)、海塩粒子による鉄骨腐食
			割れ-疲労 (△ ^A)	1. (1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋 ・鉄筋コンクリート造の壁、天井、柱…コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下、ひび割れ (疲労) ・鉄骨造の壁、天井…ひび割れ (疲労)、海塩粒子による鉄骨腐食
		屋上	-	-
		天井	減肉-腐食 (△ ^A)	1. (1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋 ・鉄骨造の壁、天井…ひび割れ (疲労)、海塩粒子による鉄骨腐食
			割れ-疲労 (△ ^A)	1. (1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋 ・鉄筋コンクリート造の壁、天井、柱…コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下、ひび割れ (疲労) ・鉄骨造の壁、天井…ひび割れ (疲労)、海塩粒子による鉄骨腐食

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
建屋・構築物	・ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋	床	割れ-疲労 (△ ^A)	1. (1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋 ・鉄筋コンクリート造の床…コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下、ひび割れ (疲労)、塗装の剥離 (劣化) ・鉄骨造の床…ひび割れ (疲労)、塗装の剥離 (劣化)
			材質変化-劣化 (△ ^A)	1. (1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋 ・鉄筋コンクリート造の床…コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下、ひび割れ (疲労)、塗装の剥離 (劣化) ・鉄骨造の床…ひび割れ (疲労)、塗装の剥離 (劣化)
		柱	減肉-腐食 (△ ^A)	1. (1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋 ・鉄骨造の柱…海塩粒子による鉄骨腐食
			割れ-疲労 (△ ^A)	1. (1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋 ・鉄筋コンクリート造の壁、天井、柱…コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下、ひび割れ (疲労)
		扉部品 (建具等)	減肉-摩耗 (△ ^A)	1. (1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋 ・扉部品 (建具等)…塗装の剥離 (劣化)、摩耗、海塩粒子による腐食
			減肉-腐食 (△ ^A)	1. (1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋 ・扉部品 (建具等)…塗装の剥離 (劣化)、摩耗、海塩粒子による腐食

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
建屋・構築物	・ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋	扉部品 (建具等)	材質変化-劣化 (△ ^A)	1. (1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋 ・扉部品 (建具等) …塗装の剥離 (劣化)、摩耗、海塩粒子による腐食
		シャッター部品 (建具等)	減肉-摩耗 (△ ^A)	1. (1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋 ・シャッター部品 (建具等) …塗装の剥離 (劣化)、摩耗、海塩粒子による腐食
			減肉-腐食 (△ ^A)	1. (1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋 ・シャッター部品 (建具等) …塗装の剥離 (劣化)、摩耗、海塩粒子による腐食
			材質変化-劣化 (△ ^A)	1. (1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋 ・シャッター部品 (建具等) …塗装の剥離 (劣化)、摩耗、海塩粒子による腐食
		EXPJ部品	減肉-摩耗 (△ ^A)	1. (1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋 ・エキスパンションジョイント部品 …摩耗、海塩粒子による腐食
			減肉-腐食 (△ ^A)	1. (1) ウラン濃縮建屋 (1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟)、使用済遠心機保管建屋 ・エキスパンションジョイント部品 …摩耗、海塩粒子による腐食

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果（○、△）	記載内容（青字：対象部位、赤字：経年劣化事象）
	機器・構築物	部位		
建屋・構築物	・ウラン濃縮建屋（1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟）、使用済遠心機保管建屋	-	<p>その他経年劣化事象 中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下（○）</p>	<p>1. (1) ウラン濃縮建屋（1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟）、使用済遠心機保管建屋 ・鉄筋コンクリート造の壁、天井、柱…コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下、ひび割れ（疲労） ・鉄筋コンクリート造の床…コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下、ひび割れ（疲労）、塗装の剥離（劣化）</p>
		-	<p>その他経年劣化事象 屋上防水層（アスファルト防水層、シート防水層）の劣化（△^A）</p>	<p>1. (1) ウラン濃縮建屋（1号発回均質棟、2号発回均質棟、中央操作棟）、使用済遠心機保管建屋 ・屋上防水層（アスファルト防水層、シート防水層）…劣化</p>

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB) ・2号一般パージ系プースタポンプ ・IF₇循環コンプレッサ ・管理廃水処理脱水機送泥ポンプ、砂ろ過塔送水ポンプ ・ろ過器送水ポンプ ・第1処理水ポンプ ・第2処理水ポンプ ・非常用消火ポンプ 	本体	減肉-摩耗 (△ ^A)	2. (1) 2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB) ・本体…UF ₆ 腐食 (その他)、 摩耗 、腐食 2. (2) 2号一般パージ系プースタポンプ ・本体…UF ₆ 腐食 (その他)、 摩耗 、腐食 2. (3) IF ₇ 循環コンプレッサ ・本体…UF ₆ ・IF ₇ 腐食 (その他)、 摩耗 、腐食 2. (4) 管理廃水処理脱水機送泥ポンプ、砂ろ過塔送水ポンプ ・本体…腐食、 摩耗 2. (5) ろ過器送水ポンプ ・本体…腐食、 摩耗 2. (6) 第1処理水ポンプ ・本体…腐食、 摩耗 2. (7) 第2処理水ポンプ ・本体…腐食、 摩耗 2. (8) 非常用消火ポンプ ・本体…腐食、 摩耗
		本体	減肉-腐食 (△ ^A)	2. (1) 2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB) ・本体…UF ₆ 腐食 (その他)、 摩耗 、 腐食 2. (2) 2号一般パージ系プースタポンプ ・本体…UF ₆ 腐食 (その他)、 摩耗 、 腐食 2. (3) IF ₇ 循環コンプレッサ ・本体…UF ₆ ・IF ₇ 腐食 (その他)、 摩耗 、 腐食 2. (4) 管理廃水処理脱水機送泥ポンプ、砂ろ過塔送水ポンプ ・本体… 腐食 、 摩耗 2. (5) ろ過器送水ポンプ ・本体… 腐食 、 摩耗 2. (6) 第1処理水ポンプ ・本体… 腐食 、 摩耗 2. (7) 第2処理水ポンプ ・本体… 腐食 、 摩耗 2. (8) 非常用消火ポンプ ・本体… 腐食 、 摩耗

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB) ・2号一般パージ系ブースタポンプ ・IF₂循環ポンプレッパ ・管理廃水処理脱水機送泥ポンプ、砂ろ過塔送水ポンプ ・ろ過器送水ポンプ ・第1処理水ポンプ ・第2処理水ポンプ ・非常用消火ポンプ 	電動機	減肉-摩耗 (△ ^A)	2. (1) 2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB) ・電動機…腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、 摩耗 、絶縁低下 2. (2) 2号一般パージ系ブースタポンプ ・電動機…腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、 摩耗 、絶縁低下 2. (4) 管理廃水処理脱水機送泥ポンプ、砂ろ過塔送水ポンプ ・電動機…腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、 摩耗 、絶縁低下 2. (5) ろ過器送水ポンプ ・電動機…腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、 摩耗 、絶縁低下 2. (6) 第1処理水ポンプ ・電動機…腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、 摩耗 、絶縁低下 2. (7) 第2処理水ポンプ ・電動機…腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、 摩耗 、絶縁低下
			減肉-腐食 (△ ^A)	2. (1) 2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB) ・電動機… 腐食 、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、 摩耗 、絶縁低下 2. (2) 2号一般パージ系ブースタポンプ ・電動機… 腐食 、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、 摩耗 、絶縁低下 2. (4) 管理廃水処理脱水機送泥ポンプ、砂ろ過塔送水ポンプ ・電動機… 腐食 、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、 摩耗 、絶縁低下 2. (5) ろ過器送水ポンプ ・電動機… 腐食 、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、 摩耗 、絶縁低下 2. (6) 第1処理水ポンプ ・電動機… 腐食 、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、 摩耗 、絶縁低下 2. (7) 第2処理水ポンプ ・電動機… 腐食 、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、 摩耗 、絶縁低下
			割れ-疲労 (△ ^A)	2. (1) 2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB) ・電動機…腐食、 亀裂 (疲労) 、 変形 (疲労) 、 摩耗 、絶縁低下 2. (2) 2号一般パージ系ブースタポンプ ・電動機…腐食、 亀裂 (疲労) 、 変形 (疲労) 、 摩耗 、絶縁低下 2. (4) 管理廃水処理脱水機送泥ポンプ、砂ろ過塔送水ポンプ ・電動機…腐食、 亀裂 (疲労) 、 変形 (疲労) 、 摩耗 、絶縁低下 2. (5) ろ過器送水ポンプ ・電動機…腐食、 亀裂 (疲労) 、 変形 (疲労) 、 摩耗 、絶縁低下 2. (6) 第1処理水ポンプ ・電動機…腐食、 亀裂 (疲労) 、 変形 (疲労) 、 摩耗 、絶縁低下 2. (7) 第2処理水ポンプ ・電動機…腐食、 亀裂 (疲労) 、 変形 (疲労) 、 摩耗 、絶縁低下

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字: 対象部位、赤字: 経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB) ・2号一般パージ系プースタポンプ ・IF₇循環コンプレッサ ・管理廃水処理脱水機送泥ポンプ、砂ろ過塔送水ポンプ ・ろ過器送水ポンプ ・第1処理水ポンプ ・第2処理水ポンプ ・非常用消火ポンプ 	電動機	絶縁-絶縁低下 (○)	2. (1) 2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB) ・電動機…腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、摩耗、 絶縁低下 2. (2) 2号一般パージ系プースタポンプ ・電動機…腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、摩耗、 絶縁低下 2. (3) IF ₇ 循環コンプレッサ ・電動機… 絶縁低下 2. (4) 管理廃水処理脱水機送泥ポンプ、砂ろ過塔送水ポンプ ・電動機…腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、摩耗、 絶縁低下 2. (5) ろ過器送水ポンプ ・電動機…腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、摩耗、 絶縁低下 2. (6) 第1処理水ポンプ ・電動機…腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、摩耗、 絶縁低下 2. (7) 第2処理水ポンプ ・電動機…腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、摩耗、 絶縁低下
		主軸	減肉-摩耗 (△ ^A)	2. (1) 2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB) ・主軸…UF ₆ 腐食 (その他)、 摩耗 、腐食 2. (2) 2号一般パージ系プースタポンプ ・主軸…UF ₆ 腐食 (その他)、 摩耗 、腐食 2. (4) 管理廃水処理脱水機送泥ポンプ、砂ろ過塔送水ポンプ ・主軸…腐食、 摩耗 2. (5) ろ過器送水ポンプ ・主軸…腐食、 摩耗 2. (6) 第1処理水ポンプ ・主軸…腐食、 摩耗 2. (7) 第2処理水ポンプ ・主軸…腐食、 摩耗 2. (8) 非常用消火ポンプ ・主軸…腐食、 摩耗

表2の記載			別紙の記載		
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字: 対象部位、赤字: 経年劣化事象)	
	機器・構築物	部位			
ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB) ・2号一般パージ系ブースタポンプ ・IF₇循環コンプレッサ ・管理廃水処理脱水機送泥ポンプ、砂ろ過塔送水ポンプ ・ろ過器送水ポンプ ・第1処理水ポンプ ・第2処理水ポンプ ・非常用消火ポンプ 	主軸	減肉-腐食 (△ ^A)	2. (1) 2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB) <ul style="list-style-type: none"> ・主軸…UF₆腐食 (その他)、摩耗、腐食 2. (2) 2号一般パージ系ブースタポンプ <ul style="list-style-type: none"> ・主軸…UF₆腐食 (その他)、摩耗、腐食 2. (4) 管理廃水処理脱水機送泥ポンプ、砂ろ過塔送水ポンプ <ul style="list-style-type: none"> ・主軸…腐食、摩耗 2. (5) ろ過器送水ポンプ <ul style="list-style-type: none"> ・主軸…腐食、摩耗 2. (6) 第1処理水ポンプ <ul style="list-style-type: none"> ・主軸…腐食、摩耗 2. (7) 第2処理水ポンプ <ul style="list-style-type: none"> ・主軸…腐食、摩耗 2. (8) 非常用消火ポンプ <ul style="list-style-type: none"> ・主軸…腐食、摩耗 	
		非常用消火ポンプ ディーゼルエンジン	材質変化-劣化 (△ ^A)	2. (8) 非常用消火ポンプ <ul style="list-style-type: none"> ・ディーゼルエンジン…部品劣化 	
		ダイヤフラム		減肉-摩耗 (△ ^A)	2. (4) 管理廃水処理脱水機送泥ポンプ、砂ろ過塔送水ポンプ <ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤフラム…腐食、摩耗
				減肉-腐食 (△ ^A)	2. (4) 管理廃水処理脱水機送泥ポンプ、砂ろ過塔送水ポンプ <ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤフラム…腐食、摩耗
		-		その他経年劣化事象 2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB)、2号一般パージ系ブースタポンプ本体、主軸のUF ₆ 腐食 (その他) (△ ^A)	2. (1) 2号カスケード排気系ロータリポンプ (CB) <ul style="list-style-type: none"> ・本体…UF₆腐食 (その他)、摩耗、腐食 ・主軸…UF₆腐食 (その他)、摩耗、腐食 2. (2) 2号一般パージ系ブースタポンプ <ul style="list-style-type: none"> ・本体…UF₆腐食 (その他)、摩耗、腐食 ・主軸…UF₆腐食 (その他)、摩耗、腐食
	-		その他経年劣化事象 IF ₇ 循環コンプレッサ本体のUF ₆ 腐食、IF ₇ 腐食 (その他) (△ ^A)	2. (3) IF ₇ 循環コンプレッサ <ul style="list-style-type: none"> ・本体…UF₆・IF₇腐食 (その他)、摩耗、腐食 	

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
配管・弁	<ul style="list-style-type: none"> ・主要配管・弁(2Aカスケード[®]設備) ・配管・弁(消火設備) ・主要放射性廃水配管・弁(高放射性廃水系)、(液体廃棄物廃棄設備) ・主要配管・弁(2号UF₆処理設備) ・主要配管・弁(2号均質・ブレンディング[®]設備) ・主要配管・弁(付着ウラン回収設備) 	溶接部	減肉-腐食 (△ ^A)	<p>3. (1) 主要配管・弁 (2Aカスケード設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要配管溶接部、フランジ、曲管部…UF₆腐食(その他)、腐食 ・弁溶接部、フランジ…UF₆腐食(その他)、腐食 <p>3. (2) 配管・弁 (消火設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配管溶接部、フランジ、曲管部…腐食 ・弁溶接部、フランジ…腐食 <p>3. (3) 主要放射性廃水配管・弁 (高放射性廃水系)、(液体廃棄物廃棄設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要放射性廃水配管溶接部、フランジ、曲管部…腐食 ・弁溶接部、フランジ…腐食 <p>3. (4) 主要配管・弁 (2号UF₆処理設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要配管溶接部、フランジ、曲管部…UF₆腐食(その他)、腐食 ・弁溶接部、フランジ…UF₆腐食(その他)、腐食 <p>3. (5) 主要配管・弁 (2号均質・ブレンディング設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・均質槽配管カバー内配管、溶接部、フランジ、曲管部…UF₆腐食(その他)、腐食 ・均質槽配管カバー内弁、溶接部、フランジ…UF₆腐食(その他)、腐食 <p>3. (6) 主要配管・弁 (付着ウラン回収設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要配管溶接部、フランジ、曲管部…UF₆・IF₅・IF₇腐食(その他)、腐食 ・弁溶接部、フランジ…UF₆・IF₅・IF₇腐食(その他)、腐食

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
配管・弁	<ul style="list-style-type: none"> ・主要配管・弁(2Aカスケード[®]設備) ・配管・弁(消火設備) ・主要放射性廃水配管・弁(高放射性廃水系)、(液体廃棄物廃棄設備) ・主要配管・弁(2号UF₆処理設備) ・主要配管・弁(2号均質・ブレンディング[®]設備) ・主要配管・弁(付着ウラン回収設備) 	フランジ	減肉-腐食 (△ ^A)	<p>3.(1) 主要配管・弁 (2Aカスケード設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要配管溶接部、フランジ、曲管部…UF₆腐食(その他)、腐食 ・弁溶接部、フランジ…UF₆腐食(その他)、腐食 <p>3.(2) 配管・弁 (消火設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配管溶接部、フランジ、曲管部…腐食 ・弁溶接部、フランジ…腐食 <p>3.(3) 主要放射性廃水配管・弁 (高放射性廃水系)、(液体廃棄物廃棄設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要放射性廃水配管溶接部、フランジ、曲管部…腐食 ・弁溶接部、フランジ…腐食 <p>3.(4) 主要配管・弁 (2号UF₆処理設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要配管溶接部、フランジ、曲管部…UF₆腐食(その他)、腐食 ・弁溶接部、フランジ…UF₆腐食(その他)、腐食 <p>3.(5) 主要配管・弁 (2号均質・ブレンディング設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・均質槽配管カバー内配管、溶接部、フランジ、曲管部…UF₆腐食(その他)、腐食 ・均質槽配管カバー内弁、溶接部、フランジ…UF₆腐食(その他)、腐食 <p>3.(6) 主要配管・弁 (付着ウラン回収設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要配管溶接部、フランジ、曲管部…UF₆・IF₅・IF₇腐食(その他)、腐食 ・弁溶接部、フランジ…UF₆・IF₅・IF₇腐食(その他)、腐食

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
配管・弁	<ul style="list-style-type: none"> ・主要配管・弁(2Aカスケード[※]設備) ・配管・弁(消火設備) ・主要放射性廃水配管・弁(高放射性廃水系)、(液体廃棄物廃棄設備) ・主要配管・弁(2号UF₆処理設備) ・主要配管・弁(2号均質・ブレンディング設備) ・主要配管・弁(付着ウラン回収設備) 	曲管部	減肉-腐食 (△ ^A)	<p>3.(1) 主要配管・弁 (2Aカスケード設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要配管溶接部、フランジ、曲管部…UF₆腐食(その他)、腐食 <p>3.(2) 配管・弁 (消火設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配管溶接部、フランジ、曲管部…腐食 <p>3.(3) 主要放射性廃水配管・弁 (高放射性廃水系)、(液体廃棄物廃棄設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要放射性廃水配管溶接部、フランジ、曲管部…腐食 <p>3.(4) 主要配管・弁 (2号UF₆処理設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要配管溶接部、フランジ、曲管部…UF₆腐食(その他)、腐食 <p>3.(5) 主要配管・弁 (2号均質・ブレンディング設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・均質槽配管カバー内配管、溶接部、フランジ、曲管部…UF₆腐食(その他)、腐食 <p>3.(6) 主要配管・弁 (付着ウラン回収設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要配管溶接部、フランジ、曲管部…UF₆・IF₅・IF₇腐食(その他)、腐食

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
配管・弁	<ul style="list-style-type: none"> ・主要配管・弁(2Aカスケード[※]設備) ・配管・弁(消火設備) ・主要放射性廃水配管・弁(高放射性廃水系)(液体廃棄物廃棄設備) ・主要配管・弁(2号UF₆処理設備) ・主要配管・弁(2号均質・ブレンディング設備) ・主要配管・弁(付着ウラン回収設備) 	-	<p>その他経年劣化事象-</p> <p>2Aカスケード設備、2号UF₆処理設備、2号均質・ブレンディング設備の各部位のUF₆腐食(その他) (△^A)</p>	<p>3.(1) 主要配管・弁(2Aカスケード設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要配管溶接部、フランジ、曲管部…UF₆腐食(その他)、腐食 ・弁溶接部、フランジ…UF₆腐食(その他)、腐食 <p>3.(4) 主要配管・弁(2号UF₆処理設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要配管溶接部、フランジ、曲管部…UF₆腐食(その他)、腐食 ・弁溶接部、フランジ…UF₆腐食(その他)、腐食 <p>3.(5) 主要配管・弁(2号均質・ブレンディング設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・均質槽配管カバー内配管、溶接部、フランジ、曲管部…UF₆腐食(その他)、腐食 ・均質槽配管カバー内弁、溶接部、フランジ…UF₆腐食(その他)、腐食
		-	<p>その他経年劣化事象-</p> <p>付着ウラン回収設備の各部位のUF₆・IF₅・IF₇腐食(その他) (△^A)</p>	<p>3.(6) 主要配管・弁(付着ウラン回収設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要配管溶接部、フランジ、曲管部…UF₆・IF₅・IF₇腐食(その他)、腐食 ・弁溶接部、フランジ…UF₆・IF₅・IF₇腐食(その他)、腐食
		-	<p>その他経年劣化事象-</p> <p>2号均質槽のカバー内配管・弁のUF₆腐食(その他) (△^A)</p>	<p>3.(5) 主要配管・弁(2号均質・ブレンディング設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・均質槽配管カバー内配管、溶接部、フランジ、曲管部…UF₆腐食(その他)、腐食 ・均質槽配管カバー内弁、溶接部、フランジ…UF₆腐食(その他)、腐食

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
配管・弁			その他経年劣化事象- 主要放射性廃水配管・弁のフランジのシール等部品摩耗 (△ ^A)	3. (3) 主要放射性廃水配管・弁 (高放射性廃水系)、(液体廃棄物廃棄設備) ・フランジ…シール等部品摩耗
			その他経年劣化事象- 2号均質槽のカバー内配管・弁の腐食 (△ ^A)	3. (5) 主要配管・弁 (2号均質・ブレンディング設備) ・均質槽配管カバー内配管、溶接部、フランジ、曲管部…UF ₆ 腐食(その他)、腐食 ・均質槽配管カバー内弁、溶接部、フランジ…UF ₆ 腐食(その他)、腐食

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字: 対象部位、赤字: 経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
槽・塔	・2号一般パージ系ケミカルトラップ (NaF)	NaFカートリッジ (シート部)	減肉-摩耗 (△ ^A)	4. (1) 2号一般パージ系ケミカルトラップ (NaF) ・NaFカートリッジのシート部…摩耗、UF ₆ 腐食(その他)
		-	その他経年劣化事象- 2号一般パージ系ケミカルトラップ各部位のUF ₆ 腐食(その他) (△ ^A)	4. (1) 2号一般パージ系ケミカルトラップ (NaF) ・ケミカルトラップ (NaF) 胴本体…UF ₆ 腐食(その他) ・NaFカートリッジのシート部…摩耗、UF ₆ 腐食(その他)
	<ul style="list-style-type: none"> ・洗缶廃水貯槽 ・分析廃水ピット ・第1廃水調整ピット ・手洗廃水ピット ・第2廃水調整ピット ・IF₇ポンベ発生槽 ・回収系UF₆回収槽 ・IF₇回収系ポンベ回収槽 ・2号発生槽 ・2号製品回収槽 ・2号廃品回収槽 ・2号圧力調整槽 ・2号均質槽 ・2号製品シリング槽 ・2号原料シリング槽 	本体	減肉-腐食 (△ ^A)	4. (2) 洗缶廃水貯槽 ・本体…腐食、ひび割れ (ゴムライニング) (劣化) 4. (3) 分析廃水ピット ・本体…腐食、剥がれ (FRP) (劣化) 4. (4) 第1廃水調整ピット ・本体…腐食、剥がれ (FRP) (劣化) 4. (5) 手洗廃水ピット、第2廃水調整ピット ・本体…腐食、劣化 4. (6) IF ₇ ポンベ発生槽 ・本体…腐食、シール等部品摩耗、劣化 4. (8) 回収系UF ₆ 回収槽 ・本体…腐食、シール等部品摩耗、劣化 4. (9) IF ₇ 回収系ポンベ回収槽 ・本体…腐食、シール等部品摩耗、劣化 4. (10) 2号発生槽、2号製品回収槽、2号廃品回収槽、2号圧力調整槽 ・本体 (2号発生槽、2号製品回収槽、2号廃品回収槽) …腐食、シール等部品摩耗、劣化 ・本体 (2号圧力調整槽) …腐食、UF ₆ 腐食(その他)、劣化

表2の記載			別紙の記載
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果（○、△）
	機器・構築物	部位	
槽・塔			4. (11) 2号均質槽 ・ 本体… 腐食 、劣化 4. (12) 2号製品シリンダ槽、2号原料シリンダ槽 ・ 本体… 腐食 、シール等部品摩耗、劣化

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
槽・塔	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗缶廃水貯槽 ・ 分析廃水ピット ・ 第1廃水調整ピット ・ 手洗廃水ピット ・ 第2廃水調整ピット ・ IF₇ポンベ発生槽 ・ 回収系UF₆回収槽 ・ IF₇回収系ポンベ回収槽 ・ 2号発生槽 ・ 2号製品回収槽 ・ 2号廃品回収槽 ・ 2号圧力調整槽 ・ 2号均質槽 ・ 2号製品シリンダ槽 ・ 2号原料シリンダ槽 	本体	材質劣化-劣化 (△ ^A)	<p>4.(2) 洗缶廃水貯槽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体…腐食、ひび割れ (ゴムライニング) (劣化) <p>4.(3) 分析廃水ピット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体…腐食、剥がれ (FRP) (劣化) <p>4.(4) 第1廃水調整ピット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体…腐食、剥がれ (FRP) (劣化) <p>4.(5) 手洗廃水ピット、第2廃水調整ピット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体…腐食、劣化 <p>4.(6) IF₇ポンベ発生槽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体…腐食、シール等部品摩耗、劣化 <p>4.(8) 回収系UF₆回収槽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体…腐食、シール等部品摩耗、劣化 <p>4.(9) IF₇回収系ポンベ回収槽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体…腐食、シール等部品摩耗、劣化 <p>4.(10) 2号発生槽、2号製品回収槽、2号廃品回収槽、2号圧力調整槽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体 (2号発生槽、2号製品回収槽、2号廃品回収槽) …腐食、シール等部品摩耗、劣化 ・ 本体 (2号圧力調整槽) …腐食、UF₆腐食(その他)、劣化 <p>4.(11) 2号均質槽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体…腐食、劣化 <p>4.(12) 2号製品シリンダ槽、2号原料シリンダ槽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体…腐食、シール等部品摩耗、劣化

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
槽・塔	・回収系UF ₆ 回収槽	回収系UF ₆ 回収槽 熱交換器	減肉-腐食 (△ ^A)	4. (8) 回収系UF ₆ 回収槽 ・熱交換器…腐食
	・2号製品回収槽	2号製品回収槽 ファン	減肉-腐食 (△ ^A)	4. (10) 2号発生槽、2号製品回収槽、2号廃品回収槽、2号圧力調整槽 ・2号製品回収槽のファン、冷却器…腐食
		2号製品回収槽 冷却器	減肉-腐食 (△ ^A)	4. (10) 2号発生槽、2号製品回収槽、2号廃品回収槽、2号圧力調整槽 ・2号製品回収槽のファン、冷却器…腐食
	・2号均質槽 ・2号製品シリング槽 ・2号原料シリング槽	2号均質槽、2号製品シリング槽、2号原料シリング槽の冷却器・加熱器	減肉-腐食 (△ ^A)	4. (11) 2号均質槽 ・冷却器…腐食 ・加熱器…腐食 4. (12) 2号製品シリング槽、2号原料シリング槽 ・冷却器…腐食 ・加熱器…腐食
	・2号均質槽	2号均質槽の溶接部	材質変化-劣化 (△ ^A)	4. (11) 2号均質槽 ・溶接部…劣化

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
槽・塔	・ 2号均質槽	2号均質槽のシール部	材質変化-劣化 (△ ^A)	4. (11) 2号均質槽 ・ シール部…劣化
	・ IF ₇ 圧力調整槽	—	その他経年劣化事象- IF ₇ 圧力調整槽本体のIF ₇ 腐食 (その他) (△ ^A)	4. (7) IF ₇ 圧力調整槽 ・ 本体…IF ₇ 腐食(その他)
	・ 2号圧力調整槽 ・ 2号減圧槽	—	その他経年劣化事象- 2号圧力調整槽、2号減圧槽本体のUF ₆ 腐食 (その他) (△ ^A)	4. (10) 2号発生槽、2号製品回収槽、2号廃品回収槽、2号圧力調整槽 ・ 本体 (2号圧力調整槽) …腐食、UF ₆ 腐食(その他)、劣化 4. (13) 2号減圧槽 ・ 本体…UF ₆ 腐食(その他)
	・ IF ₇ ポンペ発生槽 ・ 回収系UF ₆ 回収槽 ・ IF ₇ 回収系ポンペ回収槽 ・ 2号発生槽 ・ 2号製品回収槽 ・ 2号製品シリンダ槽 ・ 2号原料シリンダ槽	—	その他経年劣化事象- IF ₇ ポンペ発生槽、回収系UF ₆ 回収槽、IF ₇ 回収系ポンペ回収槽、2号発生槽、2号製品回収槽、2号廃品回収槽、2号製品シリンダ槽、2号原料シリンダ槽のシール等部品の摩耗 (△ ^A)	4. (6) IF ₇ ポンペ発生槽 ・ 本体…腐食、シール等部品摩耗、劣化 4. (8) 回収系UF ₆ 回収槽 ・ 本体…腐食、シール等部品摩耗、劣化 4. (9) IF ₇ 回収系ポンペ回収槽 ・ 本体…腐食、シール等部品摩耗、劣化 4. (10) 2号発生槽、2号製品回収槽、2号廃品回収槽、2号圧力調整槽 ・ 本体 (2号発生槽、2号製品回収槽、2号廃品回収槽) …腐食、シール等部品摩耗、劣化 4. (12) 2号製品シリンダ槽、2号原料シリンダ槽 ・ 本体…腐食、シール等部品摩耗、劣化

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
インターロック (計測制御設備)	<ul style="list-style-type: none"> ・圧力伝送器 (差圧伝送器) ・温度検出器 ・重量計 (検出器、指示計) 	検出器	信号-特性変化 (△ ^A)	5. (1) 圧力伝送器 (差圧伝送器) ・検出器…特性変化 (入出力異常) 5. (2) 温度検出器 ・検出器…特性変化 (入出力異常) 5. (3) 重量計 ・検出器…特性変化 (入出力異常)
		ケーブル	絶縁-絶縁低下 (○)	5. (1) 圧力伝送器 (差圧伝送器) ・ケーブル…絶縁低下 5. (2) 温度検出器 ・ケーブル…絶縁低下 5. (3) 重量計 ・ケーブル…絶縁低下
		端子台	減肉-腐食 (△ ^A)	5. (1) 圧力伝送器 (差圧伝送器) ・端子台…腐食 5. (2) 温度検出器 ・端子台…腐食 5. (3) 重量計 ・端子台…腐食
		指示計	減肉-腐食 (△ ^A)	5. (3) 重量計 (指示計) ・指示計…特性変化 (入出力異常)、素子劣化(劣化)、焼き付き(劣化)、腐食
			信号-特性変化 (△ ^A)	5. (3) 重量計 (指示計) ・指示計…特性変化 (入出力異常)、素子劣化(劣化)、焼き付き(劣化)、腐食
			材質変化-劣化 (△ ^A)	5. (3) 重量計 (指示計) ・指示計…特性変化 (入出力異常)、素子劣化(劣化)、焼き付き(劣化)、腐食
		-	その他経年劣化事象-摩耗 (△ ^A)	5. (1) 圧力伝送器 (差圧伝送器) ・シール材…摩耗
	<ul style="list-style-type: none"> ・液位検出器 (電極式) 	検出器	信号-特性変化 (△ ^A)	5. (4) 液位検出器 (電極式) ・検出器…特性変化 (入出力異常)
		ケーブル	絶縁-絶縁低下 (○)	5. (4) 液位検出器 (電極式) ・ケーブル…絶縁低下
		端子台	減肉-腐食 (△ ^A)	5. (4) 液位検出器 (電極式) ・端子台…腐食

表2の記載			別紙の記載		
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)	
	機器・構築物	部位			
空調設備	・1号中間室系排風機	本体	減肉-摩耗 (△ ^A)	6. (1) 1号中間室系排風機 ・本体…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗	
			減肉-腐食 (△ ^A)	6. (1) 1号中間室系排風機 ・本体… 腐食 、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	
			割れ-疲労 (△ ^A)	6. (1) 1号中間室系排風機 ・本体…腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、摩耗	
		羽根車	減肉-摩耗 (△ ^A)	6. (1) 1号中間室系排風機 ・ 羽根車 …腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗	
			減肉-腐食 (△ ^A)	6. (1) 1号中間室系排風機 ・ 羽根車 … 腐食 、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	
			割れ-疲労 (△ ^A)	6. (1) 1号中間室系排風機 ・ 羽根車 …腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、摩耗	
		主軸	減肉-摩耗 (△ ^A)	6. (1) 1号中間室系排風機 ・ 主軸 …腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗	
			減肉-腐食 (△ ^A)	6. (1) 1号中間室系排風機 ・ 主軸 … 腐食 、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	
			割れ-疲労 (△ ^A)	6. (1) 1号中間室系排風機 ・ 主軸 …腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、摩耗	
		・1号中間室系排風機	電動機	減肉-摩耗 (△ ^A)	6. (1) 1号中間室系排風機 ・ 電動機 …腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗 、絶縁低下
				減肉-腐食 (△ ^A)	6. (1) 1号中間室系排風機 ・ 電動機 … 腐食 、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下
				割れ-疲労 (△ ^A)	6. (1) 1号中間室系排風機 ・ 電動機 …腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、摩耗、絶縁低下
	絶縁-絶縁低下 (○)			6. (1) 1号中間室系排風機 ・ 電動機 …腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、 絶縁低下	
	・1号均質室系排気フィルタユニット	筐体	減肉-腐食 (△ ^A)	6. (2) 1号均質室系排気フィルタユニット ・ 筐体 … 腐食	
		-	その他経年劣化事象-腐食(HF)および目詰まり (△ ^A)	6. (2) 1号均質室系排気フィルタユニット ・ フィルタ … 腐食(HF) および 目詰まり(その他)	
	・2号排気ダクト	ダクト本体 (ダンパ含む)	減肉-腐食 (△ ^A)	6. (3) 2号排気ダクト ・ ダクト本体 (ダンパ含む) … 腐食 、亀裂(疲労)、変形(疲労)	
			割れ-疲労 (△ ^A)	6. (3) 2号排気ダクト ・ ダクト本体 (ダンパ含む) …腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労)	
	・1号および2号排気ダクトの支持構築物	支持構築物	減肉-腐食 (△ ^A)	6. (3) 1号および2号排気ダクトの支持構築物 ・ 支持構築物 … 腐食	

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
電気設備	・2A高周波インバータ盤	筐体	減肉-腐食 (△ ^A)	7. (1) 2A高周波インバータ盤 ・筐体…腐食
		コンバータ回路	絶縁-絶縁低下 (○)	7. (1) 2A高周波インバータ盤 ・コンバータ回路、チョップ回路、インバータ回路…絶縁低下、部品劣化、基板劣化 (アルミ電解コンデンサ、ハンダ接合部)
			材質変化-劣化 (△ ^A)	7. (1) 2A高周波インバータ盤 ・コンバータ回路、チョップ回路、インバータ回路…絶縁低下、部品劣化、基板劣化 (アルミ電解コンデンサ、ハンダ接合部)
		チョップ回路	絶縁-絶縁低下 (○)	7. (1) 2A高周波インバータ盤 ・コンバータ回路、チョップ回路、インバータ回路…絶縁低下、部品劣化、基板劣化 (アルミ電解コンデンサ、ハンダ接合部)
			材質変化-劣化 (△ ^A)	7. (1) 2A高周波インバータ盤 ・コンバータ回路、チョップ回路、インバータ回路…絶縁低下、部品劣化、基板劣化 (アルミ電解コンデンサ、ハンダ接合部)
		インバータ回路	絶縁-絶縁低下 (○)	7. (1) 2A高周波インバータ盤 ・コンバータ回路、チョップ回路、インバータ回路…絶縁低下、部品劣化、基板劣化 (アルミ電解コンデンサ、ハンダ接合部)
			材質変化-劣化 (△ ^A)	7. (1) 2A高周波インバータ盤 ・コンバータ回路、チョップ回路、インバータ回路…絶縁低下、部品劣化、基板劣化 (アルミ電解コンデンサ、ハンダ接合部)

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
電気設備	・非常用ディーゼル発電機 (発電機側)	三相同期発電機	減肉-摩耗 (△ ^A)	7. (2) 非常用ディーゼル発電機 (発電機側) ・三相同期発電機…腐食、絶縁低下、メタル剥離(劣化)、片当たり(摩耗)
			減肉-腐食 (△ ^A)	7. (2) 非常用ディーゼル発電機 (発電機側) ・三相同期発電機…腐食、絶縁低下、メタル剥離(劣化)、片当たり(摩耗)
			絶縁-絶縁低下 (○)	7. (2) 非常用ディーゼル発電機 (発電機側) ・三相同期発電機…腐食、絶縁低下、メタル剥離(劣化)、片当たり(摩耗)
			材質変化-劣化 (△ ^A)	7. (2) 非常用ディーゼル発電機 (発電機側) ・三相同期発電機…腐食、絶縁低下、メタル剥離(劣化)、片当たり(摩耗)
		励磁機	減肉-腐食 (△ ^A)	7. (2) 非常用ディーゼル発電機 (発電機側) ・励磁機…腐食、絶縁低下
			絶縁-絶縁低下 (○)	7. (2) 非常用ディーゼル発電機 (発電機側) ・励磁機…腐食、絶縁低下

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
電気設備	・非常用ディーゼル発電機 (発電機側)	本体	減肉-腐食 (△ ^A)	7. (2) 非常用ディーゼル発電機 (発電機側) ・ 本体…腐食、絶縁低下
			絶縁-絶縁低下 (○)	7. (2) 非常用ディーゼル発電機 (発電機側) ・ 本体…腐食、絶縁低下
		制御盤	減肉-腐食 (△ ^A)	7. (2) 非常用ディーゼル発電機 (発電機側) ・ 制御盤…腐食、絶縁低下
			絶縁-絶縁低下 (○)	7. (2) 非常用ディーゼル発電機 (発電機側) ・ 制御盤…腐食、絶縁低下
	・1号無停電電源装置	筐体	減肉-腐食 (△ ^A)	7. (3) 1号無停電電源装置 ・ 筐体…腐食
		インバータ	減肉-腐食 (△ ^A)	7. (3) 1号無停電電源装置 ・ 整流器、インバータ…腐食、部品劣化、基板劣化
			材質変化-劣化 (△ ^A)	7. (3) 1号無停電電源装置 ・ 整流器、インバータ…腐食、部品劣化、基板劣化
	・1号無停電電源装置	整流器	減肉-腐食 (△ ^A)	7. (3) 1号無停電電源装置 ・ 整流器、インバータ…腐食、部品劣化、基板劣化
			材質変化-劣化 (△ ^A)	7. (3) 1号無停電電源装置 ・ 整流器、インバータ…腐食、部品劣化、基板劣化
		計器用変圧器	減肉-腐食 (△ ^A)	7. (3) 1号無停電電源装置 ・ 計器用変圧器…腐食、絶縁低下
			絶縁-絶縁低下 (○)	7. (3) 1号無停電電源装置 ・ 計器用変圧器…腐食、絶縁低下

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
電気設備	1号無停電電源装置蓄電池盤	筐体	減肉-腐食 (△ ^A)	7. (4) 1号無停電電源装置蓄電池盤 ・ 筐体…腐食
		蓄電池	減肉-腐食 (△ ^A)	7. (4) 1号無停電電源装置蓄電池盤 ・ 蓄電池…腐食、内部抵抗増加(劣化)
			材質変化-劣化 (△ ^A)	7. (4) 1号無停電電源装置蓄電池盤 ・ 蓄電池…腐食、内部抵抗増加(劣化)
	ハンドセットステーション (運転指令台)	筐体	減肉-腐食 (△ ^A)	7. (5) ハンドセットステーション (運転指令台) ・ 筐体…腐食、絶縁低下
			絶縁-絶縁低下 (○)	7. (5) ハンドセットステーション (運転指令台) ・ 筐体…腐食、絶縁低下

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
機械設備	【コールドトラップ】 ・2A廃品コールドトラップ	胴本体	減肉-腐食 (△ ^A)	8.1 (1) 2A廃品コールドトラップ ・ 胴本体 …UF ₆ 腐食 (その他)、 保温材被覆部の腐食 、熱応力疲労
			割れ-疲労 (△ ^A)	8.1 (1) 2A廃品コールドトラップ ・ 胴本体 …UF ₆ 腐食 (その他)、保温材被覆部の腐食、 熱応力疲労
		伝熱管	割れ-疲労 (△ ^A)	8.1 (1) 2A廃品コールドトラップ ・ 伝熱管 …UF ₆ 腐食 (その他)、 熱応力疲労
		-	その他経年劣化事象 各部位のUF ₆ 腐食 (その他) (△ ^A)	8.1 (1) 2A廃品コールドトラップ ・ 胴本体 …UF ₆ 腐食 (その他)、保温材被覆部の腐食、熱応力疲労 ・ 伝熱管 …UF ₆ 腐食 (その他)、熱応力疲労
	【搬送設備】 ・ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン	減速機	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ 減速機 …腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、 摩耗
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ 減速機 …腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、摩耗
			割れ-疲労 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ 減速機 …腐食、 亀裂 (疲労) 、 変形 (疲労) 、摩耗
		フック	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ フック …腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、 摩耗
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ フック …腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、摩耗
			割れ-疲労 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ フック …腐食、 亀裂 (疲労) 、 変形 (疲労) 、摩耗
		ワイヤーロープ	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ ワイヤーロープ …腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、 摩耗
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ ワイヤーロープ …腐食、亀裂 (疲労)、変形 (疲労)、摩耗
			割れ-疲労 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ ワイヤーロープ …腐食、 亀裂 (疲労) 、 変形 (疲労) 、摩耗

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
機械設備	【搬送設備】 ・ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン	ガーダ	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ガーダ、サドル、レール…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ガーダ、サドル、レール…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			割れ-疲労 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ガーダ、サドル、レール…腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、 摩耗
		サドル	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ガーダ、 サドル 、レール…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ガーダ、 サドル 、レール…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			割れ-疲労 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ガーダ、 サドル 、レール…腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、 摩耗
		レール	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ガーダ、サドル、 レール …腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ガーダ、サドル、 レール …腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			割れ-疲労 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ガーダ、サドル、 レール …腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、 摩耗
		ホイスト	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ ホイスト …腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗 、 グリス劣化
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ ホイスト …腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗 、 グリス劣化
			割れ-疲労 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ ホイスト …腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、 摩耗 、 グリス劣化
			材質変化-劣化 (△ ^A)	8.2 (1) ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン ・ ホイスト …腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗 、 グリス劣化

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
機械設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ シリンダ搬送台車 ・ シリンダ搬出上台車 	車軸	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出上台車 ・ 車軸、車輪、車体、シリンダ置台、レール…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出上台車 ・ 車軸、車輪、車体、シリンダ置台、レール… 腐食 、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			割れ-疲労 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出上台車 ・ 車軸、車輪、車体、シリンダ置台、レール…腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、 摩耗
		車輪	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出上台車 ・ 車軸、 車輪 、車体、シリンダ置台、レール…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出上台車 ・ 車軸、 車輪 、車体、シリンダ置台、レール… 腐食 、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			割れ-疲労 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出上台車 ・ 車軸、 車輪 、車体、シリンダ置台、レール…腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、 摩耗
		車体	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出上台車 ・ 車軸、車輪、 車体 、シリンダ置台、レール…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出上台車 ・ 車軸、車輪、 車体 、シリンダ置台、レール… 腐食 、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			割れ-疲労 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出上台車 ・ 車軸、車輪、 車体 、シリンダ置台、レール…腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、 摩耗
		シリンダ置台	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出上台車 ・ 車軸、車輪、車体、 シリンダ置台 、レール…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出上台車 ・ 車軸、車輪、車体、 シリンダ置台 、レール… 腐食 、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			割れ-疲労 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出上台車 ・ 車軸、車輪、車体、 シリンダ置台 、レール…腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、 摩耗

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
機械設備	・ シリンダ搬送台車 ・ シリンダ搬出入台車	レール	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出入台車 ・ 車軸、車輪、車体、シリンダ置台、 レール …腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出入台車 ・ 車軸、車輪、車体、シリンダ置台、 レール … 腐食 、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			割れ-疲労 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出入台車 ・ 車軸、車輪、車体、シリンダ置台、 レール …腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、 摩耗
		バッテリー	材質変化-劣化 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出入台車 ・ バッテリー … 劣化
		操作盤	材質変化-劣化 (△ ^A)	8.2 (2) シリンダ搬送台車、シリンダ搬出入台車 ・ 操作盤 … リミットスイッチ、リレー、ヒューズ、センサの劣化
	【非常用設備】 ・ 非常用ディーゼル発電機 (機関)	噴燃弁	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.3 (1) 非常用ディーゼル発電機 (機関) ・ 噴燃弁 ・ ポンプ … 摩耗 、 腐食
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.3 (1) 非常用ディーゼル発電機 (機関) ・ 噴燃弁 ・ ポンプ … 摩耗 、 腐食
		ポンプ	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.3 (1) 非常用ディーゼル発電機 (機関) ・ 噴燃弁 ・ ポンプ … 摩耗 、 腐食
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.3 (1) 非常用ディーゼル発電機 (機関) ・ 噴燃弁 ・ ポンプ … 摩耗 、 腐食
		給排気弁	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.3 (1) 非常用ディーゼル発電機 (機関) ・ 給排気弁 … 摩耗 、 腐食
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.3 (1) 非常用ディーゼル発電機 (機関) ・ 給排気弁 … 摩耗 、 腐食
		シリンダヘッド	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.3 (1) 非常用ディーゼル発電機 (機関) ・ シリンダヘッド … 摩耗 、 腐食
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.3 (1) 非常用ディーゼル発電機 (機関) ・ シリンダヘッド … 摩耗 、 腐食
		冷却器	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.3 (1) 非常用ディーゼル発電機 (機関) ・ 冷却器 … 摩耗 、 腐食
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.3 (1) 非常用ディーゼル発電機 (機関) ・ 冷却器 … 摩耗 、 腐食

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
機械設備	【冷凍機ユニット】 ・2号製品冷凍機ユニット	圧縮機	減肉-腐食 (△ ^A)	8.4 (1) 2号製品冷凍機ユニット ・圧縮機…腐食、コイル損傷(劣化)、絶縁低下
			絶縁-絶縁低下 (○)	8.4 (1) 2号製品冷凍機ユニット ・圧縮機…腐食、コイル損傷(劣化)、絶縁低下
			材質変化-劣化 (△ ^A)	8.4 (1) 2号製品冷凍機ユニット ・圧縮機…腐食、コイル損傷(劣化)、絶縁低下
		ユニット本体	減肉-腐食 (△ ^A)	8.4 (1) 2号製品冷凍機ユニット ・ユニット本体…腐食、銅配管劣化(疲労)
			割れ-疲労 (△ ^A)	8.4 (1) 2号製品冷凍機ユニット ・ユニット本体…腐食、銅配管劣化(疲労)
			火災防護板	8.4 (1) 2号製品冷凍機ユニット ・火災防護板…破損(疲労)
	【カスケード設備】 ・遠心分離機	回転体	8.5 (1) 遠心分離機 ・回転体…破損(応力腐食)	
		ケーシング (外部)	8.5 (1) 遠心分離機 ・ケーシング外部…腐食	
		ケーシング (内部)	-	
		-	8.5 (1) 遠心分離機 ・ケーシング内部…UF ₆ 腐食(その他) (△ ^A)	
	【シリンダ置台】 ・廃品シリンダ置台	本体	8.6 (1) 廃品シリンダ置台 ・本体…腐食	
	【管理廃水処理脱水機】 ・管理廃水処理脱水機	ケーシング	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.7 (1) 管理廃水処理脱水機 ・ケーシング…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.7 (1) 管理廃水処理脱水機 ・ケーシング…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗
			割れ-疲労 (△ ^A)	8.7 (1) 管理廃水処理脱水機 ・ケーシング…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗
		架台	8.7 (1) 管理廃水処理脱水機 ・架台…腐食	

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
機械設備	【管理廃水処理脱水機】 ・管理廃水処理脱水機	電動機	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.7 (1) 管理廃水処理脱水機 ・電動機…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗 、絶縁低下
			減肉-腐食 (△ ^A)	8.7 (1) 管理廃水処理脱水機 ・電動機… 腐食 、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下
			割れ-疲労 (△ ^A)	8.7 (1) 管理廃水処理脱水機 ・電動機…腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、摩耗、絶縁低下
			絶縁-絶縁低下 (○)	8.7 (1) 管理廃水処理脱水機 ・電動機…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、 絶縁低下
	主軸	減肉-摩耗 (△ ^A)	8.7 (1) 管理廃水処理脱水機 ・主軸…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗	
		減肉-腐食 (△ ^A)	8.7 (1) 管理廃水処理脱水機 ・主軸… 腐食 、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	
		割れ-疲労 (△ ^A)	8.7 (1) 管理廃水処理脱水機 ・主軸…腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、摩耗	
【基礎ボルト】 ・廃品シリンダ置台 ・2号一般パージ系コールドトラップ	本体	減肉-腐食 (○)	8.8 (1) 廃品シリンダ置台、2号一般パージ系コールドトラップ ・ 基礎ボルト本体…腐食	
その他設備	【放射線測定・監視設備】 ・ダストサンプラ	ポンプ	減肉-摩耗 (△ ^A)	9.1(1) ダストサンプラ ・ ポンプ…性能劣化(摩耗)
		本体	減肉-腐食 (△ ^A)	9.1(1) ダストサンプラ ・ 本体…腐食

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
その他設備	【放射線測定・監視設備】 ・ダストサンプラ	スイッチ	導通-不良 (△ ^A)	9.1(1) ダストサンプラ ・スイッチ…導通不良
		ケーブル	絶縁-絶縁低下 (○)	9.1(1) ダストサンプラ ・ケーブル…導通不良、絶縁低下
			導通-不良 (△ ^A)	9.1(1) ダストサンプラ ・ケーブル…導通不良、絶縁低下
	【出入管理関係設備】 ・電気温水器	本体	減肉-腐食 (△ ^A)	9.2(1) 電気温水器 ・本体…腐食、絶縁低下、導通不良
			絶縁-絶縁低下 (○)	9.2(1) 電気温水器 ・本体…腐食、絶縁低下、導通不良
			導通-不良 (△ ^A)	9.2(1) 電気温水器 ・本体…腐食、絶縁低下、導通不良
	【容器】 ・廃品シリンダ (ANSI又はISO規格48Y) ・中間製品容器	胴体 バルブ プラグ	減肉-腐食 (△ ^A)	9.3(2) 廃品シリンダ (ANSI又はISO規格48Y) ・胴体、バルブ、プラグ…UF ₆ 腐食(その他)、腐食
				9.3(3) 中間製品容器 ・胴体、バルブ、プラグ…UF ₆ 腐食(その他)、熱応力疲労、腐食
	・付着ウラン回収容器 ・IF ₇ ポンペ	胴体 バルブ	減肉-腐食 (△ ^A)	9.3(1) 付着ウラン回収容器 ・胴体、バルブ…UF ₆ ・IF ₅ 腐食(その他)、腐食 9.3(4) IF ₇ ポンペ ・胴体、バルブ…腐食
		-	その他経年劣化事象-付着ウラン回収容器のUF ₆ ・IF ₅ 腐食(その他) (△ ^A)	9.3(1) 付着ウラン回収容器 ・胴体、バルブ…UF ₆ ・IF ₅ 腐食(その他)、腐食

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
その他設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃品シリンダ (ANSI 又は ISO 規格 48Y) ・ 中間製品容器 	-	その他経年劣化事象-廃品シリンダ、中間製品容器のUF ₆ 腐食 (その他) (△ ^A)	9.3(2) 廃品シリンダ (ANSI 又は ISO 規格 48Y) ・ 胴体、バルブ、プラグ…UF ₆ 腐食(その他)、腐食 9.3(3) 中間製品容器 ・ 胴体、バルブ、プラグ…UF ₆ 腐食(その他)、熱応力疲労、腐食
		-	その他経年劣化事象-中間製品容器の熱応力疲労 (△ ^A)	9.3(3) 中間製品容器 ・ 胴体、バルブ、プラグ…UF ₆ 腐食(その他)、熱応力疲労、腐食
	【消防設備】 ・ 加圧タンク ・ 防火水槽	本体	減肉-腐食 (△ ^A)	9.4(3) 加圧タンク ・ 本体…腐食 9.4(5) 防火水槽 ・ 本体…腐食
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感知器 ・ 火災報知機 ・ 誘導灯 ・ 消火器 	部品	材質変化-劣化 (△ ^A)	9.4(1) 感知器、火災報知機 ・ コンデンサ等部品…劣化 9.4(6) 誘導灯 ・ バッテリー…劣化 ・ ランプ等の部品…劣化 9.4(2) 消火器 ・ 部品 (消火剤) …劣化
	・ 屋外消火栓	部品	減肉-摩耗 (△ ^A)	9.4(4) 屋外消火栓 ・ 部品 (ホース) …腐食、摩耗 ・ 部品 (給水管) …腐食、摩耗
			減肉-腐食 (△ ^A)	9.4(4) 屋外消火栓 ・ 部品 (ホース) …腐食、摩耗 ・ 部品 (ホース格納箱) …腐食 ・ 部品 (給水管) …腐食、摩耗
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感知器 ・ 火災報知機 	ケーブル	絶縁-絶縁低下 (○)	9.4(1) 感知器、火災報知機 ・ ケーブル…絶縁低下

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
その他設備	【計測機器類】 ・秤量計	検出器	絶縁-絶縁低下 (○)	9.5(1) 秤量計 ・検出器…特性変化、絶縁低下
			信号-特性変化 (△ ^A)	9.5(1) 秤量計 ・検出器…特性変化、絶縁低下
		指示計	信号-特性変化 (△ ^A)	9.5(1) 秤量計 ・指示計…特性変化
	・2号質量分析装置	本体	減肉-腐食 (△ ^A)	9.5(2) 2号質量分析装置 ・本体…腐食
		イオンソース	信号-特性変化 (△ ^A)	9.5(2) 2号質量分析装置 ・イオンソース…特性変化
		Qポール	信号-特性変化 (△ ^A)	9.5(2) 2号質量分析装置 ・Qポール…特性変化
	・臨界監視盤	電気回路構成品	信号-特性変化 (△ ^A)	9.5(3) 臨界監視盤 ・電気回路構成品…特性変化
	・臨界検出器	検出器	信号-特性変化 (△ ^A)	9.5(4) 臨界検出器 ・検出器…特性変化
	【洗缶設備】 ・洗缶架台	電動機	減肉-摩耗 (△ ^A)	9.6(1) 洗缶架台 ・電動機…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下
			減肉-腐食 (△ ^A)	9.6(1) 洗缶架台 ・電動機…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下
			割れ-疲労 (△ ^A)	9.6(1) 洗缶架台 ・電動機…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下
			絶縁-絶縁低下 (○)	9.6(1) 洗缶架台 ・電動機…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
その他設備	【洗缶設備】 ・洗缶架台	歯車	減肉-摩耗 (△ ^A)	9.6(1) 洗缶架台 ・歯車…腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			減肉-腐食 (△ ^A)	9.6(1) 洗缶架台 ・歯車… 腐食 、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗
			割れ-疲労 (△ ^A)	9.6(1) 洗缶架台 ・歯車…腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、摩耗
		回転ローラー	減肉-摩耗 (△ ^A)	9.6(1) 洗缶架台 ・ 回転ローラー …腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗
			減肉-腐食 (△ ^A)	9.6(1) 洗缶架台 ・ 回転ローラー … 腐食 、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗
			割れ-疲労 (△ ^A)	9.6(1) 洗缶架台 ・ 回転ローラー …腐食、 亀裂(疲労) 、 変形(疲労) 、摩耗
	シリンダ支持部	減肉-腐食 (△ ^A)	9.6(1) 洗缶架台 ・ シリンダ支持部 … 腐食	
	【除染設備】 ・除染ハウス	本体	減肉-腐食 (△ ^A)	9.7(1) 除染ハウス ・ 本体 、排気フード… 腐食
		排気フード [*]	減肉-腐食 (△ ^A)	9.7(1) 除染ハウス ・ 本体 、 排気フード … 腐食

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
その他設備	【検査設備(分析設備)】 ・質量分析装置 ・発光分光装置 ・高周波プラズマ質量分析装置 ・高周波プラズマ発光分光分析装置 ・スクラバ付きドラフトチェンバ ・カリフォルニア型フード ・赤外分光分析装置	本体	減肉-腐食 (△ ^A)	9.8(1) 質量分析装置 ・本体…腐食 9.8(2) 発光分光装置 ・本体…腐食 9.8(3) 高周波プラズマ質量分析装置 ・本体…腐食 9.8(4) 高周波プラズマ発光分光分析装置 ・本体…腐食 9.8(5) スクラバ付きドラフトチェンバ ・本体…腐食 9.8(6) カリフォルニア型フード ・本体…腐食 9.8(7) 赤外分光分析装置 ・本体…腐食

表2の記載			別紙の記載	
分類	代表機器		経年劣化事象評価結果 (○、△)	記載内容 (青字：対象部位、赤字：経年劣化事象)
	機器・構築物	部位		
その他設備	【検査設備(分析設備)】 ・質量分析装置 ・発光分光装置 ・高周波プラズマ質量分析装置 ・高周波プラズマ発光分光分析装置 ・スクラパ付きドラフトチェンバ ・カリフォルニア型フード ・赤外分光分析装置	構成部品	減肉-摩耗 (△ ^A)	9.8(1) 質量分析装置 ・構成部品…部品摩耗 9.8(2) 発光分光装置 ・構成部品…部品摩耗 9.8(3) 高周波プラズマ質量分析装置 ・構成部品…部品摩耗 9.8(4) 高周波プラズマ発光分光分析装置 ・構成部品…部品摩耗 9.8(5) スクラパ付きドラフトチェンバ ・構成部品…部品摩耗 9.8(6) カリフォルニア型フード ・構成部品…部品摩耗 9.8(7) 赤外分光分析装置 ・構成部品…部品摩耗
	【2号均質・ブレンド・インク設備】 ・2号サンプル小分け装置	接液部(分岐管等)	その他経年劣化事象-接液部のUF ₆ 腐食(その他) (△ ^A) その他経年劣化事象-接液部の熱応力疲労 (△ ^A)	9.9(1) 2号サンプル小分け装置 ・接液部(分岐管等)…UF ₆ 腐食(その他) 9.9(1) 2号サンプル小分け装置 ・接液部(分岐管等)…熱応力疲労(その他)
		本体	減肉-腐食 (△ ^A)	9.9(1) 2号サンプル小分け装置 ・本体…腐食

補足説明資料

(前回評価結果と今回評価結果との比較)

本資料は、本年9月13日に保安規定変更認可申請の一部補正した技術評価書における評価対象機器に対する評価結果と前回評価結果との比較を説明するものである。

また、今回評価対象機器と設工認設備リストとの差異を説明するものである。

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
1	建屋	建屋	—	壁・天井	コンクリート中性化、ひび割れ	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
	構造物			鉄筋	海塩粒子、凍害による鉄筋腐食	

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
1	建屋・構築物	建屋	— (※1)	壁(鉄骨造)	海塩粒子による鉄骨腐食、塗装の剥離(劣化)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:外観点検) (1回/12年:クラック補修)	現状保全の継続
				壁(鉄筋コンクリート造)	コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下、ひび割れ(疲労)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:外観点検) (1回/12年:クラック補修) (1回/30年:コンクリートコア抜き試験、非破壊試験(リバウンドハンマー))	現状保全の継続
				屋上防水層(アスファルト防水層)	アスファルト防水層劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:外観点検) (1回/12年:補修塗装) (1回/20年:全面補修)	現状保全の継続
				屋上防水層(シート防水層)	シート防水層劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:外観点検) (1回/13年:防水層補修)	現状保全の継続
				天井(鉄骨造)	海塩粒子による鉄骨腐食、塗装の剥離(劣化)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:外観点検)	現状保全の継続
				天井(鉄筋コンクリート造)	コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下、ひび割れ(疲労)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:外観点検)	現状保全の継続
				床(鉄筋コンクリート造)	コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下、ひび割れ(疲労)、塗装の剥離(劣化)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:外観点検) (1回/12年:クラック補修) (1回/12年:補修塗装)	現状保全の継続
				床(鉄骨造)	ひび割れ(疲労)、塗装の剥離(劣化)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:外観点検) (1回/12年:クラック補修) (1回/12年:補修塗装)	現状保全の継続
				柱(鉄筋コンクリート造)	コンクリート中性化および塩分浸透によるコンクリート強度の低下、ひび割れ(疲労)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:外観点検) (1回/12年:クラック補修)	現状保全の継続
柱(鉄骨造)	海塩粒子による鉄骨腐食、塗装の剥離(劣化)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:外観点検) (1回/12年:補修塗装)	現状保全の継続				
扉部品(建具等)	海塩粒子による腐食、塗装の剥離(劣化)、部品劣化(摩耗)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:開閉操作確認) (1回/3年:外観点検) (1回/6年:補修塗装) (1回/20年:部品交換)	現状保全の継続				

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
2	ポンプ	カスケード設備	遠心分離機	外筒(ケーシング)	回転体の経年変化(応力腐食割れ等)による破損、ケーシングUF ₆ 腐食、大気腐食	設計仕様(ノーマンテナンス設計)
3	配管・弁	カスケード設備	主要配管(弁を含む)	溶接部 フランジ 曲管部	UF ₆ 腐食、大気腐食	現状保全(日常巡視点検)妥当性確認
4	インターロック	カスケード設備	カスケード系内圧力異常高によるカスケード排気のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全(日常巡視点検)妥当性確認
5	インターロック	カスケード設備	濃縮度管理インターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全(計器校正/作動検査、日常巡視点検)妥当性確認
6	電気設備	高周波電源設備	高周波インバータ	筐体	-	現状保全(消耗品交換、絶縁抵抗測定)妥当性確認
7	インターロック	高周波電源設備	出力周波数制限インターロック	監視用発振器 基準発振器 比較回路	構成部品の経年劣化	現状保全(消耗品交換、絶縁抵抗測定)妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価	
				シャッター部品(建具等)	塗装の剥離(劣化)、海塩粒子による腐食、部品劣化(摩耗)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:内部清掃、消耗品交換) (1回/3年:外観点検) (1回/6年:補修塗装) (1回/20年:部品交換)	現状保全の継続	
				エキスパンションジョイント部品	部品劣化(摩耗)、海塩粒子による腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:外観点検) (1回/12年:漏水有無確認) (1回/30年:部品交換)	現状保全の継続	
2	機械設備	カスケード設備	遠心分離機(新型遠心機)	回転体 ケーシング内部 ケーシング外部 基礎ボルト	破損(応力腐食) ケーシング内部のUF ₆ 腐食(その他) ケーシング外部の大気腐食 腐食	日常保全(巡視) ノーマンテナンス 運転状態(圧力・流量)監視	現状保全の継続 現状保全の継続 現状保全の継続	
				遠心分離機(金属胴遠心機)	- (※2)	- (※3)	現状保全(巡視)	現状保全の継続
3	配管・弁	2号カスケード設備	主要配管(弁を含む)	主要配管溶接部 主要配管フランジ 主要配管曲管部 弁・溶接部 弁・フランジ	UF ₆ 腐食(その他)、腐食 UF ₆ 腐食(その他)、腐食 UF ₆ 腐食(その他)、腐食 UF ₆ 腐食(その他)、腐食 UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/20年:外観点検) 運転状態(圧力・流量)監視	現状保全の継続 現状保全の継続 現状保全の継続 現状保全の継続 現状保全の継続	
		1号カスケード設備	主要配管(1号カスケード設備)	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
4		財産保護目的のインターロックのため、許認可対象外となっていることから評価対象外とする。						
5	インターロック	1号カスケード設備		- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
	インターロック	2号カスケード設備	濃縮度管理インターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続	
6	電気設備	高周波電源設備	2A高周波インバータ盤	筐体 コンバータ回路、チョップ回路、インバータ回路 基礎ボルト	腐食 基板劣化(アルミ電解コンデンサ、ハンダ接合部)、部品劣化、絶縁低下 腐食	定期保全 (1回/3年:外観点検、消耗品交換、機能試験、絶縁抵抗測定) 日常保全(巡視)	現状保全の継続 現状保全の継続	
7	電気設備	高周波電源設備	出力周波数制限インターロック	筐体 コンバータ回路、チョップ回路、インバータ回路 基礎ボルト	腐食 基板劣化(アルミ電解コンデンサ、ハンダ接合部)、部品劣化、絶縁低下 腐食	定期保全 (1回/3年:外観点検、消耗品交換、機能試験、絶縁抵抗測定) 日常保全(巡視) 日常保全(巡視)	現状保全の継続 現状保全の継続	

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
8	槽・塔	UF ₆ 処理設備	発生槽	筐体	腐食	現状保全（消耗品交換）妥当性確認
					シール等部品劣化	
9	インターロック	UF ₆ 処理設備	発生槽原料シリンダ圧力異常又は発生槽内温度異常による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
10	槽・塔	UF ₆ 処理設備	製品回収槽	筐体	腐食	現状保全（消耗品交換）妥当性確認
					シール等部品劣化	
				冷却器	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
11	インターロック	UF ₆ 処理設備	製品回収槽中間製品容器重量異常による過充填防止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
12	槽・塔	UF ₆ 処理設備	廃品回収槽	筐体	—	現状保全（消耗品交換）妥当性確認
13	インターロック	UF ₆ 処理設備	廃品回収槽廃品シリンダ重量異常による過充填防止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
8	槽・塔	2号UF ₆ 処理設備	2号発生槽	本体	腐食、劣化、シール等部品摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検、槽内清掃、消耗品交換)	現状保全の継続
		1号UF ₆ 処理設備	1号発生槽	基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	
9	インターロック	1号UF ₆ 処理設備	発生槽原料シリンダ圧力異常又は発生槽内温度異常による加熱停止のインターロック	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
		2号UF ₆ 処理設備		【圧力計】 —(※2)	—(※3)	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	
				【温度計】 —(※2)	—(※3)	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗測定、外観点検) 点検結果から検出器交換を判断	現状保全の継続
10	槽・塔	2号UF ₆ 処理設備	2号製品回収槽	本体	腐食、劣化、シール等部品摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検、槽内清掃、消耗品交換)	現状保全の継続
				冷却器	腐食	運転状態監視 定期保全 (1回/5年:外観点検)	
				ファン	腐食	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検) (1回/20年:分解点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	
		1号UF ₆ 処理設備	1号製品回収槽	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
11	インターロック	1号UF ₆ 処理設備	製品回収槽中間製品容器重量異常による過充填防止のインターロック	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
		2号UF ₆ 処理設備		検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗測定、外観点検、締付確認) (1回/10年:本体交換)	
12	槽・塔	2号UF ₆ 処理設備	2号廃品回収槽	本体	腐食、劣化、シール等部品摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検、槽内清掃、消耗品交換)	現状保全の継続
		1号UF ₆ 処理設備	1号廃品回収槽	基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	
13	インターロック	1号UF ₆ 処理設備	廃品回収槽廃品シリンダ重量異常による過充填防止のインターロック	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
		2号UF ₆ 処理設備		検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗測定、外観点検、締付確認) (1回/10年:本体交換)	

前回評価結果

今回評価結果

- ※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。
- ※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。
- ※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
14	槽・塔	UF ₆ 処理設備	製品コールドトラップ	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
					保温材被覆部の腐食	
					熱応力疲労	
				フィンチューブ	UF ₆ 腐食	現状保全（非破壊検査、日常巡視点検）妥当性確認
	熱応力疲労					
15	インターロック	UF ₆ 処理設備	製品コールドトラップ圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
16	槽・塔	UF ₆ 処理設備	廃品コールドトラップ	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
					保温材被覆部の腐食	
					熱応力疲労	
				フィンチューブ	UF ₆ 腐食	現状保全（非破壊検査、日常巡視点検）妥当性確認
	熱応力疲労					
17	インターロック	UF ₆ 処理設備	廃品コールドトラップ圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価				
14	機械設備	2号UF ₆ 処理設備	2号製品コールドトラップ	胴本体	UF ₆ 腐食(その他)、保温材被覆部の腐食、熱応力疲労	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続				
				伝熱管	UF ₆ 腐食(その他)、熱応力疲労	運転状態(圧力)監視					
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続				
15	インターロック	2号UF ₆ 処理設備	製品コールドトラップ圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック	1号UF ₆ 処理設備	1号製品コールドトラップ	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続		
				2号UF ₆ 処理設備		- (※2)	- (※3)	【圧力計】 - (※2)	- (※3)	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
						【温度計】 検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗測定、外観点検) 点検結果から検出器交換を判断	現状保全の継続		
16	機械設備	2号UF ₆ 処理設備	2A~2C廃品コールドトラップ	胴本体	UF ₆ 腐食(その他)、保温材被覆部の腐食、熱応力疲労	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続				
				伝熱管	UF ₆ 腐食(その他)、熱応力疲労	運転状態(圧力)監視 定期保全 (1回/10年: X線撮影)					
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続				
17	インターロック	2号UF ₆ 処理設備	廃品コールドトラップ圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック	1号UF ₆ 処理設備		- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続		
				2号UF ₆ 処理設備		【圧力計】 検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続		
						【温度計】 検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗測定、外観点検) 点検結果から検出器交換を判断	現状保全の継続		

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
18	槽・塔	UF ₆ 処理設備	捕集排気系ケミカルトラップ (NaF)	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全 (交換時漏えい検査、日常巡視点検) 妥当性確認
				NaFカートリッジ	シート部損耗 UF ₆ 腐食	現状保全 (外観点検、交換時漏えい検査) 妥当性確認
19	槽・塔	UF ₆ 処理設備	捕集排気系ケミカルトラップ (Al ₂ O ₃)	胴体	—	現状保全 (日常巡視点検) 妥当性確認
20	ポンプ	UF ₆ 処理設備	捕集排気系ロータリポンプ [油回転式]	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全 (分解点検、日常巡視点検) 妥当性確認
					駆動部損傷	
21	インターロック	UF ₆ 処理設備	外部電源喪失によるロータリポンプ停止時のロータリポンプ入口弁閉のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジション等	構成部品の経年劣化	現状保全 (運転停止時: 弁作動確認、日常巡視点検) 妥当性確認
22	ポンプ	UF ₆ 処理設備	廃品第2段コンプレッサ	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全 (分解点検) 妥当性確認
					駆動部損傷	
23	インターロック	UF ₆ 処理設備	廃品回収槽入口ヘッダ圧力異常高による廃品第2段コンプレッサ停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジション等	構成部品の経年劣化	現状保全 (日常巡視点検) 妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価	
18	槽・塔	2号UF ₆ 処理設備	2号捕集排気系ケミカルトラップ(NaF)	胴本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) 運転状態監視 定期保全 (1回/20年:肉厚測定)	現状保全の継続	
				NaFカートリッジ (シート部)	UF ₆ 腐食(その他)、摩耗	運転状態(排気用モニター)監視 検出器監視 (規定値超過、検出器変色時/NaF交換) 外観点検 (交換の都度)	現状保全の継続	
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
		1号UF ₆ 処理設備	1号捕集排気系ケミカルトラップ(NaF)	— (※2)	— (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
19	槽・塔	2号UF ₆ 処理設備	2号捕集排気系ケミカルトラップ(Al ₂ O ₃)	胴本体	腐食	運転状態監視 定期保全 (1回/20年:肉厚測定) 検出器監視 (規定値超過、検出器変色時/Al ₂ O ₃ 交換)	現状保全の継続	
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
						1号UF ₆ 処理設備	1号捕集排気系ケミカルトラップ(Al ₂ O ₃)	— (※2)
20	ポンプ	2号UF ₆ 処理設備	2号捕集排気系ロータリポンプ	ポンプ本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続	
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続	
				主軸	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続	
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
		1号UF ₆ 処理設備	1号捕集排気系ロータリポンプ	— (※2)	— (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
21	インターロック	UF ₆ 処理設備	外部電源喪失によるロータリポンプ停止時のロータリポンプ入口弁閉のインターロック		— (※2)	— (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
					検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジション等	構成部品の経年劣化	運転停止時: 弁作動確認 日常保全(巡視)	現状保全の継続
22	ポンプ	UF ₆ 処理設備	1号廃品第2段コンプレッサ		— (※2)	— (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
23	インターロック	UF ₆ 処理設備	1号UF ₆ 処理設備	廃品回収槽入口ヘッダ圧力異常高による廃品第2段コンプレッサ停止のインターロック	— (※2)	— (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
24	槽・塔	UF ₆ 処理設備	一般バージ系コールドトラップ	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
					保温材被覆部の腐食	
					熱応力疲労	
				フィンチューブ	UF ₆ 腐食	
	熱応力疲労					
25	インターロック	UF ₆ 処理設備	一般バージ系コールドトラップ圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
26	槽・塔	UF ₆ 処理設備	一般バージ系ケミカルトラップ (NaF)	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全（交換時漏えい検査、日常巡視点検）妥当性確認
					UF ₆ 腐食	
27	槽・塔	UF ₆ 処理設備	一般バージ系ケミカルトラップ (Al ₂ O ₃)	胴体	-	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価	
24	機械設備	2号UF ₆ 処理設備	2号一般バージ系コールドトラップ	胴本体	UF ₆ 腐食(その他)、保温材被覆部の腐食、熱応力疲労	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続	
				伝熱管	UF ₆ 腐食(その他)、熱応力疲労	運転状態(圧力)監視		
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検(寸法測定含む))	現状保全の継続	
						日常保全(巡視)		
25	インターロック	1号UF ₆ 処理設備	1号一般バージ系コールドトラップ	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
						【圧力計】 - (※2)		- (※3)
		2号UF ₆ 処理設備	一般バージ系コールドトラップ圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック	【温度計】	構成部品の経年劣化	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗測定、外観点検) 点検結果から検出器交換を判断	現状保全の継続
26	槽・塔	2号UF ₆ 処理設備	2号一般バージ系ケミカルトラップ(NaF)	胴本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) 運転状態監視 定期保全 (1回/20年:肉厚測定)	現状保全の継続	
				NaFカートリッジ(シート部)	UF ₆ 腐食(その他)、摩耗	運転状態(排気用モニター)監視 検出器監視 (規定値超過・検出器変色時/NaF交換) 外観点検 (NaF交換の都度)		
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
						日常保全(巡視)		
27	槽・塔	2号UF ₆ 処理設備	2号一般バージ系ケミカルトラップ(Al ₂ O ₃)	胴本体	腐食	日常保全(巡視) 運転状態監視 定期保全 (1回/20年:肉厚測定) 検出器監視 (規定値超過・検出器変色時/Al ₂ O ₃ 交換)	現状保全の継続	
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)		
		1号UF ₆ 処理設備	1号一般バージ系ケミカルトラップ(Al ₂ O ₃)	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
						日常保全(巡視)		

前回評価結果

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
28	ポンプ	UF ₆ 処理設備	一般バージ系プースタポン プ[ルーツブロウ式]	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点 検）妥当性確認
29	ポンプ	UF ₆ 処理設備	一般バージ系ロータリポン プ[油回転式]	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点 検）妥当性確認
30	インター ロック	UF ₆ 処理設備	外部電源喪失によるロータ リポンプ停止時のロータリ ポンプ入口弁閉のインター ロック	検出器、制御回路、 リレー、制御電源、 盤内配線、ポジショ ナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（運転停止時：弁作動確 認、日常巡視点検）妥当性確認
31	槽・塔	UF ₆ 処理設備	NaF処理槽	胴体	UF ₆ 腐食 熱応力疲労	未使用につき劣化なし
32	インター ロック	UF ₆ 処理設備	NaF処理槽温度異常高によ る加熱停止のインターロッ ク	検出器、制御回路、 リレー、制御電源、 盤内配線、ポジショ ナ等	構成部品の経年劣化	未使用につき劣化なし
33	ポンプ	UF ₆ 処理設備	NaF処理槽プースタポン プ[ルーツブロウ式]	胴体	UF ₆ 腐食	未使用につき劣化なし
34	槽・塔	UF ₆ 処理設備	圧力調整槽	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性 確認

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価		
28	ポンプ	2号UF ₆ 処理設備	2号一般バージ系プースタ ポンプ	ポンプ本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:分解点検、消耗品 交換)	現状保全の継続		
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/5年:分解点検、消耗品 交換)	現状保全の継続		
				主軸	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	定期保全 (1回/5年:分解点検、消耗品 交換)	現状保全の継続		
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続		
		1号UF ₆ 処理設備	1号一般バージ系プースタ ポンプ	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続		
29	ポンプ	2号UF ₆ 処理設備	2号一般バージ系ロータリ ポンプ	ポンプ本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品 交換)	現状保全の継続		
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/4年:分解点検、消耗品 交換)	現状保全の継続		
				主軸	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品 交換)	現状保全の継続		
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続		
		1号UF ₆ 処理設備	1号一般バージ系ロータリ ポンプ	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続		
30	インター ロック	1号UF ₆ 処理設備	外部電源喪失によるロータ リポンプ停止時のロータリ ポンプ入口弁閉のインター ロック	検出器、制御回路、 リレー、制御電源、 盤内配線、ポジショ ナ等	構成部品の経年劣化	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
		2号UF ₆ 処理設備				—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
31	槽・塔	UF ₆ 処理設備	NaF処理槽	胴体	UF ₆ 腐食 熱応力疲労	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
32	インター ロック	UF ₆ 処理設備	NaF処理槽温度異常高によ る加熱停止のインターロッ ク	検出器、制御回路、 リレー、制御電源、 盤内配線、ポジショ ナ等	構成部品の経年劣化	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
33	ポンプ	UF ₆ 処理設備	NaF処理槽プースタポン プ[ルーツブロウ式]	胴体	UF ₆ 腐食	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
34	槽・塔	UF ₆ 処理設備	圧力調整槽	胴体	UF ₆ 腐食	本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、劣化	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/20年:外観点検)	現状保全の継続
						基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
		1号UF ₆ 処理設備	1号圧力調整槽			—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

- ※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。
- ※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。
- ※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
35	槽・塔	UF ₆ 処理設備	カスケード排気系ケミカルトラップ(NaF)(CS系)	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全（交換時漏えい検査、日常巡視点検）妥当性確認
				NaFカートリッジ	シート部損耗 UF ₆ 腐食	現状保全（外観点検、交換時漏えい検査）妥当性確認
36	槽・塔	UF ₆ 処理設備	カスケード排気系ケミカルトラップ(Al ₂ O ₃)(CS系)	胴体	—	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
37	ポンプ	UF ₆ 処理設備	カスケード排気系ブースタポンプ（CS系）[ループロワ式]	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
38	ポンプ	UF ₆ 処理設備	カスケード排気系ロータリポンプ（CS系）[油回転式]	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
39	インターロック	UF ₆ 処理設備	外部電源喪失によるロータリポンプ停止時のロータリポンプ入口弁閉のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジション等	構成部品の経年劣化	現状保全（運転停止時：弁作動確認、日常巡視点検）妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
35	槽・塔	2号UF ₆ 処理設備	2A~2Cカスケード排気系ケミカルトラップ(NaF)(CS系)	胴本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) 運転状態監視 定期保全 (1回/20年:肉厚測定)	現状保全の継続
				NaFカートリッジ(シート部)	UF ₆ 腐食(その他)、摩耗	運転状態(排気用モニタ)監視 検出器監視 (規定値超過・検出器変色時/NaF交換) 外観点検(NaF交換の都度)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
		1号UF ₆ 処理設備	1号カスケード排気系ケミカルトラップ(NaF)(CS系)	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
36	槽・塔	2号UF ₆ 処理設備	2A~2Cカスケード排気系ケミカルトラップ(Al ₂ O ₃)(CS系)	胴本体	腐食	日常保全(巡視) 運転状態監視 定期保全 (1回/20年:肉厚測定) 検出器監視 (規定値超過・検出器変色時/Al ₂ O ₃ 交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
		1号UF ₆ 処理設備	1号カスケード排気系ケミカルトラップ(Al ₂ O ₃)(CS系)	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
37	ポンプ	2号UF ₆ 処理設備	2A~2Cカスケード排気系ブースタポンプ(CS系)	ポンプ本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下		現状保全の継続
				主軸	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗		現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食		現状保全の継続
		1号UF ₆ 処理設備	1A~1Dカスケード排気系ブースタポンプ(CS系)	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
38	ポンプ	2号UF ₆ 処理設備	2Aカスケード排気系ロータリポンプ(CS系)	ポンプ本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				主軸	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
		1号UF ₆ 処理設備	1A~1Dカスケード排気系ロータリポンプ(CS系)	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
39	インターロック	UF ₆ 処理設備	外部電源喪失によるロータリポンプ停止時のロータリポンプ入口弁閉のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジション等	構成部品の経年劣化	—(※2)	—(※3)
				検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジション等	構成部品の経年劣化	日常保全(巡視)	現状保全の継続

前回評価結果

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
40	ポンプ	UF ₆ 処理設備	廃品第1段コンプレッサ	ケーシング	UF ₆ 腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
				回転体	UF ₆ 腐食	現状保全（回転胴交換）妥当性確認
					応力腐食割れ	
41	槽・塔	UF ₆ 処理設備	カスケード排気系ケミカルトラップ(NaF)(CB系)	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全（交換時漏えい検査、日常巡視点検）妥当性確認
				NaFカートリッジ	シート部損耗	現状保全（外観点検、交換時漏えい検査）妥当性確認
					UF ₆ 腐食	
42	槽・塔	UF ₆ 処理設備	カスケード排気系ケミカルトラップ(Al ₂ O ₃)(CB系)	胴体	—	現状保全(日常巡視点検)妥当性確認
43	ポンプ	UF ₆ 処理設備	カスケード排気系ブースタポンプ(CB系)	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
44	ポンプ	UF ₆ 処理設備	カスケード排気系ロータリポンプ(CB系)	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
45	インターロック	UF ₆ 処理設備	外部電源喪失によるロータリポンプ停止時のロータリポンプ入口弁閉のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（運転停止時：弁作動確認、日常巡視点検）妥当性確認

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価		
40	ポンプ	1号UF ₆ 処理設備	1号廃品第1段コンプレッサ	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続		
41	槽・塔	2号UF ₆ 処理設備	2号カスケード排気系ケミカルトラップ(NaF)(CB系)	胴本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) 運転状態監視 定期保全 (1回/20年:肉厚測定)	現状保全の継続		
				NaFカートリッジ(シート部)	UF ₆ 腐食(その他)、摩耗	運転状態(排気用モニタ)監視 検出器監視 (規定値超過、検出器変色時/NaF交換) 外観点検(NaF交換の都度)	現状保全の継続		
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続		
				1号UF ₆ 処理設備	1号カスケード排気系ケミカルトラップ(NaF)(CB系)	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
42	槽・塔	2号UF ₆ 処理設備	2号カスケード排気系ケミカルトラップ(Al ₂ O ₃)(CB系)	胴本体	腐食	日常保全(巡視) 運転状態監視 定期保全 (1回/20年:肉厚測定) 検出器監視 (規定値超過、検出器変色時/Al ₂ O ₃ 交換)	現状保全の継続		
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続		
				1号UF ₆ 処理設備	1号カスケード排気系ケミカルトラップ(Al ₂ O ₃)(CB系)	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
43	ポンプ	2号UF ₆ 処理設備	2号カスケード排気系ブースタポンプ(CB系)	ポンプ本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	日常保全(巡視)	現状保全の継続		
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下		現状保全の継続		
				主軸	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗		現状保全の継続		
				基礎ボルト	腐食		現状保全の継続		
		1号UF ₆ 処理設備	1号カスケード排気系ブースタポンプ(CB系)	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続		
44	ポンプ	2号UF ₆ 処理設備	2号カスケード排気系ロータリポンプ(CB系)	ポンプ本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続		
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続		
				主軸	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続		
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続		
				1号UF ₆ 処理設備	1号カスケード排気系ロータリポンプ(CB系)	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
45	インターロック	1号UF ₆ 処理設備	外部電源喪失によるロータリポンプ停止時のロータリポンプ入口弁閉のインターロック	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続		
				2号UF ₆ 処理設備	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	運転停止時:弁作動確認 日常保全(巡視)	現状保全の継続	

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
46	配管・弁	UF ₆ 処理設備	主要配管（弁を含む）	溶接部	UF ₆ 腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
				フランジ		
				曲管部		
47	インターロック	UF ₆ 処理設備	配管温度異常高による電気ヒータ加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
48	槽・塔	均質・ブレンディング設備	均質槽	胴体	溶接部・シール部等の劣化による気密性低下	現状保全（部品交換、気密試験）妥当性確認
				溶接部・シール部		
				冷却器	腐食	現状保全（外観・清掃）妥当性確認
				加熱器		
49	インターロック	均質・ブレンディング設備	工程用モニタHF濃度高によるUF ₆ 漏洩拡大防止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
50	インターロック	均質・ブレンディング設備	均質槽中間製品容器圧力異常又は均質槽内温度異常による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
51	インターロック	均質・ブレンディング設備	UF ₆ シリンダ類交換時の誤操作防止のインターロック	リレー、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（作動検査、日常巡視点検）妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価		
46	配管・弁	2号UF ₆ 処理設備	主要配管(弁含む)(UF ₆ 処理設備)	主要配管溶接部	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/20年:外観点検)	現状保全の継続		
				主要配管フランジ	UF ₆ 腐食(その他)、腐食				
				主要配管曲管部	UF ₆ 腐食(その他)、腐食				
				弁・溶接部	UF ₆ 腐食(その他)、腐食				
				弁・フランジ	UF ₆ 腐食(その他)、腐食				
1号UF ₆ 処理設備	主要配管	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続				
47	インターロック	1号UF ₆ 処理設備	配管温度異常高による電気ヒータ加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	日常巡視点検	現状保全の継続		
		2号UF ₆ 処理設備							
48	槽・塔	2号均質・ブレンディング設備	2号均質槽	本体	腐食、劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:気密試験) (1回/2年:外観点検、槽内点検)	現状保全の継続		
				溶接部	劣化	定期保全 (1回/1年:気密試験)			
				シール部	劣化	定期保全 (1回/1年:気密試験)			
				冷却器	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/2年:外観点検) (1回/4年:ファン軸受交換)			
				加熱器	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/2年:外観点検) (1回/4年:ファン軸受交換)			
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)			
1号均質・ブレンディング設備	1号均質槽	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続				
49	インターロック	1号均質・ブレンディング設備	工程用モニタHF濃度高によるUF ₆ 漏洩拡大防止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	日常保全(巡視)	現状保全の継続		
		2号均質・ブレンディング設備							
50	インターロック	1号均質・ブレンディング設備	均質槽中間製品容器圧力異常又は均質槽内温度異常による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	【圧力計】 検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続	
		2号均質・ブレンディング設備							【温度計】 検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等
51	インターロック	1号均質・ブレンディング設備	UF ₆ シリンダ類交換時の誤操作防止のインターロック	リレー、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
		2号均質・ブレンディング設備							

前回評価結果

今回評価結果

- ※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。
- ※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。
- ※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
52	インターロック	均質・ブレンディング設備	均質槽中間製品容器重量異常による過充填防止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
53	槽・塔	均質・ブレンディング設備	製品シリンダ槽	胴体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
				シール等部品劣化		
				冷却器	腐食	現状保全（外観・清掃、日常巡視点検）妥当性確認
				加熱器		
54	インターロック	均質・ブレンディング設備	UF ₆ シリンダ類交換時の誤操作防止のインターロック	リレー、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
55	インターロック	均質・ブレンディング設備	製品シリンダ槽製品シリンダ圧力異常高又は製品シリンダ槽内温度異常高による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
56	インターロック	均質・ブレンディング設備	製品シリンダ槽製品シリンダ重量異常高による過充填防止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
57	槽・塔	均質・ブレンディング設備	原料シリンダ槽	胴体	腐食	現状保全（外観・清掃、日常巡視点検）妥当性確認
				シール等部品劣化		

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価	
52	インターロック	均質・ブレンディング設備	均質槽中間製品容器重量異常による過充填防止のインターロック	1号均質・ブレンディング設備	－(※2)	－(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				2号均質・ブレンディング設備	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗測定、外観点検、締付確認) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
53	槽・塔	均質・ブレンディング設備	2号製品シリンダ槽	本体	腐食、シール等部品摩耗、劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検、消耗品交換)	現状保全の継続	
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
				冷却器	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検、分解点検)	現状保全の継続	
				加熱器	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検、分解点検)	現状保全の継続	
54	インターロック	均質・ブレンディング設備	UF ₆ シリンダ類交換時の誤操作防止のインターロック	1号均質・ブレンディング設備	－(※2)	－(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				2号均質・ブレンディング設備	リレー、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:定期点検)	現状保全の継続
55	インターロック	均質・ブレンディング設備	製品シリンダ槽製品シリンダ圧力異常高又は製品シリンダ槽内温度異常高による加熱停止のインターロック	1号均質・ブレンディング設備	－(※2)	－(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				2号均質・ブレンディング設備	【圧力計】 検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
56	インターロック	均質・ブレンディング設備	製品シリンダ槽製品シリンダ重量異常高による過充填防止のインターロック	1号均質・ブレンディング設備	－(※2)	－(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				2号均質・ブレンディング設備	【温度計】 検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗測定、外観点検) 点検結果から検出器交換を判断	現状保全の継続
57	槽・塔	均質・ブレンディング設備	2号原料シリンダ槽	本体	腐食、シール等部品摩耗、劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:外観点検、消耗品交換)	現状保全の継続	
				冷却器	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:外観点検、分解点検)	現状保全の継続	
				加熱器	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:外観点検、分解点検)	現状保全の継続	
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
			1号均質・ブレンディング設備	1号原料シリンダ槽	－(※2)	－(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
58	インターロック	均質・ブレンディング設備	UF ₆ シリンダ類交換時の誤操作防止のインターロック	リレー、ポジションナ	構成部品の経年劣化	現状保全（作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
59	インターロック	均質・ブレンディング設備	原料シリンダ槽原料シリンダ圧力異常高又は原料シリンダ槽内温度異常高による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
60	槽・塔	均質・ブレンディング設備	均質バージ系コールドトラップ	胴体	UF ₆ 腐食 保温材被覆部の腐食 熱応力疲労	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
				フィンチューブ	UF ₆ 腐食 熱応力疲労	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
61	インターロック	均質・ブレンディング設備	均質バージ系コールドトラップ圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
62	槽・塔	均質・ブレンディング設備	均質バージ系ケミカルトラップ (NaF)	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全（交換時漏えい検査、日常巡視点検）妥当性確認
				NaFカートリッジ	シート部損耗 UF ₆ 腐食	現状保全（外観点検、交換時漏えい検査）妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価	
58	インターロック	均質・ブレンディング設備	UF ₆ シリンダ類交換時の誤操作防止のインターロック	1号均質・ブレンディング設備	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				2号均質・ブレンディング設備	リレー、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:定期点検)	現状保全の継続
59	インターロック	均質・ブレンディング設備	原料シリンダ槽原料シリンダ圧力異常高又は原料シリンダ槽内温度異常高による加熱停止のインターロック	1号均質・ブレンディング設備	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				2号均質・ブレンディング設備	【圧力計】 検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
60	機械設備	均質・ブレンディング設備	2号均質バージ系コールドトラップ	胴本体	UF ₆ 腐食(その他)、保温材被覆部の腐食、熱応力疲労	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続	
				伝熱管	UF ₆ 腐食(その他)、熱応力疲労	運転状態(圧力)監視	現状保全の継続	
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続	
61	インターロック	均質・ブレンディング設備	均質バージ系コールドトラップ圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック	1号均質・ブレンディング設備	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				2号均質・ブレンディング設備	【圧力計】 検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
62	槽・塔	均質・ブレンディング設備	2号均質バージ系ケミカルトラップ(NaF)	胴本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) 運転状態監視 定期保全 (1回/20年:肉厚測定)	現状保全の継続	
				NaFカートリッジ(シート部)	UF ₆ 腐食(その他)、摩耗	運転状態(排気用モニタ)監視 検出器監視 (規定値超過・検出器変色時/NaF交換) 外観点検 (NaF交換の都度)	現状保全の継続	
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
		1号均質・ブレンディング設備	1号均質バージ系ケミカルトラップ(NaF)	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続	

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
63	槽・塔	均質・ブレンディング設備	均質バージ系ケミカルトラップ(Al ₂ O ₃)	胴体	—	現状保全(日常巡視点検)妥当性確認
64	ポンプ	均質・ブレンディング設備	均質バージ系プースタポンプ[ルーツブロウ式]	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全(分解点検、日常巡視点検)妥当性確認
65	ポンプ	均質・ブレンディング設備	均質バージ系ロータリポンプ[油回転式]	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全(分解点検、日常巡視点検)妥当性確認
66	インターロック	均質・ブレンディング設備	外部電源喪失によるロータリポンプ停止時のロータリポンプ入口弁閉のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	構成部品の劣化	現状保全(運転停止時:弁作動確認、日常巡視点検)妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
63	槽・塔	2号均質・ブレンディング設備	2号均質バージ系ケミカルトラップ(Al ₂ O ₃)	胴本体	腐食	日常保全(巡視) 運転状態監視 定期保全 (1回/20年:肉厚測定) 検出器監視 (規定値超過・検出器変色時/Al ₂ O ₃ 交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
64	ポンプ	2号均質・ブレンディング設備	2号均質バージ系プースタポンプ	ポンプ本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/5年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				主軸	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	運転状態(圧力)監視 定期保全 (1回/5年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続				
65	ポンプ	2号均質・ブレンディング設備	2号均質バージ系ロータリポンプ	ポンプ本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				主軸	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	運転状態(圧力)監視 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続				
66	インターロック	1号均質・ブレンディング設備	外部電源喪失によるロータリポンプ停止時のロータリポンプ入口弁閉のインターロック	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	構成部品の劣化	運転停止時:弁作動確認 日常保全(巡視)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
67	機械設備	均質・ブレンド設備	サンプル小分け装置	接液部(分岐管等)	UF ₆ 腐食	現状保全(日常巡視点検)妥当性確認
					熱応力疲労	
				筐体	—	現状保全(日常巡視点検)妥当性確認
			局所排風機・ダクト(廃棄設備に記載)	—	現状保全(日常巡視点検)妥当性確認	
68	インターロック	均質・ブレンド設備	サンプルシリンダ圧力異常高又は加熱箱内温度異常高による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	構成部品の経年劣化	現状保全(日常巡視点検)妥当性確認
69	槽・塔	均質・ブレンド設備	減圧槽	胴体	—	現状保全(日常巡視点検)妥当性確認
70	容器	均質・ブレンド設備	中間製品容器	胴体	UF ₆ 腐食、熱応力疲労	現状保全(耐圧、肉厚、外観)妥当性確認
				溶接部		
				バルブ		
71	監視機器	均質・ブレンド設備	工程用モニタ	サンプリング部	—	現状保全(外観目視)妥当性確認
				検出器、リレー、制御電源、盤内配線等	構成部品の経年劣化	現状保全(計器校正/作動検査、日常巡視点検)妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価	
67	機械設備	2号均質・ブレンド設備	2号サンプル小分け装置	接液部(分岐管等)	UF ₆ 腐食(その他)、熱応力疲労(その他)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検)	現状保全の継続	
				装置本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検)		
				局所排風機	No.96 1号、2号局所排風機に記載	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検)	現状保全の継続	
				ダクト	No.97 1号、2号局所排気ダクトに記載	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検)		
			基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続		
			1号均質・ブレンド設備	1号サンプル小分け装置	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
68	インターロック	均質・ブレンド設備	サンプルシリンダ圧力異常高又は加熱箱内温度異常高による加熱停止のインターロック	1号均質・ブレンド設備	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				2号均質・ブレンド設備	【圧力計】 検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
			2号均質・ブレンド設備	【温度計】 検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗測定、外観点検) 点検結果から検出器交換を判断	現状保全の継続	
69	槽・塔	均質・ブレンド設備	2号減圧槽	本体	UF ₆ 腐食(その他)	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/25年:外観点検、肉厚測定)	現状保全の継続	
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)		
			1号減圧槽	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
70	容器	均質・ブレンド設備	中間製品容器(ANSI又はISO規格30B)	胴体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、熱応力疲労	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検、肉厚測定)	現状保全の継続	
				バルブ	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、熱応力疲労	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検)		
				プラグ	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、熱応力疲労	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続	
71	インターロック	均質・ブレンド設備	1号工程用モニタA	1号工程用モニタA	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				2号工程用モニタA	—(※2)	—(※3)	定期保全 (月例、3ヵ月、6ヵ月、年次点検(校正)) (1回/15年:本体交換) (1回/6ヵ月:電極交換)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
72	配管・弁	均質・ブレンド設備	主要配管（弁を含む）	均質槽配管カバー内配管	UF ₆ 腐食	現状保全（気密/肉厚、日常巡視点検）妥当性確認
				その他（溶接部、フランジ、曲管部）	UF ₆ 腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
73	インターロック	均質・ブレンド設備	配管温度異常高による電気ヒータ加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
74	機械設備	貯蔵設備	原料充填シリンダ置台	置台	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
75	機械設備	貯蔵設備	製品充填シリンダ置台	置台	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
76	機械設備	貯蔵設備	付着ウラン回収容器置台	置台	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
77	機械設備	貯蔵設備	廃品充填シリンダ置台	置台	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
78	機械設備	貯蔵設備	中間製品容器置台	置台	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
79	容器	貯蔵設備	原料シリンダ	胴体	UF ₆ 腐食、大気腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
				バルブ/プラグ		
80	容器	貯蔵設備	廃品シリンダ	胴体	UF ₆ 腐食、大気腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
				バルブ/プラグ		

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
72	配管・弁	2号均質・ブレンド設備	2号主要配管(弁含む)	均質槽配管カバー内配管	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、減肉	日常保全(巡視) 運転状態(圧力)監視 定期保全 (1回/1年:高圧ガス保安法の対象箇所のみ配管の肉厚測定および弁の気密試験・作動確認) (1回/20年:外観点検)	現状保全の継続
				配管溶接部	UF ₆ 腐食(その他)、腐食		現状保全の継続
				配管フランジ	UF ₆ 腐食(その他)、腐食		現状保全の継続
				配管曲管部	UF ₆ 腐食(その他)、腐食		現状保全の継続
				均質槽配管カバー内弁	UF ₆ 腐食(その他)、腐食		現状保全の継続
				弁・溶接部	UF ₆ 腐食(その他)、腐食		現状保全の継続
				弁・フランジ	UF ₆ 腐食(その他)、腐食		現状保全の継続
1号均質・ブレンド設備	1号主要配管(弁含む)	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続		
73	インターロック	均質・ブレンド設備	配管温度異常高による電気ヒータ加熱停止のインターロック	1号均質・ブレンド設備	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)
				2号均質・ブレンド設備	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	日常保全(巡視)
74	機械設備	貯蔵設備	原料シリンダ置台(充填)	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/20年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
75	機械設備	貯蔵設備	製品シリンダ置台(充填)	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/20年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
76	機械設備	貯蔵設備	付着ウラン回収容器置台	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/20年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
77	機械設備	貯蔵設備	廃品シリンダ置台(充填)	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/20年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (20年/外観点検(寸法測定含む))	現状保全の継続
78	機械設備	貯蔵設備	中間製品容器置台	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/20年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
79	容器	貯蔵設備	原料シリンダ(ANSI又はISO規格48Y)	胴体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続
				バルブ	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続
				プラグ	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続
80	容器	貯蔵設備	廃品シリンダ(ANSI又はISO規格48Y)	胴体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検、肉厚測定)	現状保全の継続
				バルブ	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続
				プラグ	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
81	容器	貯蔵設備	製品シリンダ	胴体	UF ₆ 腐食、大気腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
				バルブ/プラグ		
82	機械設備	搬送設備	天井走行クレーン	ガーダ	腐食 亀裂・変形（繰返し荷重） 磨耗	現状保全（外観点検、各部動作、荷重試験、外観/動作確認）妥当性確認
				レール		
				ワイヤーロープ等		
83	インターロック	搬送設備	吊上げ高さ制限インターロック	制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、リミットスイッチ等	構成部品の劣化	現状保全（作動検査）妥当性確認
84	インターロック	搬送設備	停電時保持インターロック	制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、リミットスイッチ等	構成部品の劣化	現状保全（作動検査）妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
81	容器	貯蔵設備	製品シリンダ(ANSI又はISO規格30B)	胴体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続
				バルブ	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続
				プラグ	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続
82	機械設備	搬送設備	ウラン貯蔵建屋天井走行クレーン (A、B、C、D、E、G、H、I、J、K、L、M、N、O、P) (1号均質室天井走行クレーン) (2号発回均質室天井走行クレーン)	ホイスト	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、グリス劣化	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/1年:自主検査、分解点検、消耗品交換、ブレーキ廻り清掃) (1回/2年:性能検査)	現状保全の継続
				減速機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/1年:自主検査、分解点検、消耗品交換) (1回/2年:性能検査)	現状保全の継続
				フック	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/1年:自主検査、PT検査) (1回/2年:性能検査)	現状保全の継続
				ワイヤーロープ	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/1年:自主検査、外観点検) (1回/2年:性能検査)	現状保全の継続
				ガーダ	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/1年:自主検査、外観点検) (1回/2年:性能検査)	現状保全の継続
				サドル	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/1年:自主検査、外観点検) (1回/2年:性能検査)	現状保全の継続
83	インターロック	搬送設備	吊上げ高さ制限インターロック	制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、リミットスイッチ等	構成部品の劣化	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/1年:作動試験) (1回/3年:消耗品交換)	現状保全の継続
				制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、リミットスイッチ等	構成部品の劣化	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/1年:作動試験) (1回/3年:消耗品交換)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
85	機械設備	搬送設備	シリンダ搬出入台車	車軸	磨耗	現状保全（部品交換、絶縁抵抗測定、外観/動作確認、日常巡視点検）妥当性確認
				レール等	腐食	
86	機械設備	搬送設備	シリンダ搬送台車	車軸	磨耗	現状保全（部品交換、絶縁抵抗測定、外観/動作確認、日常巡視点検）妥当性確認
				レール等	腐食	
87	空調設備	気体廃棄設備	排気フィルタユニット	筐体	腐食	現状保全（差圧確認、日常巡視点検）妥当性確認
				フィルタ	腐食（HF）	現状保全（フィルタ交換、日常巡視点検）妥当性確認
				差圧計	経年劣化	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
85	機械設備	搬送設備	シリンダ搬出入台車	車軸	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/1年:作動試験) (1回/3年:消耗品交換)	現状保全の継続
				車輪	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/1年:作動試験) (1回/3年:消耗品交換)	現状保全の継続
				車体	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/1年:作動試験) (1回/3年:消耗品交換)	現状保全の継続
				シリンダ置台	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				レール	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				バッテリー	劣化	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/1年:作動試験)	現状保全の継続
				操作盤内部	リミットスイッチ劣化、リレー劣化、ヒューズ劣化、センサ劣化	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/3年:消耗品交換)	現状保全の継続
86	機械設備	搬送設備	シリンダ搬送台車 (A、B、C、D、E)	車軸	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/1年:作動試験) (1回/3年:消耗品交換)	現状保全の継続
				車輪	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/1年:作動試験) (1回/3年:消耗品交換)	現状保全の継続
				車体	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/1年:作動試験) (1回/3年:消耗品交換)	現状保全の継続
				シリンダ置台	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				レール	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				バッテリー	劣化	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/1年:作動試験)	現状保全の継続
				操作盤内部	リミットスイッチ劣化、リレー劣化、ヒューズ劣化、センサ劣化	日常保全(月例点検) 定期保全 (1回/3年:消耗品交換)	現状保全の継続
87	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1号発生回収系排気フィルタユニット 1号均質室系排気フィルタユニット 1号中間室系排気フィルタユニット 1号発生回収系選気フィルタユニット 1号均質室系選気フィルタユニット 2号発回均質室系排気フィルタユニット	筐体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/30年:内部確認)	現状保全の継続
				フィルタ	腐食(HF)(その他)、目詰まり(その他)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:差圧確認) 状態監視保全(基準値を超えた都度、プレフィルタ・ヘパフィルタ交換)	現状保全の継続
				差圧計	指針動作部の劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:ヘパフィルタ差圧計定期点検) (1回/3年:プレフィルタ差圧計定期点検)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
88	空調設備	気体廃棄設備	排風機	筐体	ケーシング等腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				羽根車、主軸、モータ等	駆動部磨耗、モータ絶縁劣化	
				差圧計	経年劣化	
89	空調設備	気体廃棄設備	負圧維持インターロック（予備機起動）	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、等	構成部品の経年劣化	現状保全（作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
90	空調設備	気体廃棄設備	負圧維持インターロック（運転・停止制限）	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、等	構成部品の経年劣化	現状保全（作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
91	空調設備	気体廃棄設備	主要排気ダクト	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
88	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1号中間室系排風機 1号発生回収室系排風機 1号均質室系排風機 2号発回均質棟系排風機	本体	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				羽根車	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検、振動測定) (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/3年:分解点検、消耗品交換) (1回/12年:コイル巻き直し)	現状保全の継続
				差圧計	指針動作部の劣化	日常保全(巡視)	現状保全の継続
89	インターロック	気体廃棄物の廃棄設備	負圧維持インターロック（予備機起動）	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:定期点検(動作))	現状保全の継続
90	インターロック	気体廃棄物の廃棄設備	負圧維持インターロック（運転・停止制限）	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:定期点検(動作))	現状保全の継続
91	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1号排気ダクト(ダンパ含む) 2号排気ダクト(ダンパ含む)	本体(ダンパ含む)	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)	負圧監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:ファイバースコープ等による内部点検、外観点検)	現状保全の継続
				本体(ダンパ含む)	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)	負圧監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:ファイバースコープ等による内部点検、外観点検)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
92	空調設備	気体廃棄設備	還気送風機	筐体	ケーシング等腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				羽根車、主軸、モータ等	駆動部磨耗、モータ絶縁劣化	
				差圧計	経年劣化	
93	空調設備	気体廃棄設備	主要還気ダクト	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
94	空調設備	気体廃棄設備	局所排気装置	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
				H F 吸着器	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価	
92	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1号発生回収系還気送風機 1号均質室系還気送風機	本体	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続	
				羽根車	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続	
				主軸	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続	
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検、振動測定) (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/4年:分解点検、消耗品交換) (1回/12年:コイル巻き直し)	現状保全の継続	
				差圧計	指針動作部の劣化	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
93	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1号還気ダクト(ダンパ含む)	本体(ダンパ含む)	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)	負圧監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:ファイバースコープ等による内部点検、外観点検)	現状保全の継続	
94	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1号局所排気装置	筐体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/30年:内部確認)	現状保全の継続	
				HF吸着器	腐食、Al ₂ O ₃ 性能劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/30年:内部確認)	現状保全の継続	
				フィルタ	腐食(HF)、目詰まり(その他)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:差圧確認) 状態監視保全(基準値を超えた都度、プレフィルタ・ヘパフィルタ交換)	現状保全の継続	
				筐体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/30年:内部確認)	現状保全の継続	
				2号局所排気装置	HF吸着器	腐食、Al ₂ O ₃ 性能劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/30年:内部確認)	現状保全の継続
					フィルタ	腐食(HF)、目詰まり	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:差圧確認) 状態監視保全(基準値を超えた都度、プレフィルタ・ヘパフィルタ交換)	現状保全の継続

前回評価結果

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
95	空調設備	気体廃棄設備	局所排気装置フィルタユニット	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
				フィルタ	腐食（HF）、目詰まり	現状保全（フィルタ交換、日常巡視点検）妥当性確認
				差圧計	経年劣化	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
95	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1号局所排気フィルタユニット	筐体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/30年:内部確認)	現状保全の継続
				フィルタ	腐食(HF)、目詰まり(その他)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:差圧確認) 状態監視保全(基準値を超えた都度、プレフィルタ・ヘパフィルタ交換)	現状保全の継続
				差圧計	指針動作部の劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:ヘパフィルタ差圧計定期点検) (1回/3年:プレフィルタ差圧計定期点検)	現状保全の継続
			2号局所排気フィルタユニット	筐体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/30年:内部確認)	現状保全の継続
				フィルタ	腐食(HF)、目詰まり	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:差圧確認) 状態監視保全(基準値を超えた都度、プレフィルタ・ヘパフィルタ交換)	現状保全の継続
				差圧計	指針動作部の劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:ヘパフィルタ差圧計定期点検) (1回/3年:プレフィルタ差圧計定期点検)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
96	空調設備	気体廃棄設備	局所排風機	筐体	ケーシング等腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				羽根車、主軸、モータ等	駆動部磨耗、モータ絶縁劣化	
				差圧計	経年劣化	
97	空調設備	気体廃棄設備	主要局所排気ダクト	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
96	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1号局所排風機	本体	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				羽根車	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	
				主軸	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検、振動測定) (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/3年:分解点検、消耗品交換) (1回/12年:コイル巻き直し)	
				差圧計	指針動作部の劣化	日常保全(巡視)	
				本体	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	
			2号局所排風機	羽根車	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	
				主軸	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検、振動測定) (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/3年:分解点検、消耗品交換) (1回/12年:コイル巻き直し)	
				差圧計	指針動作部の劣化	日常保全(巡視)	
				1号局所排気ダクト(ダンパ含む)	本体(ダンパ含む) 腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)	負圧監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:ファイバースコープ等による内部点検、外観点検)	
				2号局所排気ダクト(ダンパ含む)	本体(ダンパ含む) 腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)	負圧監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:ファイバースコープ等による内部点検、外観点検)	

前回評価結果

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
98	槽・塔	液体廃棄設備	洗缶廃水貯槽	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
99	槽・塔	液体廃棄設備	凝集槽	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
100	インターロック	液体廃棄設備	凝集槽液面異常高による受入れ停止のインターロック	検出器、リレー、制御電源、盤内配線等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
101	機械設備	液体廃棄設備	管理廃水処理脱水機	筐体	腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
102	槽・塔	液体廃棄設備	脱ろろ液タンク	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
103	インターロック	液体廃棄設備	脱ろろ液タンク液面異常高による受入れ停止のインターロック	検出器、リレー、制御電源、盤内配線等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
104	槽・塔	液体廃棄設備	除染廃水ビット	筐体	腐食	現状保全（漏えい検査、日常巡視点検）妥当性確認
105	槽・塔	液体廃棄設備	分析廃水ビット	筐体	腐食	現状保全（漏えい検査、清掃、日常巡視点検）妥当性確認
106	槽・塔	液体廃棄設備	第1廃水調整ビット	筐体	腐食	現状保全（漏えい検査、清掃、日常巡視点検）妥当性確認
107	インターロック	液体廃棄設備	液面異常警報	検出器、リレー、制御電源、盤内配線等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
98	槽・塔	液体廃棄設備	洗缶廃水貯槽	本体	腐食、ひび割れ(ゴムライニング)(劣化)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検、内部清掃、消耗品交換、漏えい確認(ガスケット等の消耗品交換含む))	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
99	槽・塔	液体廃棄設備	凝集槽	本体	腐食、ひび割れ(ゴムライニング)(劣化)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検、内部清掃、消耗品交換、漏えい確認)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
100	インターロック	液体廃棄設備	凝集槽液面異常高による受入れ停止のインターロック	検出器、リレー、制御電源、盤内配線等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
101	機械設備	液体廃棄設備	管理廃水処理脱水機	ケーシング	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続
				架台	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:分解点検、消耗品交換、絶縁抵抗測定)	現状保全の継続
				主軸	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	定期保全 (1回/1年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
102	槽・塔	液体廃棄設備	脱ろろ液タンク	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
103	インターロック	液体廃棄設備	脱ろろ液タンク液面異常高による受入れ停止のインターロック	検出器、リレー、制御電源、盤内配線等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
104	槽・塔	液体廃棄設備	除染廃水ビット	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
105	槽・塔	液体廃棄設備	分析廃水ビット	本体	腐食、剥がれ(FRP)(劣化)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/2年:外観点検、内部清掃、漏えい確認) FRP補修(必要時)	現状保全の継続
106	槽・塔	液体廃棄設備	第1廃水調整ビット	本体	腐食、剥がれ(FRP)(劣化)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/2年:外観点検、内部清掃、漏えい確認) FRP補修(必要時)	現状保全の継続
107	インターロック	液体廃棄設備	液面異常警報	【圧力計】 検出器、リレー、制御電源、盤内配線等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
				【電極棒】 検出器、リレー、制御電源、盤内配線等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗測定、外観点検) 点検結果から検出器交換を判断	現状保全の継続

前回評価結果

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
108	槽・塔	液体廃棄設備	第1反応タンク	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
109	槽・塔	液体廃棄設備	第2反応タンク	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
110	槽・塔	液体廃棄設備	凝集沈殿槽	筐体	腐食	現状保全（清掃、日常巡視点検）妥当性確認
111	槽・塔	液体廃棄設備	汚泥タンク	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
112	インターロック	液体廃棄設備	汚泥タンク液面異常高による受入れ停止のインターロック	検出器、リレー、制御電源、盤内配線等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
113	槽・塔	液体廃棄設備	凝沈処理水ビット	筐体	腐食	現状保全（漏えい検査、清掃、日常巡視点検）妥当性確認
114	槽・塔	液体廃棄設備	砂ろ過塔	筐体	腐食	現状保全（部品交換、日常巡視点検）妥当性確認
115	槽・塔	液体廃棄設備	管理廃水処理第1活性炭吸着塔	筐体	腐食	現状保全（部品交換、日常巡視点検）妥当性確認
				活性炭	性能低下	
116	槽・塔	液体廃棄設備	マイクロフィルタ	筐体	腐食 性能低下	現状保全（部品交換、日常巡視点検）妥当性確認
117	槽・塔	液体廃棄設備	ろ過器循環タンク	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
118	槽・塔	液体廃棄設備	ろ過器	筐体	硬化	現状保全（部品交換、日常巡視点検）妥当性確認
119	槽・塔	液体廃棄設備	ろ過器逆洗タンク	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
120	槽・塔	液体廃棄設備	ろ過水pH調整タンク	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
121	槽・塔	液体廃棄設備	ろ過器処理水タンク	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
108	槽・塔	液体廃棄設備	第1反応タンク	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検、漏洩試験)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	
109	槽・塔	液体廃棄設備	第2反応タンク	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検・漏洩試験)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	
110	槽・塔	液体廃棄設備	凝集沈殿槽	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:漏えい確認)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	
111	槽・塔	液体廃棄設備	汚泥タンク	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:漏えい確認)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	
112	インターロック	液体廃棄設備	汚泥タンク液面異常高による受入れ停止のインターロック	検出器、リレー、制御電源、盤内配線等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) 日常保全(巡視) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
113	槽・塔	液体廃棄設備	凝沈処理水ビット	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続
114	槽・塔	液体廃棄設備	砂ろ過塔	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:分解点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	
115	槽・塔	液体廃棄設備	管理廃水処理第1活性炭吸着塔	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:分解点検)	現状保全の継続
				活性炭	性能低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:活性炭交換)	
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	
116	槽・塔	液体廃棄設備	マイクロフィルタ	本体	腐食 性能低下	日常保全(巡視) 定期保全 (10年/分解点検)	現状保全の継続
117	槽・塔	液体廃棄設備	ろ過器循環タンク	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:漏えい確認)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	
118	槽・塔	液体廃棄設備	ろ過器	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:分解点検)	現状保全の継続
119	槽・塔	液体廃棄設備	ろ過器逆洗タンク	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:漏えい確認)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	
120	槽・塔	液体廃棄設備	ろ過水pH調整タンク	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	
121	槽・塔	液体廃棄設備	ろ過器処理水タンク	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	

前回評価結果

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
122	槽・塔	液体廃棄設備	弗素吸着塔	筐体	腐食	現状保全（部品交換、日常巡視点検）妥当性確認
				樹脂	性能低下	
123	槽・塔	液体廃棄設備	ウラン吸着塔	筐体	腐食	現状保全（部品交換、日常巡視点検）妥当性確認
				樹脂	性能低下	
124	槽・塔	液体廃棄設備	イオン交換樹脂塔	筐体	腐食	現状保全（部品交換、日常巡視点検）妥当性確認
				樹脂	性能低下	
125	槽・塔	液体廃棄設備	中和タンク	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
126	槽・塔	液体廃棄設備	第1処理水ビット	筐体	腐食	現状保全（漏えい検査、清掃、日常巡視点検）妥当性確認
127	槽・塔	液体廃棄設備	再生廃液ビット	筐体	腐食	現状保全（漏えい検査、清掃、日常巡視点検）妥当性確認
128	槽・塔	液体廃棄設備	中間室廃水ビット（A～D）	筐体	腐食	現状保全（漏えい検査、日常巡視点検）妥当性確認
129	槽・塔	液体廃棄設備	発生回収室廃水ビット	筐体	腐食	現状保全（漏えい検査、日常巡視点検）妥当性確認
130	槽・塔	液体廃棄設備	手洗廃水ビット	筐体	腐食	現状保全（漏えい検査、日常巡視点検）妥当性確認
				水中ポンプ	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
131	槽・塔	液体廃棄設備	第2廃水調整ビット	筐体	腐食	現状保全（漏えい検査、清掃、日常巡視点検）妥当性確認
132	槽・塔	液体廃棄設備	管理廃水処理第2活性炭吸着塔	筐体	腐食	現状保全（漏えい検査、交換、日常巡視点検）妥当性確認
				活性炭	性能低下	
133	槽・塔	液体廃棄設備	第2処理水ビット	筐体	腐食	現状保全（漏えい検査、清掃、日常巡視点検）妥当性確認

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
122	槽・塔	液体廃棄設備	弗素吸着塔	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検)	現状保全の継続
				樹脂	性能低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:樹脂交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
123	槽・塔	液体廃棄設備	ウラン吸着塔	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/8年:外観点検)	現状保全の継続
				樹脂	性能低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/8年:樹脂交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
124	槽・塔	液体廃棄設備	イオン交換樹脂塔	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続
				樹脂	性能低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:樹脂交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
125	槽・塔	液体廃棄設備	中和タンク	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
126	槽・塔	液体廃棄設備	第1処理水ビット	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:外観点検)	現状保全の継続
127	槽・塔	液体廃棄設備	再生廃液ビット	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/2年:外観点検)	現状保全の継続
128	槽・塔	液体廃棄設備	1号中間室廃水ビット(A～D)	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
129	槽・塔	液体廃棄設備	発生回収室廃水ビット	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
130	槽・塔	液体廃棄設備	手洗廃水ビット	本体	腐食、劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検、 内部清掃、漏えい確認)	現状保全の継続
				水中ポンプ	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:分解点検、内部 清掃)	現状保全の継続
131	槽・塔	液体廃棄設備	第2廃水調整ビット	本体	腐食、劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検、 内部清掃、漏えい確認)	現状保全の継続
132	槽・塔	液体廃棄設備	管理廃水処理第2活性炭吸着塔	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:分解点検)	現状保全の継続
				活性炭	性能低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:活性炭交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
133	槽・塔	液体廃棄設備	第2処理水ビット	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:外観点検)	現状保全の継続

前回評価結果

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
134	ポンプ	液体廃棄設備	凝集槽送水ポンプ	筐体	硬化	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				主軸等	駆動部磨耗	
135	ポンプ	液体廃棄設備	脱水機凝集液ポンプ	筐体	駆動部磨耗	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				主軸等		
136	ポンプ	液体廃棄設備	脱水ろ液ポンプ	筐体	腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				主軸等	駆動部磨耗	
137	ポンプ	液体廃棄設備	除染廃水ポンプ	筐体	硬化	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				主軸等	駆動部磨耗	

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
134	ポンプ	液体廃棄設備	凝集槽送水ポンプ	ポンプ本体	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換、絶縁抵抗測定)	現状保全の継続
				ダイヤフラム	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:ダイヤフラム本体交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
135	ポンプ	液体廃棄設備	脱水機凝集液ポンプ	ポンプ本体	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換、絶縁抵抗測定)	現状保全の継続
				ダイヤフラム	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:ダイヤフラム本体交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
136	ポンプ	液体廃棄設備	脱水ろ液ポンプ	ポンプ本体	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換、絶縁抵抗測定)	現状保全の継続
				ダイヤフラム	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:ダイヤフラム本体交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
137	ポンプ	液体廃棄設備	除染廃水ポンプ	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
138	ポンプ	液体廃棄設備	分析廃水ポンプ	筐体	硬化	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				主軸等	駆動部磨耗	
139	ポンプ	液体廃棄設備	第1反応タンク送水ポンプ	筐体	硬化	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				主軸等	駆動部磨耗	
140	ポンプ	液体廃棄設備	管理廃水処理脱水機送泥ポンプ	筐体	腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				主軸等	駆動部磨耗	

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
138	ポンプ	液体廃棄設備	分析廃水ポンプ	ポンプ本体	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/2年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/2年:分解点検、消耗品交換、絶縁抵抗測定)	現状保全の継続
				ダイヤフラム	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/2年:ダイヤフラム本体交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/2年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
139	ポンプ	液体廃棄設備	第1反応タンク送水ポンプ	ポンプ本体	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換、絶縁抵抗測定)	現状保全の継続
				ダイヤフラム	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:ダイヤフラム本体交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
140	ポンプ	液体廃棄設備	管理廃水処理脱水機送泥ポンプ	ポンプ本体	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/2年:清掃) (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検・消耗品交換、絶縁抵抗測定)	現状保全の継続
				ダイヤフラム	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:ダイヤフラム本体交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続

前回評価結果

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
141	ポンプ	液体廃棄設備	砂ろ過塔送水ポンプ	筐体	腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				主軸等	駆動部磨耗	
142	ポンプ	液体廃棄設備	ろ過器送水ポンプ	筐体	腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				主軸等	駆動部磨耗	
143	ポンプ	液体廃棄設備	ろ過器逆洗ポンプ	筐体	腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				主軸等	駆動部磨耗	
144	ポンプ	液体廃棄設備	弗素吸着塔送水ポンプ	筐体	硬化	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				主軸等	駆動部磨耗	

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
141	ポンプ	液体廃棄設備	砂ろ過塔送水ポンプ	ポンプ本体	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換、絶縁抵抗測定)	現状保全の継続
				ダイヤフラム	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:ダイヤフラム本体交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
142	ポンプ	液体廃棄設備	ろ過器送水ポンプ	ポンプ本体	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換、絶縁抵抗測定)	現状保全の継続
				主軸	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
143	ポンプ	液体廃棄設備	ろ過器逆洗ポンプ	ポンプ本体	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:分解点検、消耗品交換、絶縁抵抗測定)	現状保全の継続
				主軸	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
144	ポンプ	液体廃棄設備	弗素吸着塔送水ポンプ	ポンプ本体	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換、絶縁抵抗測定)	現状保全の継続
				ダイヤフラム	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:ダイヤフラム本体交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
145	ポンプ	液体廃棄設備	第1処理水ポンプ	筐体	腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				主軸等	駆動部磨耗	
146	ポンプ	液体廃棄設備	再生廃液ポンプ	筐体	硬化	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				主軸等	駆動部磨耗	
147	ポンプ	液体廃棄設備	吸着塔送水ポンプ	筐体	腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				主軸等	駆動部磨耗	
148	ポンプ	液体廃棄設備	第2処理水ポンプ	筐体	腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				主軸等	駆動部磨耗	

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
145	ポンプ	液体廃棄設備	第1処理水ポンプ	ポンプ本体	腐食、 摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗 、 絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換、 絶縁抵抗測定)	現状保全の継続
				主軸	腐食、 摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
146	ポンプ	液体廃棄設備	再生廃液ポンプ	ポンプ本体	腐食、 摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗 、 絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換、 絶縁抵抗測定)	現状保全の継続
				ダイヤモンド	腐食、 摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:ダイヤモンド本体交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、 摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続				
147	ポンプ	液体廃棄設備	吸着塔送水ポンプ	ポンプ本体	腐食、 摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗 、 絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換、 絶縁抵抗測定)	現状保全の継続
				ダイヤモンド	腐食、 摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:ダイヤモンド本体交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、 摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続				
148	ポンプ	液体廃棄設備	第2処理水ポンプ	ポンプ本体	腐食、 摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、 摩耗 、 絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換、 絶縁抵抗測定)	現状保全の継続
				主軸	腐食、 摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
149	配管・弁	液体廃棄設備	主要放射性廃水配管 (弁を含む)	筐体 主軸等	腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
150	槽・塔	液体廃棄設備	堰	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
151	槽・塔	液体廃棄設備	ホットランドリー室廃水タンク	筐体	腐食	未使用につき劣化なし
152	ポンプ	液体廃棄設備	ホットランドリー室廃水送水ポンプ	筐体 主軸等	腐食 駆動部磨耗	未使用につき劣化なし
153	槽・塔	液体廃棄設備	発回均質室廃水ビット（1～4）	筐体 水中ポンプ	腐食 腐食	現状保全（漏えい検査、日常巡視点検）妥当性確認 現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
154	機械設備	貯蔵設備	IF ₅ ポンベ置台	置台	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
155	その他設備	放射線管理施設	排気用モニタ	サンプリング部 検出器	腐食 特性変化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
156	その他設備	放射線管理施設	排気用HFモニタ	サンプリング部 検出器	腐食 電極劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
157	その他設備	放射線管理施設	発生回収室換気用モニタ	サンプリング部 検出器	腐食 電極劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
158	その他設備	放射線管理施設	均質室換気用モニタ	サンプリング部 検出器	腐食 電極劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
159	その他設備	放射線管理施設	エアスニッフア	ヘッド本体部	腐食	現状保全（外観点検）妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
149	配管・弁	液体廃棄設備	主要放射性廃水配管 (弁を含む) (高放射性廃水系、液体廃棄物廃棄設備)	主要放射性廃水配管溶接部 主要放射性廃水配管フランジ 主要放射性廃水配管曲管部 弁・溶接部 弁・フランジ	腐食 腐食、シール等部品摩耗 腐食 腐食 腐食、シール等部品摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検(配管内部を含む)、消耗品交換)	現状保全の継続 現状保全の継続 現状保全の継続 現状保全の継続 現状保全の継続
150	槽・塔	液体廃棄設備	堰	本体	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
151	槽・塔	液体廃棄設備	ホットランドリー室廃水タンク	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
152	ポンプ	液体廃棄設備	ホットランドリー室廃水送水ポンプ	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
153	槽・塔	液体廃棄設備	発回均質室廃水ビット（1～4）	本体 水中ポンプ	腐食 腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検、内部清掃) 日常保全(巡視)	現状保全の継続 現状保全の継続
154	機械設備	貯蔵設備	IF ₅ ポンベ置台	置台 基礎ボルト	腐食 腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検) 日常保全(巡視)	現状保全の継続 現状保全の継続
155	その他設備	放射線管理施設	排気用モニタ	- (※2)	- (※3)	定期保全 (1回/1年:定期点検) (1回/15年:本体交換)	現状保全の継続
156	その他設備	放射線管理施設	排気用HFモニタ	- (※2)	- (※3)	定期保全 (月例、3ヵ月、6ヵ月、年次点検) (1回/1年:電極交換)	現状保全の継続
157	その他設備	放射線管理施設	発生回収室換気用モニタ	- (※2)	- (※3)	定期保全 (月例、3ヵ月、6ヵ月、年次点検) (1回/1年:電極交換)	現状保全の継続
158	その他設備	放射線管理施設	均質室換気用モニタ	- (※2)	- (※3)	定期保全 (月例、3ヵ月、6ヵ月、年次点検) (1回/1年:電極交換)	現状保全の継続
159	その他設備	放射線管理施設	エアスニッフア	ヘッド本体部	腐食	定期保全 (1回/1年定期点検(外観、流量確認))	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
160	電気設備	非常用設備	ディーゼル発電機	ディーゼル機関	磨耗	現状保全（分解点検、作動検査）妥当性確認
				(噴燃弁・ポンプ、吸排気弁、シリンダヘッド、冷却器等)	腐食	
				発電機		現状保全（部品交換、絶縁抵抗測定、作動検査）妥当性確認
(コイル、変流器、変圧器等)	絶縁劣化					
161	電気設備	非常用設備	無停電電源装置	インバータ	絶縁劣化	現状保全（機能試験、消耗部品交換、絶縁抵抗測定、作動検査）妥当性確認
				変圧器		

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
160	電気設備	非常用設備	ディーゼル発電機（機関）	ディーゼル機関（噴燃弁・ポンプ）	摩耗、腐食	日常保全(巡視) 定期保全 ポンプ類(1回/6年:分解清掃、PT検査) 噴燃弁(1回/6年:交換) 噴燃弁(1回/1年:分解清掃、外観点検)	現状保全の継続
				ディーゼル機関（給排気弁）	摩耗、腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解清掃、PT検査)	現状保全の継続
				ディーゼル機関（シリンダヘッド）	摩耗、腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:分解清掃、PT検査)	現状保全の継続
				ディーゼル機関（冷却器）	摩耗、腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続
			非常用ディーゼル発電機（発電機側）	三相同期発電機	腐食、絶縁低下、メタル剥離（劣化）、片当たり（摩耗）	定期保全 (1回/1年:外部点検、清掃、絶縁抵抗測定) (1回/6年:内部点検、PT検査) 日常保全(巡視)	現状保全の継続
				励磁機	腐食、絶縁低下	定期保全 (1回/1年:外部点検、清掃、絶縁抵抗測定) 日常保全(巡視)	現状保全の継続
				本体	腐食、絶縁低下	定期保全 (1回/1年:外部点検、清掃、絶縁抵抗測定) 日常保全(巡視)	現状保全の継続
				制御盤	腐食、絶縁低下	定期保全 (1回/1年:外部点検、清掃、絶縁抵抗測定) (1回/15年:電装品交換) 日常保全(巡視)	現状保全の継続
			1号無停電電源装置	整流器、インバータ	腐食、部品劣化、基板劣化	定期保全 (1回/3年:外観点検、機能試験、絶縁抵抗測定、ファン交換)	現状保全の継続
				計器用変圧器	腐食、絶縁低下	(1回/6年:用品交換（コンデンサ等）) 日常保全(巡視)	現状保全の継続
				筐体	腐食	定期保全 (1回/3年:外観点検) 日常保全(巡視)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				2号無停電電源装置	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)

前回評価結果

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
162	電気設備	非常用設備	直流電源設備（蓄電池盤）	蓄電池	絶縁劣化	現状保全（機能試験、消耗部品交換、絶縁抵抗測定、作動検査）妥当性確認
				変圧器		
163	電気設備	非常用設備	直流電源設備（充電器盤）	整流器	絶縁劣化	現状保全（機能試験、消耗部品交換、絶縁抵抗測定、作動検査）妥当性確認
				変圧器		
164	その他設備	非常用設備	消火器	—	消火剤劣化	現状保全（外観/作動）妥当性確認

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価	
162	電気設備	非常用設備	1号無停電電源装置蓄電池盤	蓄電池	腐食、内部抵抗増加（劣化）	定期保全 (1回/3年:外観点検、抵抗測定) 日常保全(巡視)	現状保全の継続	
				筐体	腐食	定期保全 (1回/3年:外観点検) 日常保全(巡視)	現状保全の継続	
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
163	電気設備	非常用設備	1号直流110V蓄電池盤	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続	
				1号直流110V充電器盤	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				2号直流110V充電器盤	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
164	その他設備	非常用設備	消火器	部品(消火剤)	劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続	

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
165	その他設備	非常用設備	屋外消火栓	ポンプ	腐食	現状保全（外観/作動）妥当性確認
				給水管	磨耗	

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
165	その他設備	非常用設備	屋外消火栓	ホース	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検) (1回/1年:総合点検)	現状保全の継続
				ホース格納箱	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検) (1回/1年:総合点検)	現状保全の継続
				給水管	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検) (1回/1年:総合点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視) 定期保全(1回/6ヶ月:外観点検)	現状保全の継続
	その他設備	消火設備	常用消火ポンプ	ポンプ本体	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検)	現状保全の継続
				主軸	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検)	現状保全の継続
	その他設備	消火設備	非常用消火ポンプ	基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検)	現状保全の継続
				ポンプ本体	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検)	現状保全の継続
				主軸	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検)	現状保全の継続
				ディーゼルエンジン	部品劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検)	現状保全の継続
	その他設備	消火設備	加圧ポンプ	基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検)	現状保全の継続
				ポンプ本体	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検)	現状保全の継続
				主軸	腐食、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検)	現状保全の継続

前回評価結果

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
166	その他設備	非常用設備	感知器	素子、リレー等	部品劣化	現状保全（部品交換、作動検査） 妥当性確認
167	その他設備	検査設備	質量分析装置	筐体	腐食	現状保全（部品交換）妥当性確認
				構成部品	部品劣化	
168	その他設備	検査設備	発光分光装置	—	—	現状保全（外観・分解点検、動作確認）妥当性確認
169	その他設備	検査設備	高周波プラズマ分光装置	—	—	現状保全（部品交換）妥当性確認
170	その他設備	検査設備	赤外分光分析装置	—	—	現状保全（部品交換）妥当性確認
171	その他設備	検査設備	スクラバー付きドラフトチェンバ	筐体	腐食	現状保全（部品交換）妥当性確認
172	その他設備	検査設備	カリフォルニア型フード	筐体	腐食	現状保全（部品交換）妥当性確認
173	その他設備	検査設備	サンプル保管戸棚	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
174	その他設備	検査設備	主要分析ダクト	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
175	その他設備	計量設備	秤量計	シリンダ支持部	シリンダ支持部腐食	現状保全（計器校正）妥当性確認
				計量器	計量器構成部品劣化	

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
166	その他設備	非常用設備	感知器	コンデンサ等部品 (ケーブル以外)	劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検) (1回/1年:外観点検、総合点検)	現状保全の継続
167	その他設備	検査設備	2号質量分析装置	本体 構成部品	腐食、部品摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/2年:部品交換、外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
168	その他設備	検査設備	発光分光装置	本体 構成部品	腐食、部品摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検、試料導入系分解洗浄) (1回/2年:部品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
169	その他設備	検査設備	高周波プラズマ分光装置	本体 構成部品	腐食、部品摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/2年:外観点検、内部洗浄、部品交換、性能検査)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
170	その他設備	検査設備	赤外分光分析装置	本体 構成部品	腐食、部品摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検、部品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
171	その他設備	検査設備	スクラバー付きドラフトチェンバ	本体 構成部品	腐食、部品摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検、フード面測確認) (1回/2年:部品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
172	その他設備	検査設備	カリフォルニア型フード	本体 構成部品	腐食、部品摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検、フード面測確認) (1回/2年:部品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
173	その他設備	検査設備	サンプル保管戸棚	—(※2)	—(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
174	その他設備	検査設備	主要分析ダクト	本体(ダンパ含む)	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)	負圧監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:ファイバースコープ等による内部点検、外観点検)	現状保全の継続
175	その他設備	計量設備	秤量計	シリンダ支持部 計量器	シリンダ支持部腐食 構成部品の劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗試験、外観点検、締付確認) (1回/10年:計器交換) 点検結果により据付ボルトを交換	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
176	その他設備	その他の主要な設備	洗缶架台	シリンダ支持部	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
177	その他設備	その他の主要な設備	除染ハウス	筐体 排気フード	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
178	空調設備	その他の主要な設備	除染排気処理装置	筐体 フィルタユニット HF吸着器	腐食 腐食（HF） 目詰まり 腐食 Al ₂ O ₃ 性能劣化	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認 現状保全（フィルタ交換、日常巡視点検）妥当性確認 現状保全（日常巡視点検）妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
176	その他設備	その他の主要な設備	洗缶架台	電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検、消耗品 交換、絶縁抵抗測定)	現状保全の継続
				歯車	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検、消耗品 交換)	現状保全の継続
				回転ローラー	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検、消耗品 交換)	現状保全の継続
				シリンダ支持部	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検、消耗品 交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
177	その他設備	その他の主要な設備	除染ハウス	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:外観点検)	現状保全の継続
				排気フード	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/3年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
178	空調設備	その他の主要な設備	除染排気処理装置	筐体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/30年:内部確認)	現状保全の継続
				フィルタユニット	腐食(HF)、目詰まり(その他)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:差圧確認) 状態監視保全(基準値を超えた 部度、プレフィルタ・ヘ パフィルタ交換)	現状保全の継続 現状保全の継続
				HF吸着器	腐食、Al ₂ O ₃ 性能劣化	定期保全 (1回/30年:内部確認)	現状保全の継続 現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続

前回評価結果

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
179	空調設備	その他の主要な設備	除染排風機	筐体	ケーシング等腐食	現状保全（分解点検、日常巡視点検）妥当性確認
				羽根車、主軸、モータ等	駆動部磨耗、モータ絶縁劣化	
				差圧計	経年劣化	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
180	空調設備	その他の主要な設備	主要除染ダクト	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
181	その他設備	その他の主要な設備	ドライクリーニング装置	洗濯ドラム	腐食	未使用につき劣化なし
182	その他設備	全般	基礎ボルト	全体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
183	その他設備	全般	基礎ボルト（ケミカルアンカ）	全体	樹脂劣化	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
184	その他設備	全般	架構	全体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
185	槽・塔	付着ウラン回収設備	IF ₇ ボンベ発生槽	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
					シール等部品劣化	
186	槽・塔	付着ウラン回収設備	IF ₇ 圧力調整槽	胴体	IF ₇ 腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
187	槽・塔	付着ウラン回収設備	混合ガスコールドトラップ	胴体	UF ₆ ・IF ₅ 腐食、保温材被覆部の腐食、熱応力疲労	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
				フィンチューブ	UF ₆ ・IF ₅ 腐食、熱応力疲労	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
179	空調設備	その他の主要な設備	除染排風機	本体	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/5年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				羽根車	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検、振動測定) (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/5年:分解点検、消耗品交換) (1回/12年:コイル巻き直し)	現状保全の継続
差圧計	指針動作部の劣化	日常保全(巡視)	現状保全の継続				
180	空調設備	その他の主要な設備	主要除染ダクト	本体(ダンパ含む)	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)	負圧監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:ファイバースコープ等による内部点検、外観点検)	現状保全の継続
181	その他設備	その他の主要な設備	ドライクリーニング装置	- (※2)	- (※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
182	その他設備	全般	基礎ボルト	基礎ボルト	各機器の基礎ボルトのことを示す。 なお、現状保全のうち定期保全については、代表として、No.24.2号一般バージコールドトラップおよびNo.77.廃品シリンダ置台(充填)に対して記載。	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年、20年:外観点検(寸法測定含む))	現状保全の継続
183	その他設備	全般	基礎ボルト(ケミカルアンカ)	基礎ボルト	基礎ボルトについては、影響を受けるのは基礎ボルト部の破損であることから、機種に係わらず、基礎ボルトコンクリート直上部の外観点検(寸法測定含む)を実施すればよいことから、No.182を代表として現状保全を実施する。	No.182参照	現状保全の継続
184	その他設備	全般	架構	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/20年:外観点検)	現状保全の継続
185	槽・塔	付着ウラン回収設備	IF ₇ ボンベ発生槽	本体	腐食、シール等部品摩耗、劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外部点検、内部点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
186	槽・塔	付着ウラン回収設備	IF ₇ 圧力調整槽	本体	IF ₇ 腐食(その他)	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/20年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
187	機械設備	付着ウラン回収設備	混合ガスコールドトラップ	胴本体	UF ₆ ・IF ₅ 腐食(その他)、保温材被覆部の腐食、熱応力疲労	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続
				伝熱管	UF ₆ ・IF ₅ 腐食(その他)、熱応力疲労	運転状態(圧力)監視	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

- ※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。
- ※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。
- ※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
188	インターロック	付着ウラン回収設備	混合ガスコールドトラップ	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
189	槽・塔	付着ウラン回収設備	UF ₆ 回収槽	筐体	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
					シール等部品劣化	
				熱交換器	腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
190	インターロック	付着ウラン回収設備	UF ₆ 回収槽付着ウラン回収容器圧力異常高又はUF ₆ 回収槽内温度異常高による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
191	インターロック	付着ウラン回収設備	UF ₆ 回収槽付着ウラン回収容器重量異常高による過充填防止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
192	ポンプ	付着ウラン回収設備	IF ₇ 循環コンプレッサ	胴体	UF ₆ ・IF ₇ 腐食	現状保全（定期部品交換、日常巡視点検）妥当性確認
				駆動部損傷		
193	インターロック	付着ウラン回収設備	IF ₇ 圧力調整槽入口圧力異常高によるIF ₇ 循環コンプレッサ停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
188	インターロック	付着ウラン回収設備	混合ガスコールドトラップ	【圧力計】 検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
				【温度計】 検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗測定、外観点検) 点検結果から検出器交換を判断	現状保全の継続
189	槽・塔	付着ウラン回収設備	回収系UF ₆ 回収槽	本体	腐食、シール等部品摩耗、劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検、内部点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				熱交換器	腐食	定期保全 (1回/5年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
190	インターロック	付着ウラン回収設備	UF ₆ 回収槽付着ウラン回収容器圧力異常高又はUF ₆ 回収槽内温度異常高による加熱停止のインターロック	【圧力計】 検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
				【温度計】 検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗測定、外観点検) 点検結果から検出器交換を判断	現状保全の継続
191	インターロック	付着ウラン回収設備	UF ₆ 回収槽付着ウラン回収容器重量異常高による過充填防止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗測定、外観点検、締付確認) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
192	ポンプ	付着ウラン回収設備	IF ₇ 循環コンプレッサ	ポンプ本体	UF ₆ ・IF ₇ 腐食(その他)、腐食、摩耗	運転状態(圧力)監視 状態監視保全(振動) 定期保全 (1回/1年:外観点検、カップリング交換) (1回/5年:消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	UF ₆ ・IF ₇ 腐食(その他)、腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	運転状態(圧力)監視 状態監視保全(振動) 定期保全 (1回/1年:絶縁抵抗測定、カップリング交換) (1回/5年:消耗品交換)	現状保全の継続
				主軸	UF ₆ ・IF ₇ 腐食(その他)、腐食、摩耗	運転状態(圧力)監視 状態監視保全(振動) 定期保全 (1回/5年:消耗品交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
193	インターロック	付着ウラン回収設備	IF ₇ 圧力調整槽入口圧力異常高によるIF ₇ 循環コンプレッサ停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ボジショナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

- ※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。
- ※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。
- ※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
194	槽・塔	付着ウラン回収設備	回収系ケミカルトラップ (NaF)	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全 (交換時漏えい検査、日常巡視点検) 妥当性確認
				NaFカートリッジ	シート部損耗 UF ₆ 腐食	現状保全 (外観点検、交換時漏えい検査) 妥当性確認
195	槽・塔	付着ウラン回収設備	回収系IF ₇ コールドトラップ	胴体	UF ₆ ・IF ₇ 腐食 保温材被覆部の腐食 熱応力疲労	現状保全 (日常巡視点検) 妥当性確認
				フィンチューブ	UF ₆ ・IF ₇ 腐食 熱応力疲労	現状保全 (日常巡視点検) 妥当性確認
196	インターロック	付着ウラン回収設備	回収系IF ₇ コールドトラップ 圧力異常高による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	現状保全 (計器校正/作動検査、日常巡視点検) 妥当性確認
197	槽・塔	付着ウラン回収設備	IF ₇ 回収系ポンベ回収槽	筐体	腐食 シール等部品劣化	現状保全 (日常巡視点検) 妥当性確認
198	インターロック	付着ウラン回収設備	IF ₇ 回収系ポンベ回収槽のIF ₇ ポンベ圧力異常高による圧力異常警報	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線等	構成部品の経年劣化	現状保全 (計器校正/作動検査、日常巡視点検) 妥当性確認
199	槽・塔	付着ウラン回収設備	排気系ケミカルトラップ (NaF)	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全 (交換時漏えい検査、日常巡視点検) 妥当性確認
				NaFカートリッジ	シート部損耗 UF ₆ 腐食	現状保全 (外観点検、交換時漏えい検査) 妥当性確認
200	槽・塔	付着ウラン回収設備	排気系ケミカルトラップ (Al ₂ O ₃)	胴体	—	現状保全 (日常巡視点検) 妥当性確認

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
194	槽・塔	付着ウラン回収設備	回収系ケミカルトラップ (NaF)	胴本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) 運転状態監視 定期保全 (1回/20年:肉厚測定)	現状保全の継続
				NaFカートリッジ (シート部)	UF ₆ 腐食(その他)、摩耗	運転状態(排気用モニタ)監視 検出器監視 (規定値超過・検出器変色時/NaF交換) 外観点検 (NaF交換の都度)	
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
195	機械設備	付着ウラン回収設備	回収系IF ₇ コールドトラップ	胴本体	UF ₆ ・IF ₇ 腐食(その他)、保温材被覆部の腐食、熱応力疲労	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続
				伝熱管	UF ₆ ・IF ₇ 腐食(その他)、熱応力疲労	運転状態(圧力)監視	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
196	インターロック	付着ウラン回収設備	回収系IF ₇ コールドトラップ 圧力異常高による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
197	槽・塔	付着ウラン回収設備	IF ₇ 回収系ポンベ回収槽	本体	腐食、シール等部品摩耗、劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/5年:外観点検・内部点検、消耗品交換)	現状保全の継続
198	インターロック	付着ウラン回収設備	IF ₇ 回収系ポンベ回収槽のIF ₇ ポンベ圧力異常高による圧力異常警報	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
199	槽・塔	付着ウラン回収設備	排気系ケミカルトラップ (NaF)	胴本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) 運転状態監視 定期保全 (1回/20年:肉厚測定)	現状保全の継続
				NaFカートリッジ (シート部)	UF ₆ 腐食(その他)、摩耗	運転状態(排気用モニタ)監視 検出器監視 (規定値超過・検出器変色時/NaF交換) 外観点検 (NaF交換の都度)	
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
200	槽・塔	付着ウラン回収設備	排気系ケミカルトラップ (Al ₂ O ₃)	胴本体	腐食	運転状態監視 定期保全 (1回/20年:肉厚測定) 検出器監視 (規定値超過・検出器変色時/Al ₂ O ₃ 交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

- ※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。
- ※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。
- ※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
201	槽・塔	付着ウラン回収設備	バージ系IF ₇ コールドトラップ	胴体	UF ₆ ・IF ₇ 腐食 保温材被覆部の腐食 熱応力疲労	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
				フィンチューブ	UF ₆ ・IF ₇ 腐食、熱応力疲労	
202	インターロック	付着ウラン回収設備	バージ系IF ₇ コールドトラップ圧力異常高による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジション等	構成部品の経年劣化	現状保全（計器校正/作動検査、日常巡視点検）妥当性確認
203	槽・塔	付着ウラン回収設備	バージ系ケミカルトラップ(NaF)	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全（交換時漏えい検査、日常巡視点検）妥当性確認
				NaFカートリッジ	シート部損耗、UF ₆ 腐食	
204	槽・塔	付着ウラン回収設備	バージ系ケミカルトラップ(Al ₂ O ₃)	胴体	—	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
205	槽・塔	付着ウラン回収設備	バージ系第2ケミカルトラップ(Al ₂ O ₃)	胴体	—	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
206	ポンプ	付着ウラン回収設備	バージ系プースタポンプ	胴体	UF ₆ 腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
207	配管・弁	付着ウラン回収設備	主要配管（弁を含む）	溶接部	UF ₆ ・IF ₅ ・IF ₇ 腐食	現状保全（日常巡視点検）妥当性確認
				フランジ		
				曲管部		

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
201	槽・塔	付着ウラン回収設備	バージ系IF ₇ コールドトラップ	胴体	UF ₆ ・IF ₇ 腐食(その他)、保温材被覆部の腐食、熱応力疲労	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続
				伝熱管	UF ₆ ・IF ₇ 腐食(その他)、熱応力疲労	運転状態(圧力)監視	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視) (1回/10年:外観点検)	現状保全の継続
202	インターロック	付着ウラン回収設備	バージ系IF ₇ コールドトラップ圧力異常高による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジション等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
203	槽・塔	付着ウラン回収設備	バージ系ケミカルトラップ(NaF)	胴本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) 運転状態監視 定期保全 (1回/20年:肉厚測定)	現状保全の継続
				NaFカートリッジ(シート部)	UF ₆ 腐食(その他)、摩耗	運転状態(排気用モニタ)監視 検出器監視 (規定値超過・検出器変色時/NaF交換) 外観点検(NaF交換の都度)	
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	
204	槽・塔	付着ウラン回収設備	バージ系ケミカルトラップ(Al ₂ O ₃)	胴本体	腐食	運転状態監視 定期保全 (1回/30年:肉厚測定) 検出器監視 (規定値超過・検出器変色時/Al ₂ O ₃ 交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	
205	槽・塔	付着ウラン回収設備	バージ系第2ケミカルトラップ(Al ₂ O ₃)	胴本体	腐食	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/30年:肉厚測定) 検出器監視 (規定値超過・検出器変色時/Al ₂ O ₃ 交換)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	
206	ポンプ	付着ウラン回収設備	バージ系プースタポンプ	ポンプ本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下		現状保全の継続
				主軸	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗		現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食		現状保全の継続
207	配管・弁	付着ウラン回収設備	主要配管(弁を含む)	主要配管溶接部	UF ₆ ・IF ₅ ・IF ₇ 腐食(その他)、腐食	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/20年:外観点検)	現状保全の継続
				主要配管フランジ	UF ₆ ・IF ₅ ・IF ₇ 腐食(その他)、腐食		現状保全の継続
				主要配管曲管部	UF ₆ ・IF ₅ ・IF ₇ 腐食(その他)、腐食		現状保全の継続
				弁・溶接部	UF ₆ ・IF ₅ ・IF ₇ 腐食(その他)、腐食		現状保全の継続
				弁・フランジ	UF ₆ ・IF ₅ ・IF ₇ 腐食(その他)、腐食		現状保全の継続

前回評価結果

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価			
208	容器	付着ウラン回収設備	付着ウラン回収容器	胴体	UF ₆ 、IF ₅ 腐食、熱応力疲労	現状保全（漏えい検査、外観検査、日常巡視点検）妥当性確認			
				溶接部					
				バルブ					
209	その他設備（保安規定）	線量当量率サーベイメータ	—	部品劣化	現状保全（動作確認、校正定数確認）妥当性確認				
210	その他設備（保安規定）	汚染サーベイメータ	—	部品劣化	現状保全（動作確認、機器効率更新）妥当性確認				
211	その他設備（保安規定）	ダストサンプラ	—	部品劣化	現状保全（動作確認、吸引流量確認）妥当性確認				
						本体	腐食	定期保全 (1回/1年:簡易) (1回/1ヵ月:一般) (1回/15年:本体更新)	現状保全の継続
						ポンプ	性能劣化(摩耗)		
						スイッチ	導通不良		
ケーブル	導通不良								
212	その他設備（保安規定）	退出モニタ	—	部品劣化	現状保全（検出感度確認、駆動部動作確認、校正定数更新）妥当性確認				
213	その他設備（保安規定）	放射能測定装置	—	部品劣化	現状保全（動作確認、機器効率更新）妥当性確認				
214	その他設備（保安規定）	積算線量計用測定装置	—	部品劣化	現状保全（動作確認、換算定数更新、直線性確認）妥当性確認				
215	その他設備（保安規定）	個人線量測定器（EPD）	—	部品劣化	現状保全（外観確認、線源照射）妥当性確認				
216	その他設備（保安規定）	モニタリングポイント	—	部品劣化	現状保全（外観点検）妥当性確認				
217	その他設備（保安規定）	気象観測機器	—	部品劣化	現状保全（外観点検、動作確認）妥当性確認				
218	その他設備（保安規定）	放射線防護具	—	部品劣化	現状保全（外観点検、動作確認）妥当性確認				

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
208	容器	付着ウラン回収設備	付着ウラン回収容器	胴体	UF ₆ ・IF ₅ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) (1回/1年:外観点検、肉厚測定)	現状保全の継続
				バルブ	UF ₆ ・IF ₅ 腐食(その他)、腐食	日常保全(巡視) (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続
209	その他設備	線量当量率サーベイメータ	本体	放射線検出器、指示計の性能劣化、操作パネルの導通不良、筐体の性能劣化、ケーブルの性能劣化、導通不良	定期保全 (1回/1年:簡易) (1回/12年:本格)	現状保全の継続	
210	その他設備	汚染サーベイメータ	本体	放射線検出器、指示計の性能劣化、操作パネルの導通不良、筐体の性能劣化、ケーブルの性能劣化、導通不良	定期保全 (1回/1年:簡易) (1回/12年:本格)	現状保全の継続	
211	その他設備	ダストサンプラ	—	本体	腐食	定期保全 (1回/1年:簡易) (1回/1ヵ月:一般) (1回/15年:本体更新)	現状保全の継続
				ポンプ	性能劣化(摩耗)		
				スイッチ	導通不良		
				ケーブル	導通不良		
212	その他設備	退出モニタ	本体	機器効率の低下、BGの変動、駆動部の動作不良	定期保全 (1回/1年:簡易) (1回/1ヵ月:一般)	現状保全の継続	
213	その他設備	放射能測定装置	本体	プリンタの性能劣化、表示灯、表示部の性能劣化 ケーブル、スイッチ、ヒューズの性能劣化、導通不良、放射線検出器の性能劣化	定期保全 (1回/年:簡易) (1回/3ヵ月:一般)	現状保全の継続	
214	その他設備	積算線量計用測定装置	本体	校正定数の変動、通信異常の多発	定期保全 (1回/1年:簡易)	現状保全の継続	
215	その他設備	個人線量測定器(EPD)	本体	校正定数の変動、通信異常の多発	定期保全 (1回/1年:簡易) (1回/1ヵ月:一般)	現状保全の継続	
216	その他設備	モニタリングポイント	本体	支柱の劣化、腐食、収納箱の劣化、腐食	定期保全 (1回/1年:簡易)	現状保全の継続	
217	その他設備	気象観測機器	本体	指示誤差の悪化、伝送不良、指示不良	定期保全 (1回/1年:簡易) (1回/1ヵ月:一般)	現状保全の継続	
218	その他設備	放射線防護具	本体	圧力計の指示精度劣化、減圧器の動作異常、ホース、接続部からの漏れ、ひもの破損、劣化、亀裂	定期保全 (1回/3年:簡易) (1回/6ヶ月、1回/1年:一般) (1回/15年:本格)	現状保全の継続	
219	その他設備	非常用設備	火災報知機	コンデンサ等部品(ケーブル以外)	劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検) (1回/1年:外観点検、総合点検) (1回/15年:基板交換)	現状保全の継続

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
----	----	----	--------------	--------	-----------	-------------

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
220	その他設備	消火設備	加圧タンク	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検)	現状保全の継続
221	その他設備	消火設備	防火水槽	本体	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検)	現状保全の継続
222	その他設備	消火設備	誘導灯	バッテリー	劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検)	現状保全の継続
				ランプ等の部品	劣化	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/6ヶ月:外観点検、機能点検)	現状保全の継続
223	その他設備	放射線監視・測定設備	電気温水器	本体	腐食、絶縁低下、導通不良	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検、内部清掃、絶縁抵抗測定、消耗品交換、通水試験)	現状保全の継続
224	容器	気体廃棄物の廃棄設備	IF ₇ ポンペ	胴体	腐食	日常保全(巡視) 外観点検 (使用前点検)	現状保全の継続
				バルブ	腐食	日常保全(巡視) 外観点検 (使用前点検)	現状保全の継続
225	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1号及び2号給気ダクトの支持構造物	支持構造物	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/20年:外観点検)	現状保全の継続
226	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1号還気ダクトの支持構造物	支持構造物	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/20年:外観点検)	現状保全の継続
227	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1号及び2号局所排気ダクトの支持構造物	支持構造物	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/20年:外観点検)	現状保全の継続
228	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1号及び2号排気ダクトの支持構造物	支持構造物	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/20年:外観点検)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
----	----	----	--------------	--------	-----------	-------------

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
229	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	除染及び分析ダクトの支持 構築物	支持構築物	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
230	機械設備	2号UF ₆ 処理設備	2号製品冷凍機ユニット	圧縮機	腐食、コイル損傷(劣化)、絶縁低下	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:消耗品交換、 絶縁抵抗測定、フロン漏えい確認) (1回/3年:分解点検(圧縮機OH))	現状保全の継続
				ユニット本体	腐食、銅配管劣化(疲労)	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:消耗品交換、 フロン漏えい確認) (1回/3年:分解点検)	現状保全の継続
				火災防護板	破損(疲労)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
231	機械設備	2号UF ₆ 処理設備	2号一般バージ系冷凍機ユニット	圧縮機	腐食、コイル損傷(劣化)、絶縁低下	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:消耗品交換、 絶縁抵抗測定、フロン漏えい確認) (1回/3年:分解点検(圧縮機OH))	現状保全の継続
				ユニット本体	腐食、銅配管劣化(疲労)	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:消耗品交換、 フロン漏えい確認) (1回/3年:分解点検)	現状保全の継続
				火災防護板	破損(疲労)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
----	----	----	--------------	--------	-----------	-------------

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
232	機械設備	2号UF ₆ 処理設備	2A～C廃品冷凍機ユニット	圧縮機	腐食、コイル損傷(劣化)、絶縁低下	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:消耗品交換、 絶縁抵抗測定、フロン漏えい確認) (1回/3年:分解点検(圧縮機OH))	現状保全の継続
				ユニット本体	腐食、銅配管劣化(疲労)	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:消耗品交換、 フロン漏えい確認) (1回/3年:分解点検)	現状保全の継続
				火災防護板	破損(疲労)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
233	機械設備	2号均質・ブレンディング設備	2号均質パージ系冷凍機ユニット	圧縮機	腐食、コイル損傷(劣化)、絶縁低下	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:消耗品交換、 絶縁抵抗測定、フロン漏えい確認) (1回/3年:分解点検(圧縮機OH))	現状保全の継続
				ユニット本体	腐食、銅配管劣化(疲労)	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:消耗品交換、 フロン漏えい確認) (1回/3年:分解点検)	現状保全の継続
				火災防護板	破損(疲労)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
234	機械設備	付着ウラン回収設備	混合ガスコールドトラップ冷凍機ユニット	圧縮機	腐食、コイル損傷(劣化)、絶縁低下	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:消耗品交換、 絶縁抵抗測定、フロン漏えい確認) (1回/3年:分解点検(圧縮機OH))	現状保全の継続
				ユニット本体	腐食、銅配管劣化(疲労)	運転状態(圧力)監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:消耗品交換、 フロン漏えい確認) (1回/3年:分解点検)	現状保全の継続
				火災防護板	破損(疲労)	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
235	機械設備	1号UF ₆ 処理設備	1号製品冷凍機ユニット	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
236	機械設備	1号UF ₆ 処理設備	1号一般パージ系冷凍機ユニット	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
237	機械設備	1号均質・ブレンディング設備	1号均質パージ系冷凍機ユニット	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続

- ※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。
- ※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。
- ※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
----	----	----	--------------	--------	-----------	-------------

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
238	配管・弁	消火設備	配管(弁含む)	配管溶接部	腐食	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/20年:外観点検)	現状保全の継続
				配管フランジ	腐食		現状保全の継続
				配管曲管部	腐食		現状保全の継続
				弁・溶接部	腐食		現状保全の継続
				弁・フランジ	腐食		現状保全の継続
239	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1AB中間室系送風機	本体	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				羽根車	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検、振動測定) (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/4年:分解点検、消耗品交換) (1回/12年:コイル巻き直し)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
240	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1CD中間室系送風機	本体	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				羽根車	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検、振動測定) (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/4年:分解点検、消耗品交換) (1回/12年:コイル巻き直し)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

- ※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。
- ※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。
- ※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
----	----	----	--------------	--------	-----------	-------------

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
241	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1号発生回収室系送風機	本体	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				羽根車	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検、振動測定) (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/4年:分解点検、消耗品交換) (1回/12年:コイル巻き直し)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
242	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	管理廃水処理室送風機	本体	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				羽根車	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検、振動測定) (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/4年:分解点検、消耗品交換) (1回/12年:コイル巻き直し)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

- ※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。
- ※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。
- ※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
----	----	----	--------------	--------	-----------	-------------

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
243	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1号均質室系送風機	本体	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				羽根車	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検、振動測定) (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/4年:分解点検、消耗品交換) (1回/12年:コイル巻き直し)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
244	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	分析室送風機	本体	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				羽根車	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検、振動測定) (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/4年:分解点検、消耗品交換) (1回/12年:コイル巻き直し)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
----	----	----	--------------	--------	-----------	-------------

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
245	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	2号発回均質機系送風機	本体	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検) (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				羽根車	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				主軸	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/4年:分解点検、消耗品交換)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1ヶ月:外観点検、振動測定) (1回/1年:絶縁抵抗測定) (1回/4年:分解点検、消耗品交換) (1回/12年:コイル巻き直し)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
246	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	1号給気ダクト(ダンパ含む)	本体(ダンパ含む)	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)	負圧監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:ファイバースコープ等による内部点検、外観点検)	現状保全の継続
247	空調設備	気体廃棄物の廃棄設備	2号給気ダクト(ダンパ含む)	本体(ダンパ含む)	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)	負圧監視 日常保全(巡視) 定期保全 (1回/10年:ファイバースコープ等による内部点検、外観点検)	現状保全の継続
248	空調設備	換気空調設備	1号Qマス空調機	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
249	その他設備	検査設備	高周波プラズマ発光分光分析装置	本体 構成部品	腐食、部品摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検、内部洗浄) (1回/3年:部品交換、性能試験)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
250	その他設備	検査設備	高周波プラズマ質量分析装置	本体 構成部品	腐食、部品摩耗	日常保全(巡視) 定期保全 (1回/1年:外観点検、内部洗浄) (1回/3年:部品交換、性能検査)	現状保全の継続
				基礎ボルト	腐食	日常保全(巡視)	現状保全の継続
251	ポンプ	2号UF ₆ 処理設備	2A製品ブースタポンプ	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続 現状保全の継続 現状保全の継続 現状保全の継続
252	ポンプ	1号UF ₆ 処理設備	1Aカスケード排気系補助ロータリポンプ(CS系)	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
253	ポンプ	液体廃棄物の廃棄設備	1A中間室廃水ポンプ	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
----	----	----	--------------	--------	-----------	-------------

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
254	ポンプ	1号UF ₆ 処理設備	1Bカスケード排気系補助ロータリポンプ(CS系)	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
255	ポンプ	1号UF ₆ 処理設備	1Cカスケード排気系補助ロータリポンプ(CS系)	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
256	ポンプ	1号UF ₆ 処理設備	1Dカスケード排気系ブースタポンプ(CS系)	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
257	ポンプ	1号UF ₆ 処理設備	1Dカスケード排気系補助ロータリポンプ(CS系)	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
258	ポンプ	液体廃棄物の廃棄設備	1号発生回収室廃水ポンプ	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
259	ポンプ	1号UF ₆ 処理設備	1号カスケード排気系補助ロータリポンプ(CB系)	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
260	ポンプ	液体廃棄物の廃棄設備	1号NaF処理ブースタポンプ	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
261	ポンプ	2号UF ₆ 処理設備	2Bカスケード排気系ロータリポンプ(CS系)	ポンプ本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下		
				主軸	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗		
				基礎ボルト	腐食		
262	ポンプ	2号UF ₆ 処理設備	2Cカスケード排気系ロータリポンプ(CS系)	ポンプ本体	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗	日常保全(巡視)	現状保全の継続
				電動機	腐食、亀裂(疲労)、変形(疲労)、摩耗、絶縁低下		
				主軸	UF ₆ 腐食(その他)、腐食、摩耗		
				基礎ボルト	腐食		
263	電気設備	非常用通報設備	制御増幅盤	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
264	電気設備	非常用通報設備	電力増幅盤	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
265	電気設備	非常用通報設備	ベージング用充電器盤	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
266	電気設備	非常用通報設備	ベージング用蓄電池盤	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
267	電気設備	非常用通報設備	集合端子盤	-(※2)	-(※3)	日常保全(巡視)	現状保全の継続
268	電気設備	非常用通報設備	ハンドセットステーション	筐体	腐食、絶縁低下	定期保全 (1回/3年:外観点検、盤内清掃、ケーブル処理状態の確認、各ネジ部締付確認、機能試験、通話確認)	現状保全の継続
269	インターロック	付着ウラン回収設備	配管温度異常高による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗測定、外観点検) 点検結果から検出器交換を判断	現状保全の継続
270	その他設備	気体廃棄物の廃棄設備	負圧維持(監視・警報機能)	-(※2)	-(※3)	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
271	インターロック	2号UF ₆ 処理設備	2号製品系統ガス移送ヘッダ圧力異常高による加熱停止のインターロック	-(※2)	-(※3)	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
272	インターロック	2号UF ₆ 処理設備	2号原料発生系温水ユニット温度異常高による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗測定、外観点検) 点検結果から検出器交換を判断	現状保全の継続

前回評価結果

今回評価結果

※1 機器・インターロックとして細分化されていないため。

※2 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位の抽出が不要なため。

※3 更新または廃止する機器・構築物であり、着目すべき経年劣化が想定される評価対象部位に対して想定される劣化事象の抽出が不要なため。

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	高経年化対応調査・評価
----	----	----	--------------	--------	-----------	-------------

No	分類	設備	機器・インターロック機能	評価対象部位	想定される劣化事象	現状の保全	高経年化対応調査・評価
273	インターロック	2号UF ₆ 処理設備	2A廃品系統ガス移送ヘッダ圧力異常高による加熱停止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
274	インターロック	2号均質・ブレンディング設備	2号原料シリンダ槽重量異常高による過充填防止のインターロック	検出器、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線、ポジションナ等	構成部品の経年劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、絶縁抵抗測定、外観点検、締付確認) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
275	インターロック	2号均質・ブレンディング設備	2号均質槽圧力異常高による加熱停止のインターロック	- (※2)	- (※3)	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験)、外観点検) (1回/10年:本体交換)	現状保全の継続
276	その他設備		可搬式HF検知警報装置	本体	HF検出器、指示計の性能劣化、操作パネルの導通不良、筐体の性能劣化、ケーブルの性能劣化、導通不良	定期保全 (1回/1年:簡易) (1回/6ヶ月:一般)	現状保全の継続
277	その他設備		モニタリングポスト	本体	指示誤差の悪化、伝送不良、指示不良	定期保全 (1回/1年:簡易)	現状保全の継続
278	その他設備		出入管理装置	本体	駆動部の異常	定期保全 (1回/1年:簡易) (1回/1ヵ月:一般)	現状保全の継続
279	その他設備		モニタリングカー	本体	指示誤差の悪化、部品故障の多発	定期保全 (1回/1年:簡易) (1回/1ヵ月、3ヵ月:一般)	現状保全の継続
280	その他設備	臨界警報設備	臨界監視・警報機能	筐体(基礎ボルト含む)、制御回路、リレー、制御電源、盤内配線等、検出器、ホーン、フラッシュライト	腐食、校正部品の劣化	定期保全 (1回/1年:特性試験(入出力試験、電源電圧試験、シーケンス試験)、外観点検、清掃) 点検結果により消耗品・検出器交換(予備品)	現状保全の継続
281	その他設備	分析設備	2号質量分析装置	イオンソース	特性変化	定期保全 (1回/1年:特性試験(正確度試験、測定精度試験)) (1回/2年:分解点検(イオンソース交換、フィラメント洗浄))	現状保全の継続
				Qボール	特性変化	定期保全 (1回/1年:特性試験(正確度試験、測定精度試験)) (1回/2年:分解点検(洗浄))	現状保全の継続
				本体	腐食	定期保全 (1回/1年:外観点検)	現状保全の継続

PLM評価対象機器と設工認設備リストとの差異について

変更区分の定義

- ・既設：既存の建物・構築物又は設備・機器で改造に該当しないもの。
- ・新設：建物・構築物又は設備・機器を新たに設置するもの。
- ・改造：既存の建物・構築物又は設備・機器の仕様又は構造を変更するもの若しくは仕様又は構造を新たに示すもの。
- ・撤去：建物・構築物又は設備・機器を撤去するもの。

番号	施設区分	設備区分	系統	機器名称	設置場所	変更区分	備考
1	濃縮施設	カスケード設備	2Aカスケード系 (共通)	地震計	中央操作棟	新設	
2	濃縮施設	カスケード設備	2Aカスケード系 (共通)	地震計	中央操作棟	新設	
3	濃縮施設	カスケード設備	2Aカスケード系 (共通)	地震発生時のカスケード排気のインターロック (主要配管 (RE-2A))	—	新設	
4	濃縮施設	UF ₆ 処理設備	発生・供給系	地震発生時の加熱停止のインターロック (2号発生槽)	—	新設	
5	濃縮施設	UF ₆ 処理設備	製品系	地震発生時の加熱停止のインターロック (2号製品コールドトラップ)	—	新設	
6	濃縮施設	UF ₆ 処理設備	廃品系	地震発生時の加熱停止のインターロック (2A廃品コールドトラップ)	—	新設	
7	濃縮施設	UF ₆ 処理設備	廃品系	廃品回収槽回収停止による待機槽回収開始インターロック (2号廃品回収槽)	—	改造	現状、生産系インターロックであり事後保全
8	濃縮施設	UF ₆ 処理設備	一般バージ系	地震発生時の加熱停止のインターロック (2号一般バージ系コールドトラップ)	—	新設	
9	濃縮施設	UF ₆ 処理設備	一般バージ系	回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (2号一般バージ系コールドトラップ)	—	新設	
10	濃縮施設	UF ₆ 処理設備	(各系統共通)	カバー, シート	2号発回均質棟	新設	
11	濃縮施設	均質・ブレンディング設備	均質・ブレンディング系	防護カバー	2号発回均質棟	新設	
12	濃縮施設	均質・ブレンディング設備	均質・ブレンディング系	減圧槽内圧力計	2号発回均質棟	改造	現状、生産系インターロックに係る計器であり事後保全
13	濃縮施設	均質・ブレンディング設備	均質・ブレンディング系	入口配管温度計 (減圧槽)	2号発回均質棟	改造	現状、生産系インターロックに係る計器であり事後保全
14	濃縮施設	均質・ブレンディング設備	均質・ブレンディング系	減圧槽故障による均質槽加熱停止インターロック (2号均質槽)	—	改造	現状、生産系インターロックであり事後保全
15	濃縮施設	均質・ブレンディング設備	均質・ブレンディング系	2号局所排風機2台停止による加熱停止のインターロック (2号均質槽)	—	改造	現状、生産系インターロックであり事後保全
16	濃縮施設	均質・ブレンディング設備	均質・ブレンディング系	均質槽槽内圧力異常高による運転停止のインターロック (2号均質槽)	—	改造	現状、生産系インターロックであり事後保全
17	濃縮施設	均質・ブレンディング設備	均質・ブレンディング系	回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (2号均質槽)	—	新設	
18	濃縮施設	均質・ブレンディング設備	均質・ブレンディング系	地震発生時の加熱停止のインターロック (2号製品シリンダ槽)	—	新設	
19	濃縮施設	均質・ブレンディング設備	均質・ブレンディング系	地震発生時の加熱停止のインターロック (2号原料シリンダ槽)	—	新設	
20	濃縮施設	均質・ブレンディング設備	均質・ブレンディング系	回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (2号原料シリンダ槽)	—	新設	
21	濃縮施設	均質・ブレンディング設備	均質・ブレンディング系	2号局所排風機2台停止による加熱停止のインターロック (2号サンプル小分け装置)	—	改造	現状、生産系インターロックであり事後保全
22	濃縮施設	均質・ブレンディング設備	均質・ブレンディング系	地震発生時の加熱停止のインターロック (2号サンプル小分け装置)	—	新設	
23	濃縮施設	均質・ブレンディング設備	均質バージ系	地震発生時の加熱停止のインターロック (2号均質バージ系コールドトラップ)	—	新設	
24	濃縮施設	均質・ブレンディング設備	均質バージ系	回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (2号均質バージ系コールドトラップ)	—	新設	
25	濃縮施設	均質・ブレンディング設備	均質バージ系	減圧槽故障による均質槽加熱停止インターロック (2号減圧槽)	—	改造	現状、生産系インターロックであり事後保全
26	濃縮施設	均質・ブレンディング設備	(各系統共通)	カバー, シート	2号発回均質棟	新設	
27	放射性廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備	2号局所排気系	2号局所排風機2台停止による加熱停止のインターロック (2号局所排風機)	—	改造	現状、生産系インターロックであり事後保全

変更区分の定義

- ・既設：既存の建物・構築物又は設備・機器で改造に該当しないもの。
- ・新設：建物・構築物又は設備・機器を新たに設置するもの。
- ・改造：既存の建物・構築物又は設備・機器の仕様又は構造を変更するもの若しくは仕様又は構造を新たに示すもの。
- ・撤去：建物・構築物又は設備・機器を撤去するもの。

番号	施設区分	設備区分	系統	機器名称	設置場所	変更区分	備考
28	放射線管理施設	放射線監視・測定設備	—	HFセンサ	2号発回均質棟 1号発回均質棟 Aウラン貯蔵庫 Bウラン貯蔵庫 ウラン貯蔵・廃棄物庫	新設	
29	その他の加工施設	非常用設備	—	自動火災報知設備（均質槽防護カバー内の感知器の新設）	2号発回均質棟	新設	
30	その他の加工施設	非常用設備	—	温度センサ	2号発回均質棟 1号発回均質棟	新設	
31	その他の加工施設	非常用設備	—	遠隔消火設備	2号発回均質棟 1号発回均質棟 中央操作棟 渡り廊下	新設	
32	その他の加工施設	非常用設備	—	火災防護板	2号発回均質棟 1号発回均質棟	新設	
33	その他の加工施設	非常用設備	非常用電源系	2号無停電電源装置（C-1, C-2）	中央操作棟	新設	
34	その他の加工施設	通信連絡設備	通信連絡設備	所内携帯電話	—	既設	現状、保安規定に基づき資機材として定期的に点検を実施
35	その他の加工施設	通信連絡設備	通信連絡設備	業務用無線設備	—	既設	現状、保安規定に基づき資機材として定期的に点検を実施
36	その他の加工施設	通信連絡設備	通信連絡設備	緊急時電話回線	—	既設	現状、保安規定に基づき資機材として定期的に点検を実施
37	その他の加工施設	通信連絡設備	通信連絡設備	ファクシミリ装置	—	既設	現状、保安規定に基づき資機材として定期的に点検を実施
38	その他の加工施設	通信連絡設備	通信連絡設備	携帯電話	—	既設	現状、保安規定に基づき資機材として定期的に点検を実施
39	その他の加工施設	通信連絡設備	通信連絡設備	衛星電話	—	既設	現状、保安規定に基づき資機材として定期的に点検を実施
40	その他の加工施設	緊急時対策所	緊急時対策所等	緊急時対策所（事業部対策本部室）	—	既設	
41	その他の加工施設	中央制御室	緊急時対策所等	中央制御室	—	既設	
42	その他の加工施設	溢水防護設備	溢水防護設備	遮断弁	中央操作棟	新設	
43	その他の加工施設	溢水防護設備	溢水防護設備	被水防護板	2号発回均質棟	新設	
44	その他の加工施設	溢水防護設備	溢水防護設備	堰	2号発回均質棟 1号発回均質棟 中央操作棟 1号カスケード棟	新設	
45	その他の加工施設	竜巻防護設備	竜巻防護設備	防護板等	2号発回均質棟	新設	

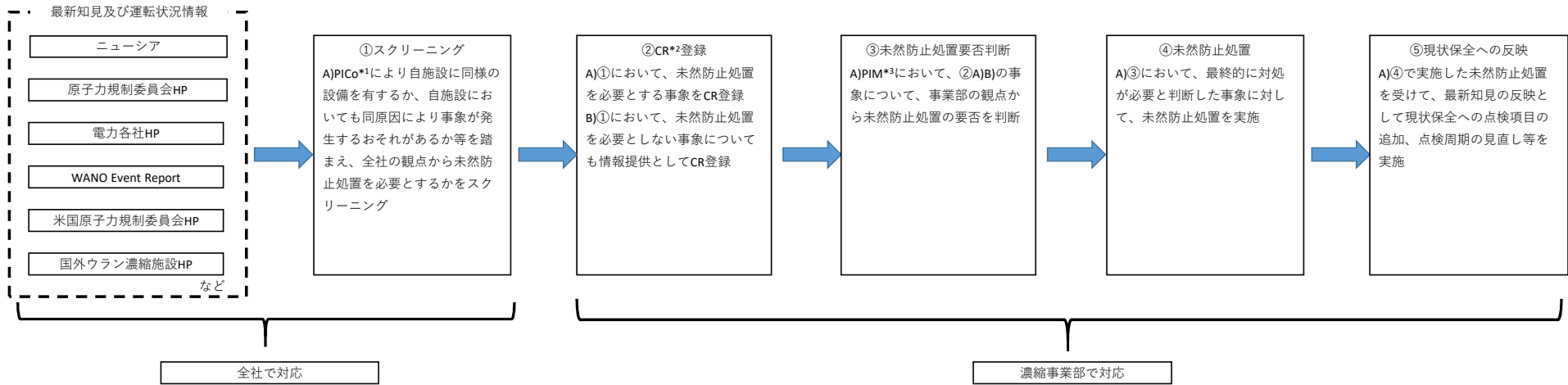
補足説明資料

(最新知見等の未然防止処置実施の流れ)

本資料は、本年9月13日に保安規定変更認可申請の一部補正した技術評価書における最新知見等の収集から未然防止処置の実施および実施結果の現状保全までの流れを説明するものである。

【最新知見及び運転状況情報に対する未然防止処置実施の流れ】

最新知見及び運転状況情報に対する未然防止処置については、保安規定第6条（品質マネジメントシステム計画）8.5.3（未然防止処置）に基づき、以下のとおり実施している。



* 1：PICo(パフォーマンス改善推進者)とは、安全・品質本部、調達室、各事業部におけるパフォーマンス改善活動に関して中心的な役割を担う者をいう。

* 2：CR（コンディションレポート）とは、本来あるべき状態とは異なる状態、すべき行動から外れた行動や結果、気付いた問題、要改善点等が提案、もしくは記載された報告のことをいう。

* 3：PIM（パフォーマンス改善会議）とは、PICoによるスクリーニング結果を元に、重要性の高い問題の特定と処置計画の審議、実施管理、評価を行う事業部長をトップとする会議体のことをいう。